

市川町

まちづくりに関するアンケート調査

結果報告書



令和7年1月

市川町



# 目 次

<b>I</b>	<b>調査の概要及び回答者の属性</b>	<b>1</b>
1	調査の概要	1
	(1) 調査目的	1
	(2) 調査対象及び調査方法、回収結果	1
2	本調査報告書の基本的な事項	2
	数値の基本的な取り扱いについて	2
3	回答者の属性	3
	(1) 居住地区	3
	(2) 性別	3
	(3) 年齢	3
	(4) 家族構成	4
	(5) 居住年数	4
	(6) 職業等	4
<b>II</b>	<b>調査結果</b>	<b>5</b>
1	市川町の住みやすさなどについて	5
	(1) 今後の定住意向	5
	(2) 住みやすい点	7
	(3) 住みにくい点	9
2	日常生活について	11
	(1) 出かける地域	11
	(2) 主な移動手段	12
	(3) 日頃心掛けていること	14
	(4) 地域の交流活動への参加意向	15
3	産業振興について	17
	(1) 農林業振興のため力を入れるべきこと	17
	(2) 商工業振興のため力を入れるべきこと	19
	(3) 観光について力を入れるべきこと	21
4	家庭生活について	23
	子どもの数を増やすための支援や対策	23
5	まちづくりの重要度について	25
	(1) まちづくりにおける施策や環境の現状の重要度説明	25
	(2) まちづくりの重要度	26
6	今後のまちづくりについて	27

(1) 町に関する情報の入手先	27
(2) 町の行政運営について望むこと	29
(3) 今後のまちづくりの特色	31
7 地域幸福度 (Well-being) 指標について	33
(1) 地域幸福度 (Well-being) 指標の概要	33
(2) 地域幸福度 (生活環境)	34
(3) 地域幸福度 (地域の人間関係)	35
(4) 地域幸福度 (自分らしい生き方)	36
(5) 地域幸福度 (幸福度・満足度)	37
8 自由意見	38
(1) 自由意見の概要	38
(2) 問8付問1 住みやすいと思うところ 「18 その他」	39
・住居 (実家) または家族等の存在、またはそれらへの愛着	39
・その他	40
(3) 問8付問2 住みにくいと思うところ 「18 その他」	41
(4) 問13 市川町の農林業の振興のための力点 「12 その他」	42
(5) 問14 市川町の商工業の振興のための力点。 「8 その他」	43
(6) 問15 市川町の観光の振興のための力点。 「9 その他」	44
(7) 問16 子どもの数が増える支援や対策 「16 その他」	46
・職場の充実、労働環境関連	46
・婚活、出産、子育て支援関連	46
・移住・定住支援関連	46
・教育、学校教育関連	47
・その他	47
(8) 問18 市川町の情報の入手手段 「9 その他」	48
(9) 問19 市川町の行政運営について望むこと 「11 その他」	49
(10) 問28 町の行政に望むことやまちづくりに関するご意見	50
・防災関連	50
・企業誘致、産業育成、就労の場の確保、労働環境の整備関連	51
・道路、公共交通等関連	52
・少子高齢化対策 (教育等含む)、人口減少対策関連	60
・医療、福祉関連	71
・観光関連	72
・行政関連	74
・広報、SNS 関連	77
・地域コミュニティ関連	78
・空き家、空き地関連	81
・環境の整備関連	82
・その他	84

# I 調査の概要及び回答者の属性

## 1 調査の概要

### (1) 調査目的

現在市川町では、新しい総合計画ならびに総合戦略の策定にあたっています。将来のまちづくりに反映していくため、町民を対象としたアンケート調査を実施しました。

### (2) 調査対象及び調査方法、回収結果

項目	内容
調査対象	18歳以上の市川町内在住者
配布数	2,000票
調査方法	調査票郵送ならびにWEB調査
調査時期	令和6年10月～11月
調査地区	市川町内全域
有効回収数	819票
回収率	41.0%

## 2 本調査報告書の基本的な事項

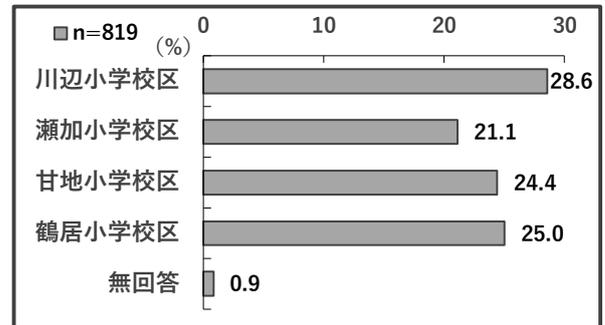
### 数値の基本的な取り扱いについて

- ① 比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が100%を上下する場合があります。
- ② 基数となるべき実数は、“n = ○○○”として掲載し、各比率はnを100%として算出しています。
- ③ 回答者が複数の項目を回答できる設問については、各回答の合計比率が100%を超える場合があります。
- ④ 多くの設問についてクロス集計表を掲載しておりますが、統計的有意性がやや低いため、あくまで参考データです。

### 3 回答者の属性

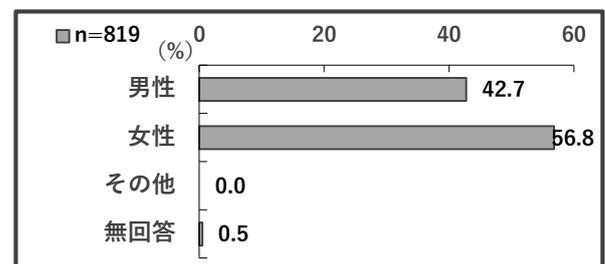
#### (1) 居住地区

回答者の居住地区は、「川辺小学校区」(28.6%)が最も多く、「鶴居小学校区」(25.0%)がそれに続きます。



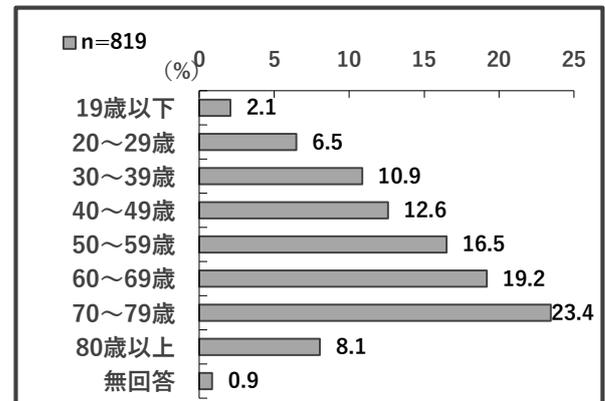
#### (2) 性別

回答者の性別は、「男性」(42.7%)、「女性」(56.8%)となっています。



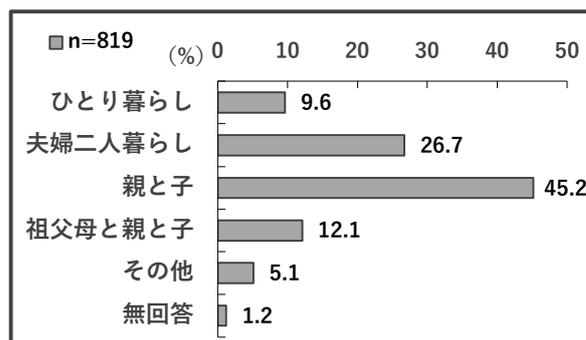
#### (3) 年齢

回答者の年齢は、「70～79歳」(23.4%)が最も多く、「60～69歳」(19.2%)がそれに続きます。



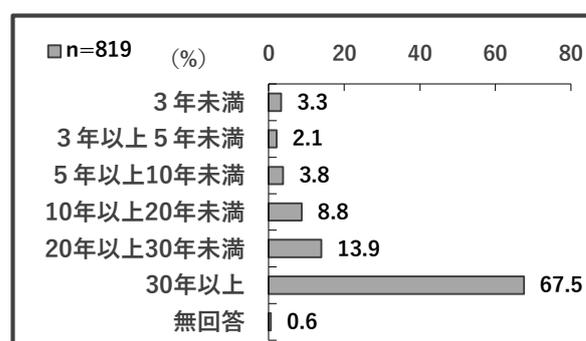
#### (4) 家族構成

回答者の家族構成は、「親と子」(45.2%)が最も多く、「夫婦二人暮らし」(26.7%)がそれに続きます。



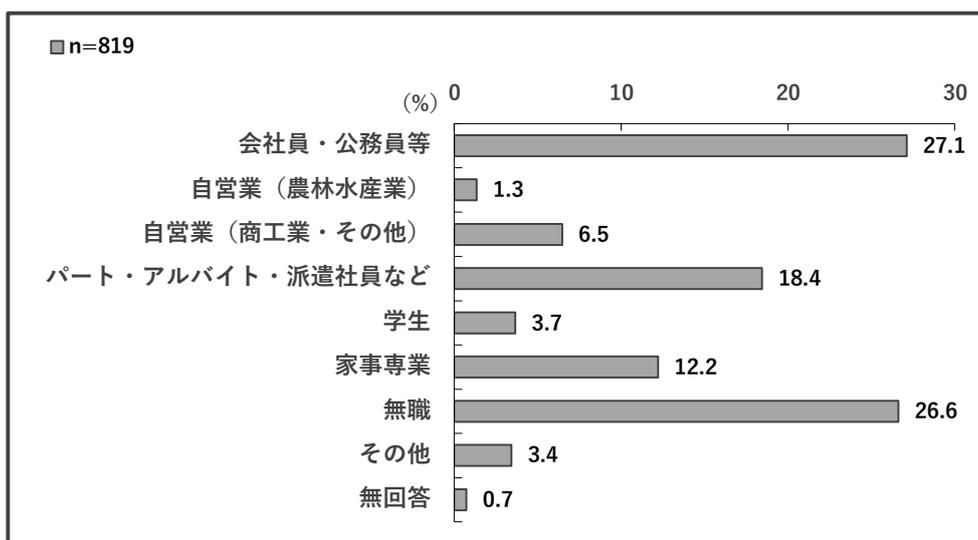
#### (5) 居住年数

回答者の居住年数は、「30年以上」(67.5%)が最も多く、「20年以上30年未満」(13.9%)がそれに続きます。



#### (6) 職業等

回答者の居住地区は、「会社員・公務員等」(27.1%)が最も多く、「無職」(26.6%)がそれに続きます。



## II 調査結果

### 1 市川町の住みやすさなどについて

#### (1) 今後の定住意向

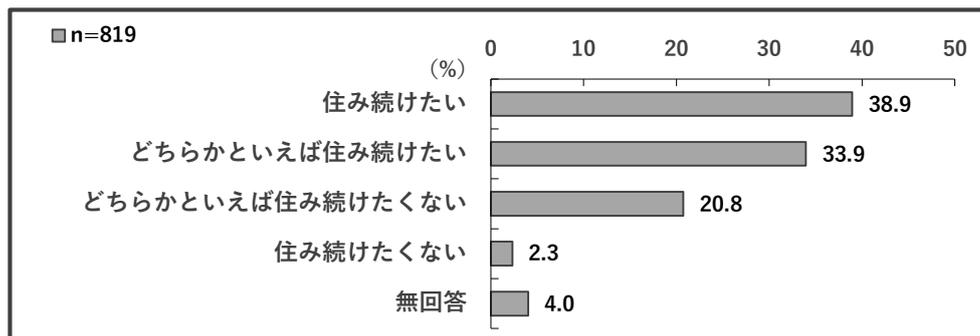
問8 あなたは、これからも市川町に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

#### ▼結果要点

- “住み続けたい”が約4割を占めている。

今後の定住意向については、「住み続けたい」(38.9%)が最も多く、次いで「どちらかといえば住み続けたい」(33.9%)の順となっています。「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」をあわせて、“住み続けたい”は82.8%となっています。

図表1 今後の定住意向



図表2 今後の定住意向（性別・年齢・居住地区、一位の数値に網掛け）

		合計	問8 今後の定住意向				無回答
			住み続けたい	どちらか たとえば 住み続け たい	どちらか たとえば 住み続け たくない	住み続け たくない	
全体		819 100.0%	319 38.9%	278 33.9%	170 20.8%	19 2.3%	33 4.0%
問2 性別	男性	350 100.0%	166 47.4%	107 30.6%	61 17.4%	6 1.7%	10 2.9%
	女性	465 100.0%	152 32.7%	171 36.8%	109 23.4%	12 2.6%	21 4.5%
	その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
問3 年齢	19歳以下	17 100.0%	2 11.8%	8 47.1%	6 35.3%	1 5.9%	0 0.0%
	20～29歳	53 100.0%	15 28.3%	17 32.1%	18 34.0%	2 3.8%	1 1.9%
	30～39歳	89 100.0%	16 18.0%	43 48.3%	23 25.8%	4 4.5%	3 3.4%
	40～49歳	103 100.0%	27 26.2%	43 41.7%	30 29.1%	2 1.9%	1 1.0%
	50～59歳	135 100.0%	42 31.1%	47 34.8%	39 28.9%	2 1.5%	5 3.7%
	60～69歳	157 100.0%	70 44.6%	51 32.5%	27 17.2%	4 2.5%	5 3.2%
	70～79歳	192 100.0%	108 56.3%	53 27.6%	18 9.4%	2 1.0%	11 5.7%
	80歳以上	66 100.0%	38 57.6%	15 22.7%	7 10.6%	1 1.5%	5 7.6%
問1 居住地区	川辺小学校区	234 100.0%	98 41.9%	80 34.2%	46 19.7%	2 0.9%	8 3.4%
	瀬加小学校区	173 100.0%	64 37.0%	59 34.1%	36 20.8%	2 1.2%	12 6.9%
	甘地小学校区	200 100.0%	80 40.0%	71 35.5%	38 19.0%	6 3.0%	5 2.5%
	鶴居小学校区	205 100.0%	74 36.1%	68 33.2%	49 23.9%	8 3.9%	6 2.9%

## (2) 住みやすい点

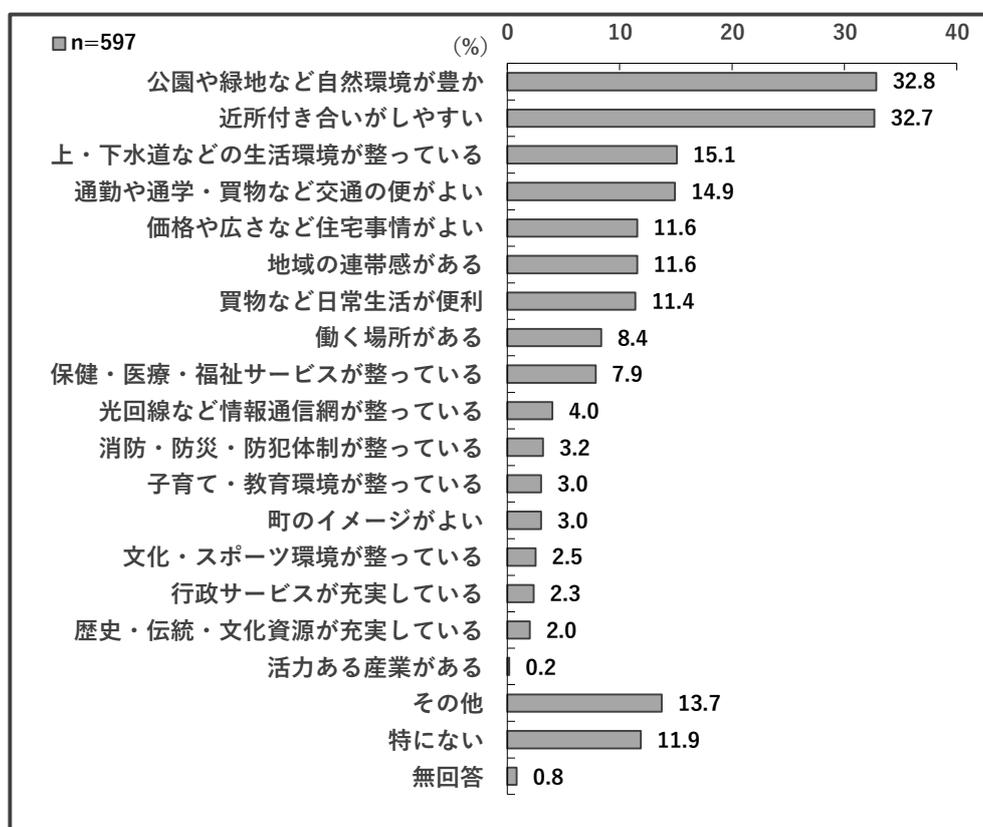
問8付問1 【問8で「1（住み続けたい）～2（どちらかといえば住み続けたい）」と答えた方におたずねします】住みやすいと思うところは何ですか。（○は3つまで）

### ▼結果要点

- “公園や緑地など自然環境が豊か”と“近所付き合いがしやすい”が約3割を占めている。

住みやすい点については、「公園や緑地など自然環境が豊か」（32.8%）が最も多く、次いで「近所付き合いがしやすい」（32.7%）の順となっています。

図表3 住みやすい点



図表4 住みやすい点（性別・年齢・居住地区、一位の数値に網掛け）

	合計	間8付問1 住みやすい点								
		公園や緑地など自然環境が豊かな	通勤や通学・買物など交通の便がよい	働く場所がある	消防・防災・防犯体制が整っている	子育て・教育環境が整っている	保健・医療・福祉サービスが整っている	価格や広さなど住宅事情がよい	買物など日常生活が便利	行政サービスが充実している
全体	597 100.0%	196 32.8%	89 14.9%	50 8.4%	19 3.2%	18 3.0%	47 7.9%	69 11.6%	68 11.4%	14 2.3%
男性	273 100.0%	77 28.2%	35 12.8%	16 5.9%	8 2.9%	4 1.5%	21 7.7%	34 12.5%	30 11.0%	4 1.5%
女性	323 100.0%	119 36.8%	54 16.7%	34 10.5%	11 3.4%	14 4.3%	26 8.0%	35 10.8%	38 11.8%	10 3.1%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
19歳以下	10 100.0%	5 50.0%	3 30.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%
20～29歳	32 100.0%	14 43.8%	9 28.1%	4 12.5%	1 3.1%	0 0.0%	0 0.0%	6 18.8%	3 9.4%	0 0.0%
30～39歳	59 100.0%	27 45.8%	10 16.9%	6 10.2%	0 0.0%	5 8.5%	1 1.7%	11 18.6%	1 1.7%	0 0.0%
40～49歳	70 100.0%	23 32.9%	8 11.4%	10 14.3%	0 0.0%	6 8.6%	3 4.3%	9 12.9%	8 11.4%	0 0.0%
50～59歳	89 100.0%	26 29.2%	18 20.2%	11 12.4%	3 3.4%	3 3.4%	2 2.2%	7 7.9%	12 13.5%	3 3.4%
60～69歳	121 100.0%	35 28.9%	21 17.4%	14 11.6%	2 1.7%	2 1.7%	7 5.8%	14 11.6%	11 9.1%	3 2.5%
70～79歳	161 100.0%	52 32.3%	17 10.6%	4 2.5%	12 7.5%	2 1.2%	25 15.5%	18 11.2%	24 14.9%	6 3.7%
80歳以上	53 100.0%	13 24.5%	3 5.7%	1 1.9%	1 1.9%	0 0.0%	9 17.0%	3 5.7%	9 17.0%	2 3.8%
川辺小学校区	178 100.0%	58 32.6%	41 23.0%	12 6.7%	2 1.1%	8 4.5%	15 8.4%	18 10.1%	43 24.2%	8 4.5%
瀬加小学校区	123 100.0%	41 33.3%	7 5.7%	8 6.5%	3 2.4%	3 2.4%	7 5.7%	18 14.6%	7 5.7%	2 1.6%
甘地小学校区	151 100.0%	52 34.4%	26 17.2%	10 6.6%	4 2.6%	6 4.0%	9 6.0%	16 10.6%	9 6.0%	3 2.0%
鶴居小学校区	142 100.0%	45 31.7%	14 9.9%	19 13.4%	10 7.0%	1 0.7%	15 10.6%	17 12.0%	8 5.6%	1 0.7%

	合計	間8付問1 住みやすい点								
		近所付き合いがしやすい	町のイメージがよい	文化・スポーツ環境が整っている	歴史・伝統・文化資源が充実している	活力ある産業がある	上・下水道などの生活環境が整っている	光回線など情報通信網が整っている	地域の連帯感がある	その他
全体	597 100.0%	195 32.7%	18 3.0%	15 2.5%	12 2.0%	1 0.2%	90 15.1%	24 4.0%	69 11.6%	82 13.7%
男性	273 100.0%	96 35.2%	8 2.9%	6 2.2%	7 2.6%	1 0.4%	39 14.3%	19 7.0%	43 15.8%	39 14.3%
女性	323 100.0%	98 30.3%	10 3.1%	9 2.8%	5 1.5%	0 0.0%	51 15.8%	5 1.5%	26 8.0%	43 13.3%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
19歳以下	10 100.0%	3 30.0%	2 20.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 10.0%	0 0.0%	2 20.0%	0 0.0%
20～29歳	32 100.0%	7 21.9%	1 3.1%	1 3.1%	1 3.1%	0 0.0%	1 3.1%	0 0.0%	2 6.3%	5 15.6%
30～39歳	59 100.0%	13 22.0%	4 6.8%	4 6.8%	1 1.7%	0 0.0%	2 3.4%	3 5.1%	2 3.4%	9 15.3%
40～49歳	70 100.0%	16 22.9%	3 4.3%	0 0.0%	2 2.9%	1 1.4%	6 8.6%	0 0.0%	8 11.4%	9 12.9%
50～59歳	89 100.0%	21 23.6%	4 4.5%	1 1.1%	0 0.0%	0 0.0%	5 5.6%	1 1.1%	7 7.9%	12 13.5%
60～69歳	121 100.0%	42 34.7%	1 0.8%	2 1.7%	3 2.5%	0 0.0%	13 10.7%	9 7.4%	12 9.9%	20 16.5%
70～79歳	161 100.0%	65 40.4%	3 1.9%	4 2.5%	5 3.1%	0 0.0%	39 24.2%	8 5.0%	26 16.1%	23 14.3%
80歳以上	53 100.0%	26 49.1%	0 0.0%	2 3.8%	0 0.0%	0 0.0%	23 43.4%	3 5.7%	9 17.0%	4 7.5%
川辺小学校区	178 100.0%	48 27.0%	6 3.4%	7 3.9%	3 1.7%	1 0.6%	17 9.6%	4 2.2%	14 7.9%	17 9.6%
瀬加小学校区	123 100.0%	52 42.3%	2 1.6%	3 2.4%	6 4.9%	0 0.0%	24 19.5%	5 4.1%	28 22.8%	13 10.6%
甘地小学校区	151 100.0%	47 31.1%	7 4.6%	3 2.0%	3 2.0%	0 0.0%	17 11.3%	6 4.0%	16 10.6%	25 16.6%
鶴居小学校区	142 100.0%	47 33.1%	2 1.4%	2 1.4%	0 0.0%	0 0.0%	31 21.8%	9 6.3%	11 7.7%	27 19.0%

### (3) 住みにくい点

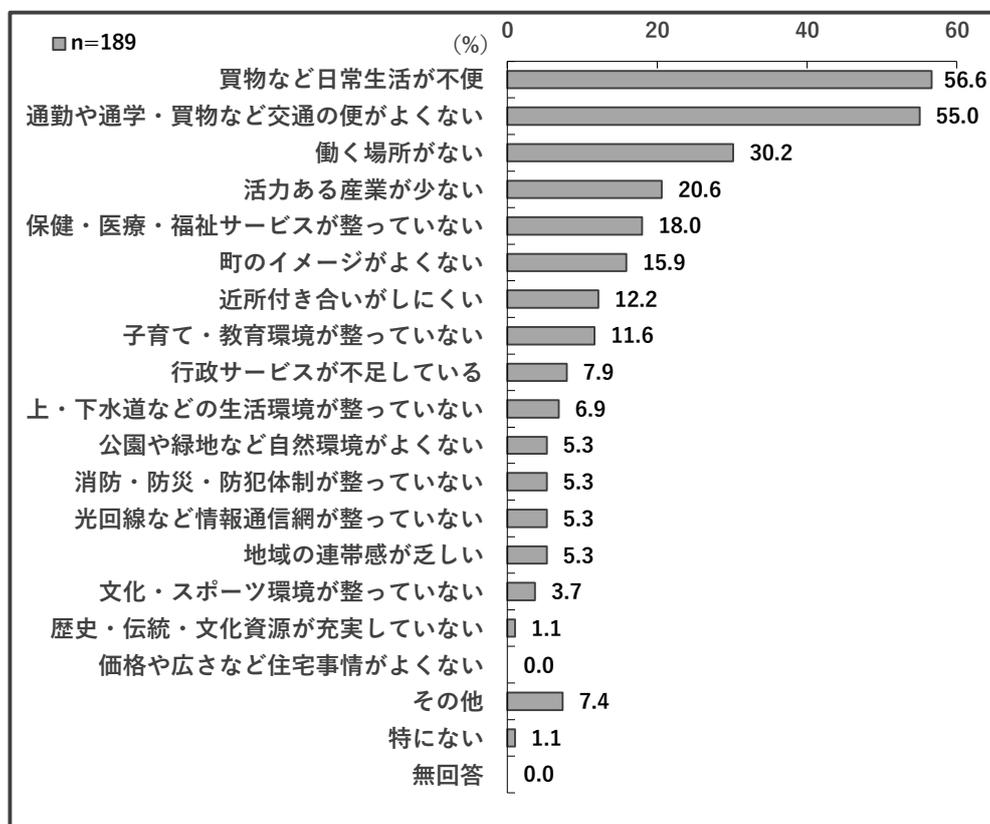
問8付問2 【問8で「3（どちらかといえば住み続けたくない）～4（住み続けたくない）」と答えた方におたずねします】住みにくいと思うところは何ですか。（○は3つまで）

#### ▼結果要点

- “買い物など日常生活が不便”、“通勤や通学・買い物など交通の便がよくない”がそれぞれ5割以上を占めている。

住みにくい点については、「買い物など日常生活が不便」（56.6%）が最も多く、次いで「通勤や通学・買い物など交通の便がよくない」（55.0%）の順となっています。

図表5 住みにくい点



図表6 住みにくい点（性別・年齢・居住地区、一位の数値に網掛け）

		合計	問8付問2 住みにくい点								
			公園や緑地など自然環境がよくない	通勤や通学・買物など交通の便がよくない	働く場所がない	消防・防災・防犯体制が整っていない	子育て・教育環境が整っていない	保健・医療・福祉サービスが整っていない	価格や広さなど住宅事情がよくない	買物など日常生活が不便	行政サービスが不足している
全体		189 100.0%	10 5.3%	104 55.0%	57 30.2%	10 5.3%	22 11.6%	34 18.0%	0 0.0%	107 56.6%	15 7.9%
問2 性別	男性	67 100.0%	3 4.5%	38 56.7%	18 26.9%	3 4.5%	9 13.4%	12 17.9%	0 0.0%	34 50.7%	4 6.0%
	女性	121 100.0%	7 5.8%	66 54.5%	39 32.2%	7 5.8%	13 10.7%	22 18.2%	0 0.0%	72 59.5%	10 8.3%
	その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
問3 年齢	19歳以下	7 100.0%	1 14.3%	3 42.9%	4 57.1%	0 0.0%	3 42.9%	1 14.3%	0 0.0%	1 14.3%	1 14.3%
	20～29歳	20 100.0%	0 0.0%	16 80.0%	11 55.0%	1 5.0%	4 20.0%	1 5.0%	0 0.0%	6 30.0%	0 0.0%
	30～39歳	27 100.0%	2 7.4%	12 44.4%	8 29.6%	2 7.4%	5 18.5%	2 7.4%	0 0.0%	11 40.7%	4 14.8%
	40～49歳	32 100.0%	5 15.6%	18 56.3%	11 34.4%	2 6.3%	8 25.0%	4 12.5%	0 0.0%	19 59.4%	4 12.5%
	50～59歳	41 100.0%	0 0.0%	22 53.7%	11 26.8%	2 4.9%	1 2.4%	13 31.7%	0 0.0%	30 73.2%	1 2.4%
	60～69歳	31 100.0%	2 6.5%	17 54.8%	9 29.0%	3 9.7%	0 0.0%	11 35.5%	0 0.0%	19 61.3%	2 6.5%
	70～79歳	20 100.0%	0 0.0%	11 55.0%	10 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.0%	0 0.0%	14 70.0%	1 5.0%
	80歳以上	8 100.0%	0 0.0%	4 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	5 62.5%	1 12.5%
問1 居住地区	川辺小学校区	48 100.0%	4 8.3%	24 50.0%	11 22.9%	2 4.2%	3 6.3%	5 10.4%	0 0.0%	22 45.8%	4 8.3%
	瀬加小学校区	38 100.0%	5 13.2%	26 68.4%	8 21.1%	2 5.3%	4 10.5%	4 10.5%	0 0.0%	24 63.2%	2 5.3%
	甘地小学校区	44 100.0%	1 2.3%	24 54.5%	18 40.9%	2 4.5%	6 13.6%	11 25.0%	0 0.0%	26 59.1%	1 2.3%
	鶴居小学校区	57 100.0%	0 0.0%	30 52.6%	19 33.3%	4 7.0%	9 15.8%	14 24.6%	0 0.0%	34 59.6%	7 12.3%

		合計	問8付問2 住みにくい点								
			近所付き合いがしにくい	町のイメージがよくない	文化・スポーツ環境が整っていない	歴史・伝統・文化資源が充実していない	活力ある産業が少ない	上・下水道などの生活環境が整っていない	光回線など情報通信網が整っていない	地域の連帯感が乏しい	その他
全体		189 100.0%	23 12.2%	30 15.9%	7 3.7%	2 1.1%	39 20.6%	13 6.9%	10 5.3%	10 5.3%	14 7.4%
問2 性別	男性	67 100.0%	13 19.4%	10 14.9%	4 6.0%	0 0.0%	12 17.9%	7 10.4%	6 9.0%	6 9.0%	5 7.5%
	女性	121 100.0%	10 8.3%	20 16.5%	3 2.5%	2 1.7%	27 22.3%	6 5.0%	4 3.3%	4 3.3%	8 6.6%
	その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
問3 年齢	19歳以下	7 100.0%	0 0.0%	1 14.3%	1 14.3%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	20～29歳	20 100.0%	1 5.0%	1 5.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.0%	1 5.0%	2 10.0%	1 5.0%	2 10.0%
	30～39歳	27 100.0%	5 18.5%	4 14.8%	1 3.7%	0 0.0%	5 18.5%	2 7.4%	1 3.7%	2 7.4%	4 14.8%
	40～49歳	32 100.0%	3 9.4%	5 15.6%	3 9.4%	0 0.0%	7 21.9%	1 3.1%	2 6.3%	0 0.0%	1 3.1%
	50～59歳	41 100.0%	5 12.2%	8 19.5%	0 0.0%	0 0.0%	7 17.1%	3 7.3%	2 4.9%	1 2.4%	2 4.9%
	60～69歳	31 100.0%	2 6.5%	5 16.1%	1 3.2%	1 3.2%	6 19.4%	2 6.5%	2 6.5%	2 6.5%	1 3.2%
	70～79歳	20 100.0%	5 25.0%	4 20.0%	1 5.0%	0 0.0%	8 40.0%	2 10.0%	1 5.0%	2 10.0%	3 15.0%
	80歳以上	8 100.0%	2 25.0%	2 25.0%	0 0.0%	1 12.5%	3 37.5%	2 25.0%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%
問1 居住地区	川辺小学校区	48 100.0%	7 14.6%	12 25.0%	1 2.1%	1 2.1%	13 27.1%	7 14.6%	2 4.2%	3 6.3%	5 10.4%
	瀬加小学校区	38 100.0%	7 18.4%	6 15.8%	1 2.6%	0 0.0%	6 15.8%	4 10.5%	3 7.9%	0 0.0%	3 7.9%
	甘地小学校区	44 100.0%	5 11.4%	6 13.6%	2 4.5%	0 0.0%	9 20.5%	1 2.3%	3 6.8%	5 11.4%	2 4.5%
	鶴居小学校区	57 100.0%	4 7.0%	6 10.5%	3 5.3%	1 1.8%	10 17.5%	1 1.8%	2 3.5%	1 1.8%	3 5.3%

## 2 日常生活について

### (1) 出かける地域

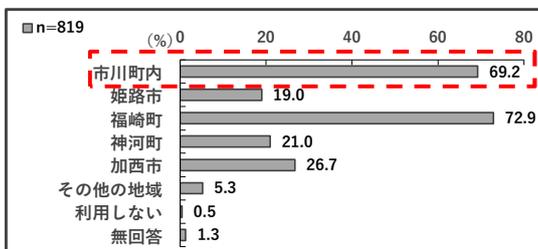
問9 日常生活において、あなたが出かける地域はどこですか。それぞれの項目ごとにお答えください。  
(それぞれあてはまるものすべてに○)

#### ▼結果要点

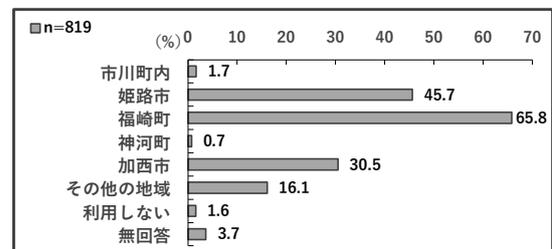
- 「食料品・日用雑貨品」「福祉施設」を除き、出かける先の多くが町外となっている。

出かける地域としては、「食料品・日用雑貨品」「福祉施設」は「市川町内」が多いものの、他は町外が多くなっています。「病院・診療所」については、町内・町外で割れています。

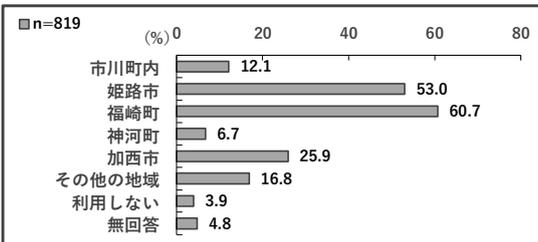
図表7 食料品・日用雑貨品の買物



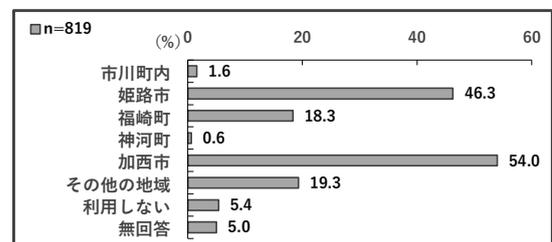
図表8 衣料や家具、家電製品等の高価な買物



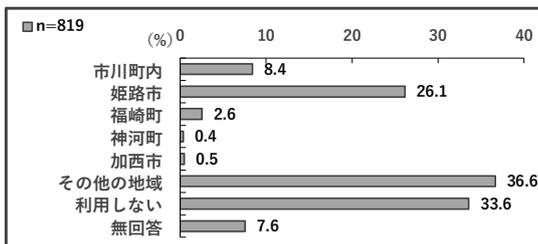
図表9 レストラン・飲食店の利用



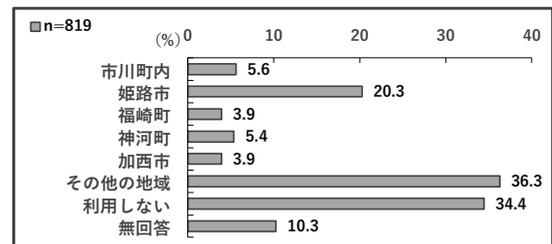
図表10 大型ショッピングセンターの利用



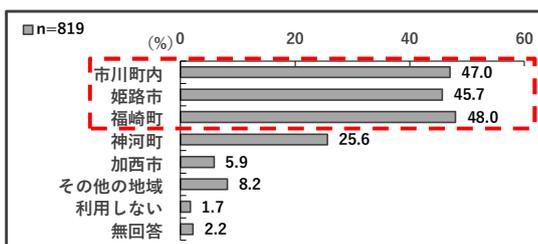
図表11 コンサート等の鑑賞やスポーツ観戦



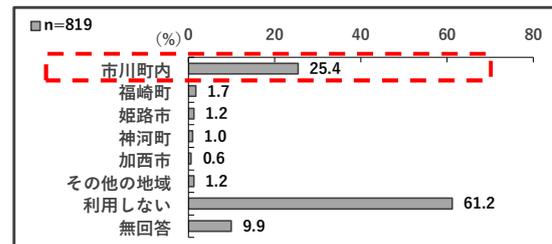
図表12 レジャー施設の利用



図表13 病院・診療所の利用



図表14 福祉施設の利用



情報集約のためクロス集計表は割愛。

## (2) 主な移動手段

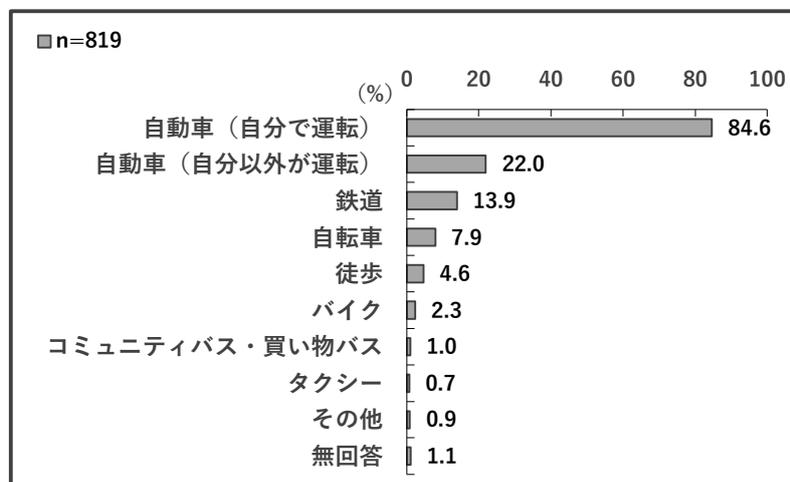
問 10 あなたが出かけるときの主な移動手段は何ですか。(○は2つまで)

### ▼結果要点

- “自動車（自分で運転）”が約8割を占めている。

主な移動手段については、「自動車（自分で運転）」(84.6%) が最も多く、次いで「自動車（自分以外が運転）」(22.0%) の順となっています。

図表 15 主な移動手段



図表 16 主な移動手段（性別・年齢・居住地区、一位の数値に網掛け）

		合計	問10 主な移動手段									無回答
			徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で 運転)	自動車 (自分以 外が運 転)	コミュニ ティバ ス・買 物バス	タクシー	鉄道	その他	
全体		819 100.0%	38 4.6%	65 7.9%	19 2.3%	693 84.6%	180 22.0%	8 1.0%	6 0.7%	114 13.9%	7 0.9%	9 1.1%
問2 性別	男性	350 100.0%	18 5.1%	36 10.3%	13 3.7%	306 87.4%	56 16.0%	1 0.3%	1 0.3%	44 12.6%	2 0.6%	4 1.1%
	女性	465 100.0%	20 4.3%	29 6.2%	6 1.3%	386 83.0%	123 26.5%	7 1.5%	4 0.9%	68 14.6%	5 1.1%	4 0.9%
	その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
問3 年齢	19歳以下	17 100.0%	1 5.9%	4 23.5%	1 5.9%	7 41.2%	10 58.8%	0 0.0%	0 0.0%	7 41.2%	0 0.0%	0 0.0%
	20～29歳	53 100.0%	4 7.5%	3 5.7%	5 9.4%	43 81.1%	12 22.6%	0 0.0%	0 0.0%	12 22.6%	1 1.9%	0 0.0%
	30～39歳	89 100.0%	5 5.6%	6 6.7%	2 2.2%	83 93.3%	19 21.3%	0 0.0%	0 0.0%	11 12.4%	0 0.0%	0 0.0%
	40～49歳	103 100.0%	5 4.9%	6 5.8%	1 1.0%	95 92.2%	21 20.4%	0 0.0%	0 0.0%	6 5.8%	0 0.0%	0 0.0%
	50～59歳	135 100.0%	5 3.7%	8 5.9%	1 0.7%	119 88.1%	21 15.6%	0 0.0%	0 0.0%	17 12.6%	0 0.0%	3 2.2%
	60～69歳	157 100.0%	1 0.6%	12 7.6%	3 1.9%	141 89.8%	36 22.9%	0 0.0%	0 0.0%	27 17.2%	0 0.0%	1 0.6%
	70～79歳	192 100.0%	14 7.3%	19 9.9%	3 1.6%	162 84.4%	38 19.8%	3 1.6%	1 0.5%	27 14.1%	2 1.0%	3 1.6%
	80歳以上	66 100.0%	3 4.5%	6 9.1%	3 4.5%	40 60.6%	20 30.3%	5 7.6%	4 6.1%	5 7.6%	4 6.1%	1 1.5%
問1 居住地区	川辺小学校区	234 100.0%	14 6.0%	19 8.1%	5 2.1%	199 85.0%	49 20.9%	3 1.3%	2 0.9%	24 10.3%	2 0.9%	1 0.4%
	瀬加小学校区	173 100.0%	2 1.2%	6 3.5%	8 4.6%	158 91.3%	40 23.1%	0 0.0%	2 1.2%	15 8.7%	0 0.0%	0 0.0%
	甘地小学校区	200 100.0%	10 5.0%	17 8.5%	0 0.0%	159 79.5%	45 22.5%	1 0.5%	2 1.0%	35 17.5%	3 1.5%	6 3.0%
	鶴居小学校区	205 100.0%	11 5.4%	21 10.2%	6 2.9%	173 84.4%	44 21.5%	4 2.0%	0 0.0%	38 18.5%	2 1.0%	1 0.5%

### (3) 日頃心掛けていること

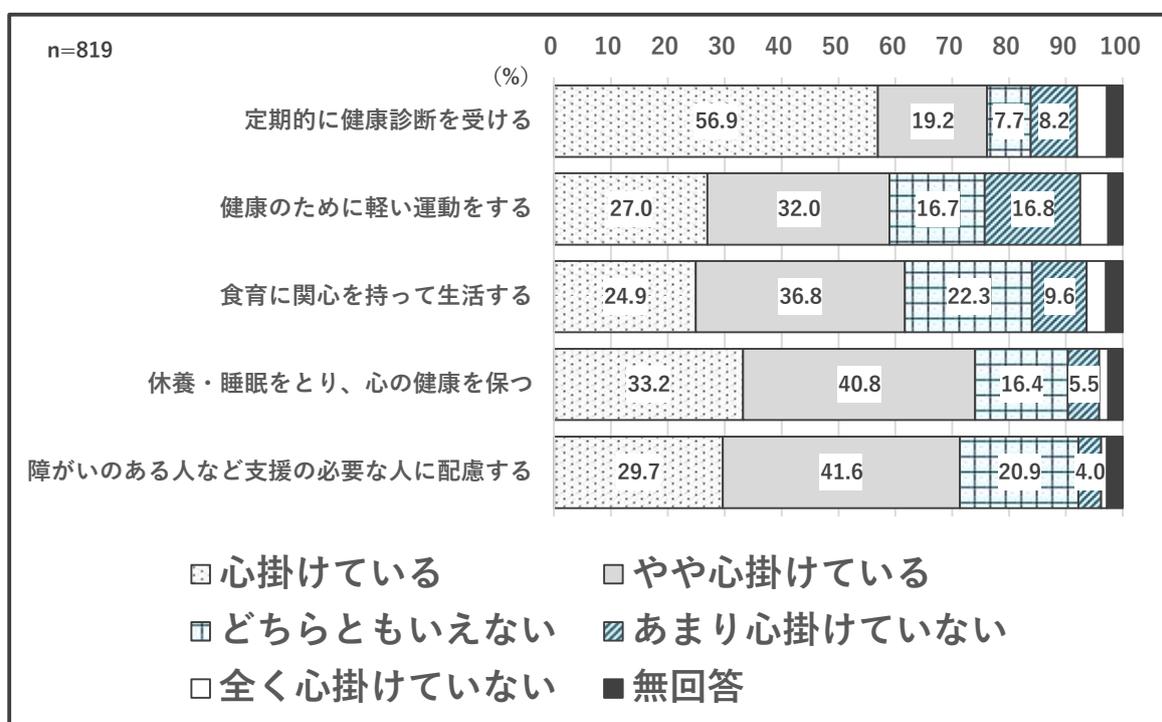
問 11 あなたは日頃、次の(1)から(5)までの項目について、それぞれの程度心掛けていますか。(○は各項目1つずつ)

#### ▼結果要点

- “定期的に健康診断を受ける”について「心掛けている」の比率が約6割となっている。

日頃心掛けていることについては、「定期的に健康診断を受ける」のみ「心掛けている」への回答比率が5割を超えていますが、他の項目については「心掛けている」の比率は2～3割程度に留まっています。

図表 17 日頃心掛けていること



情報集約のためクロス集計表は割愛。

#### (4) 地域の交流活動への参加意向

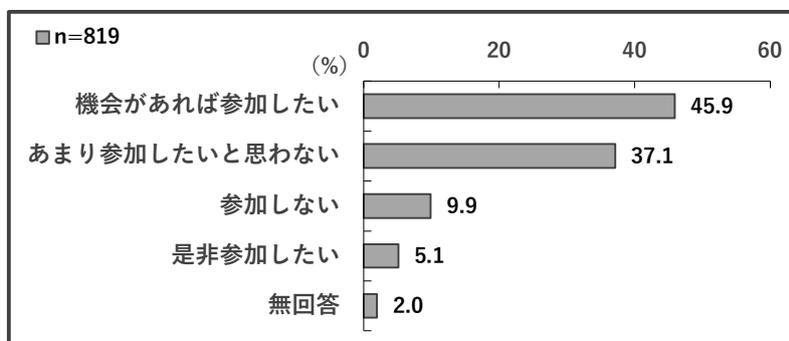
問 12 あなたは今後、「地域の交流活動」へ参加したいと思いますか。(○は1つ)

##### ▼結果要点

- “機会があれば参加したい”が約5割を占めている。

地域の交流活動への参加意向については、「機会があれば参加したい」(45.9%)が最も多く、次いで「あまり参加したいと思わない」(37.1%)の順となっています。

図表 18 地域の交流活動への参加意向



図表 19 地域の交流活動への参加意向（性別・年齢・居住地区、一位の数値に網掛け）

		合計	問12 地域の交流活動への参加意向				無回答
			是非参加 したい	機会があ れば参加 したい	あまり参 加したい と思わな い	参加しな い	
全体		819 100.0%	42 5.1%	376 45.9%	304 37.1%	81 9.9%	16 2.0%
問2 性別	男性	350 100.0%	22 6.3%	164 46.9%	125 35.7%	32 9.1%	7 2.0%
	女性	465 100.0%	20 4.3%	212 45.6%	177 38.1%	48 10.3%	8 1.7%
	その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
問3 年齢	19歳以下	17 100.0%	1 5.9%	6 35.3%	9 52.9%	1 5.9%	0 0.0%
	20～29歳	53 100.0%	4 7.5%	24 45.3%	19 35.8%	6 11.3%	0 0.0%
	30～39歳	89 100.0%	3 3.4%	39 43.8%	35 39.3%	11 12.4%	1 1.1%
	40～49歳	103 100.0%	5 4.9%	44 42.7%	37 35.9%	17 16.5%	0 0.0%
	50～59歳	135 100.0%	4 3.0%	65 48.1%	48 35.6%	13 9.6%	5 3.7%
	60～69歳	157 100.0%	6 3.8%	75 47.8%	59 37.6%	14 8.9%	3 1.9%
	70～79歳	192 100.0%	13 6.8%	92 47.9%	72 37.5%	10 5.2%	5 2.6%
	80歳以上	66 100.0%	6 9.1%	29 43.9%	22 33.3%	8 12.1%	1 1.5%
問1 居住地区	川辺小学校区	234 100.0%	15 6.4%	115 49.1%	78 33.3%	22 9.4%	4 1.7%
	瀬加小学校区	173 100.0%	10 5.8%	73 42.2%	76 43.9%	13 7.5%	1 0.6%
	甘地小学校区	200 100.0%	9 4.5%	95 47.5%	65 32.5%	25 12.5%	6 3.0%
	鶴居小学校区	205 100.0%	8 3.9%	93 45.4%	80 39.0%	20 9.8%	4 2.0%

### 3 産業振興について

#### (1) 農林業振興のため力を入れるべきこと

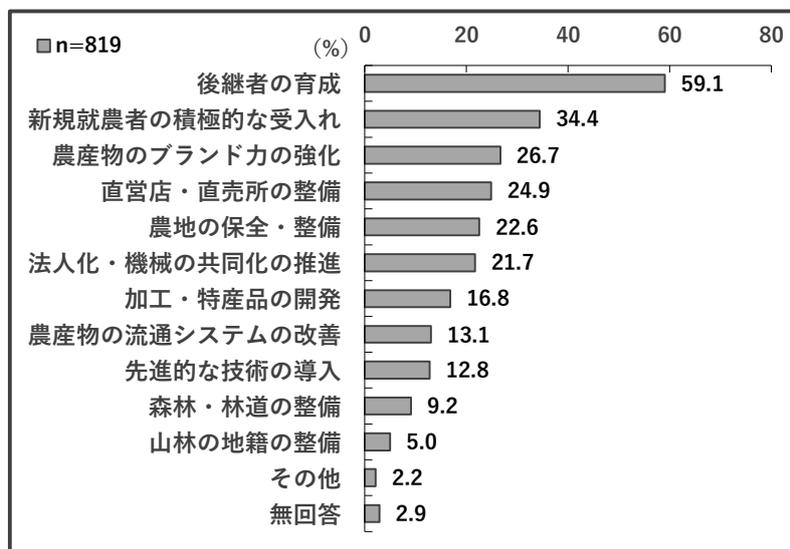
問 13 あなたは、市川町の農林業を振興するため、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。  
(○は3つまで)

#### ▼結果要点

- “後継者の育成”が6割弱を占めている。

農林業振興のため力を入れるべきことについては、「後継者の育成」(59.1%)が最も多く、次いで「新規就業者の積極的な受入れ」(34.4%)の順となっています。

図表 20 農林業振興のため力を入れるべきこと



図表 21 農林業振興のため力を入れるべきこと（性別・年齢・居住地区、一位の数値に網掛け）

		合計	問13 農林業振興のため力を入れるべきこと								
			後継者の育成	新規就農者の積極的な受入れ	法人化・機械の共同化の推進	農地の保全・整備	先進的な技術の導入	農産物の流通システムの改善	農産物のブランド力の強化	加工・特産品の開発	直営店・直売所の整備
全体		819 100.0%	484 59.1%	282 34.4%	178 21.7%	185 22.6%	105 12.8%	107 13.1%	219 26.7%	138 16.8%	204 24.9%
問2 性別	男性	350 100.0%	203 58.0%	129 36.9%	100 28.6%	84 24.0%	53 15.1%	41 11.7%	82 23.4%	58 16.6%	85 24.3%
	女性	465 100.0%	279 60.0%	153 32.9%	77 16.6%	100 21.5%	52 11.2%	64 13.8%	136 29.2%	80 17.2%	119 25.6%
	その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
問3 年齢	19歳以下	17 100.0%	10 58.8%	6 35.3%	4 23.5%	3 17.6%	5 29.4%	0 0.0%	6 35.3%	1 5.9%	5 29.4%
	20～29歳	53 100.0%	28 52.8%	14 26.4%	2 3.8%	3 5.7%	12 22.6%	11 20.8%	20 37.7%	14 26.4%	16 30.2%
	30～39歳	89 100.0%	44 49.4%	41 46.1%	12 13.5%	12 13.5%	19 21.3%	13 14.6%	39 43.8%	16 18.0%	23 25.8%
	40～49歳	103 100.0%	64 62.1%	40 38.8%	21 20.4%	13 12.6%	18 17.5%	12 11.7%	36 35.0%	19 18.4%	26 25.2%
	50～59歳	135 100.0%	78 57.8%	51 37.8%	25 18.5%	21 15.6%	17 12.6%	13 9.6%	42 31.1%	24 17.8%	35 25.9%
	60～69歳	157 100.0%	89 56.7%	47 29.9%	47 29.9%	45 28.7%	17 10.8%	18 11.5%	41 26.1%	30 19.1%	35 22.3%
	70～79歳	192 100.0%	128 66.7%	63 32.8%	50 26.0%	65 33.9%	12 6.3%	27 14.1%	25 13.0%	26 13.5%	44 22.9%
	80歳以上	66 100.0%	39 59.1%	19 28.8%	15 22.7%	22 33.3%	5 7.6%	9 13.6%	8 12.1%	7 10.6%	20 30.3%
問1 居住地区	川辺小学校区	234 100.0%	137 58.5%	70 29.9%	46 19.7%	46 19.7%	32 13.7%	27 11.5%	67 28.6%	45 19.2%	59 25.2%
	瀬加小学校区	173 100.0%	92 53.2%	64 37.0%	39 22.5%	45 26.0%	22 12.7%	23 13.3%	39 22.5%	32 18.5%	35 20.2%
	甘地小学校区	200 100.0%	122 61.0%	73 36.5%	42 21.0%	32 16.0%	31 15.5%	25 12.5%	53 26.5%	32 16.0%	53 26.5%
	鶴居小学校区	205 100.0%	129 62.9%	72 35.1%	49 23.9%	60 29.3%	20 9.8%	28 13.7%	57 27.8%	29 14.1%	57 27.8%

		合計	問13 農林業振興のため力を入れるべきこと			
			山林の地籍の整備	森林・林道の整備	その他	無回答
全体		819 100.0%	41 5.0%	75 9.2%	18 2.2%	24 2.9%
問2 性別	男性	350 100.0%	20 5.7%	36 10.3%	5 1.4%	10 2.9%
	女性	465 100.0%	21 4.5%	39 8.4%	11 2.4%	14 3.0%
	その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
問3 年齢	19歳以下	17 100.0%	0 0.0%	2 11.8%	2 11.8%	0 0.0%
	20～29歳	53 100.0%	2 3.8%	4 7.5%	2 3.8%	1 1.9%
	30～39歳	89 100.0%	3 3.4%	5 5.6%	2 2.2%	1 1.1%
	40～49歳	103 100.0%	2 1.9%	12 11.7%	3 2.9%	1 1.0%
	50～59歳	135 100.0%	9 6.7%	16 11.9%	3 2.2%	4 3.0%
	60～69歳	157 100.0%	5 3.2%	11 7.0%	0 0.0%	7 4.5%
	70～79歳	192 100.0%	15 7.8%	17 8.9%	3 1.6%	8 4.2%
	80歳以上	66 100.0%	5 7.6%	8 12.1%	1 1.5%	2 3.0%
問1 居住地区	川辺小学校区	234 100.0%	10 4.3%	17 7.3%	5 2.1%	8 3.4%
	瀬加小学校区	173 100.0%	17 9.8%	25 14.5%	3 1.7%	5 2.9%
	甘地小学校区	200 100.0%	4 2.0%	14 7.0%	5 2.5%	7 3.5%
	鶴居小学校区	205 100.0%	10 4.9%	18 8.8%	4 2.0%	4 2.0%

## (2) 商工業振興のため力を入れるべきこと

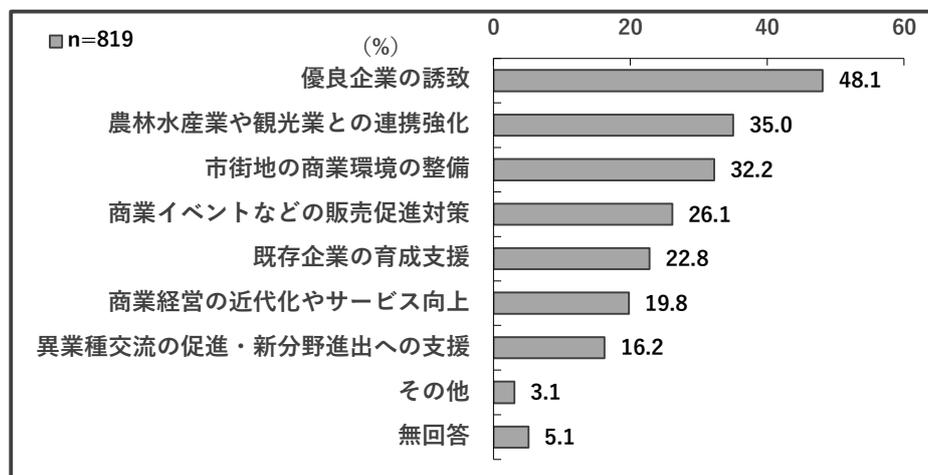
問 14 あなたは、市川町の商工業を振興するため、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。  
(〇は3つまで)

### ▼結果要点

- “優良企業の誘致”が約5割を占めている。

商工業振興のため力を入れるべきことについては、「優良企業の誘致」(48.1%)が最も多く、次いで「農林水産業や観光業との連携強化」(35.0%)の順となっています。

図表 22 商工業振興のため力を入れるべきこと



図表 23 商工業振興のため力を入れるべきこと（性別・年齢・居住地区、一位の数値に網掛け）

		問14 商工業振興のため力を入れるべきこと									
		合計	農林水産業や観光業との連携強化	市街地の商業環境の整備	商業イベントなどの販売促進対策	商業経営の近代化やサービス向上	既存企業の育成支援	異業種交流の促進・新分野進出へ	優良企業の誘致	その他	無回答
全体		819 100.0%	287 35.0%	264 32.2%	214 26.1%	162 19.8%	187 22.8%	133 16.2%	394 48.1%	25 3.1%	42 5.1%
問2 性別	男性	350 100.0%	124 35.4%	128 36.6%	79 22.6%	75 21.4%	84 24.0%	68 19.4%	196 56.0%	8 2.3%	17 4.9%
	女性	465 100.0%	163 35.1%	136 29.2%	134 28.8%	87 18.7%	103 22.2%	65 14.0%	196 42.2%	16 3.4%	25 5.4%
	その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
問3 年齢	19歳以下	17 100.0%	7 41.2%	7 41.2%	5 29.4%	4 23.5%	7 41.2%	0 0.0%	9 52.9%	1 5.9%	0 0.0%
	20～29歳	53 100.0%	16 30.2%	14 26.4%	20 37.7%	9 17.0%	15 28.3%	10 18.9%	24 45.3%	2 3.8%	1 1.9%
	30～39歳	89 100.0%	35 39.3%	34 38.2%	24 27.0%	28 31.5%	23 25.8%	12 13.5%	41 46.1%	4 4.5%	1 1.1%
	40～49歳	103 100.0%	37 35.9%	44 42.7%	27 26.2%	19 18.4%	25 24.3%	28 27.2%	42 40.8%	2 1.9%	4 3.9%
	50～59歳	135 100.0%	46 34.1%	44 32.6%	35 25.9%	31 23.0%	20 14.8%	22 16.3%	68 50.4%	3 2.2%	5 3.7%
	60～69歳	157 100.0%	62 39.5%	46 29.3%	40 25.5%	31 19.7%	30 19.1%	29 18.5%	79 50.3%	3 1.9%	8 5.1%
	70～79歳	192 100.0%	64 33.3%	54 28.1%	49 25.5%	28 14.6%	47 24.5%	24 12.5%	93 48.4%	8 4.2%	18 9.4%
	80歳以上	66 100.0%	18 27.3%	19 28.8%	12 18.2%	11 16.7%	19 28.8%	8 12.1%	35 53.0%	1 1.5%	5 7.6%
問1 居住地区	川辺小学校区	234 100.0%	74 31.6%	78 33.3%	69 29.5%	47 20.1%	53 22.6%	39 16.7%	109 46.6%	8 3.4%	11 4.7%
	瀬加小学校区	173 100.0%	72 41.6%	56 32.4%	45 26.0%	31 17.9%	43 24.9%	32 18.5%	72 41.6%	4 2.3%	14 8.1%
	甘地小学校区	200 100.0%	66 33.0%	66 33.0%	49 24.5%	35 17.5%	43 21.5%	34 17.0%	94 47.0%	8 4.0%	10 5.0%
	鶴居小学校区	205 100.0%	73 35.6%	63 30.7%	48 23.4%	46 22.4%	46 22.4%	28 13.7%	115 56.1%	5 2.4%	7 3.4%

### (3) 観光について力を入れるべきこと

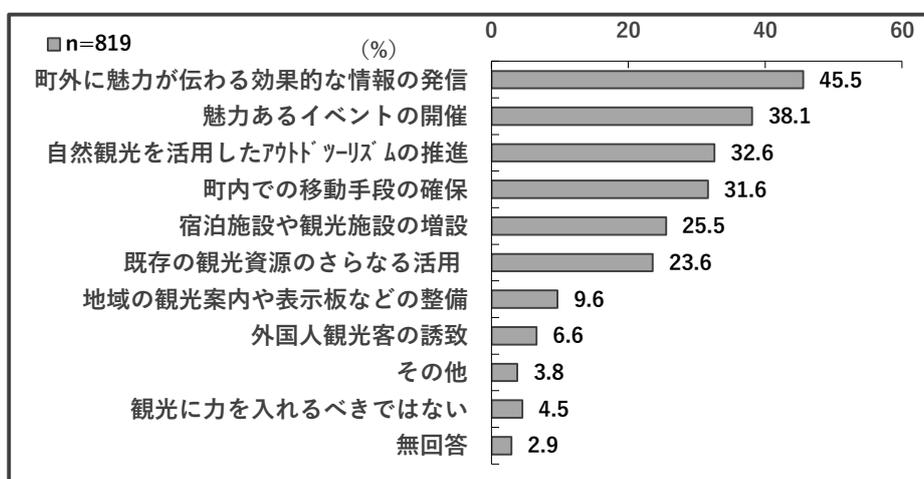
問 15 あなたは、観光について、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(○は3つまで)

#### ▼結果要点

- “町外に魅力が伝わる効果的な情報の発信”が約5割を占めている。

観光について力を入れるべきことについては、「町外に魅力が伝わる効果的な情報の発信」(45.5%)が最も多く、次いで「魅力あるイベントの開催」(38.1%)の順となっています。

図表 24 観光について力を入れるべきこと



図表 25 観光について力を入れるべきこと（性別・年齢・居住地区、一位の数値に網掛け）

	合計	問15 観光について力を入れるべきこと										無回答	
		既存の観光資源のさらなる活用	町外に魅力が伝わる効果的な情報の	宿泊施設や観光施設の増設	町内での移動手段の確保	地域の観光案内や表示板などの整備	外国人観光客の誘致	自然観光を活用したアウトドア・ツーリズムの	魅力あるイベントの開催	その他	観光に力を入れるべきではない		
全体	819 100.0%	193 23.6%	373 45.5%	209 25.5%	259 31.6%	79 9.6%	54 6.6%	267 32.6%	312 38.1%	31 3.8%	37 4.5%	24 2.9%	
問2 性別	男性	350 100.0%	84 24.0%	160 45.7%	110 31.4%	101 28.9%	36 10.3%	30 8.6%	120 34.3%	123 35.1%	11 3.1%	20 5.7%	12 3.4%
	女性	465 100.0%	109 23.4%	213 45.8%	99 21.3%	157 33.8%	43 9.2%	24 5.2%	147 31.6%	189 40.6%	19 4.1%	15 3.2%	12 2.6%
	その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
問3 年齢	19歳以下	17 100.0%	2 11.8%	12 70.6%	4 23.5%	4 23.5%	0 0.0%	3 17.6%	7 41.2%	7 41.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	20～29歳	53 100.0%	9 17.0%	22 41.5%	19 35.8%	22 41.5%	4 7.5%	5 9.4%	19 35.8%	30 56.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.9%
	30～39歳	89 100.0%	20 22.5%	40 44.9%	32 36.0%	20 22.5%	9 10.1%	11 12.4%	38 42.7%	35 39.3%	5 5.6%	7 7.9%	0 0.0%
	40～49歳	103 100.0%	17 16.5%	43 41.7%	41 39.8%	29 28.2%	5 4.9%	11 10.7%	37 35.9%	41 39.8%	6 5.8%	6 5.8%	1 1.0%
	50～59歳	135 100.0%	27 20.0%	52 38.5%	32 23.7%	37 27.4%	9 6.7%	9 6.7%	49 36.3%	54 40.0%	7 5.2%	7 5.2%	4 3.0%
	60～69歳	157 100.0%	48 30.6%	69 43.9%	38 24.2%	49 31.2%	15 9.6%	8 5.1%	45 28.7%	59 37.6%	8 5.1%	10 6.4%	4 2.5%
	70～79歳	192 100.0%	56 29.2%	99 51.6%	31 16.1%	72 37.5%	27 14.1%	5 2.6%	54 28.1%	64 33.3%	3 1.6%	4 2.1%	12 6.3%
	80歳以上	66 100.0%	14 21.2%	35 53.0%	10 15.2%	24 36.4%	10 15.2%	2 3.0%	16 24.2%	22 33.3%	0 0.0%	1 1.5%	2 3.0%
問1 居住地区	川辺小学校区	234 100.0%	46 19.7%	108 46.2%	75 32.1%	66 28.2%	20 8.5%	17 7.3%	75 32.1%	96 41.0%	7 3.0%	7 3.0%	7 3.0%
	瀬加小学校区	173 100.0%	54 31.2%	85 49.1%	32 18.5%	67 38.7%	14 8.1%	8 4.6%	59 34.1%	63 36.4%	6 3.5%	5 2.9%	7 4.0%
	甘地小学校区	200 100.0%	45 22.5%	81 40.5%	54 27.0%	60 30.0%	20 10.0%	17 8.5%	62 31.0%	71 35.5%	12 6.0%	12 6.0%	5 2.5%
	鶴居小学校区	205 100.0%	47 22.9%	97 47.3%	46 22.4%	63 30.7%	24 11.7%	11 5.4%	69 33.7%	82 40.0%	5 2.4%	11 5.4%	5 2.4%

## 4 家庭生活について

### 子どもの数を増やすための支援や対策

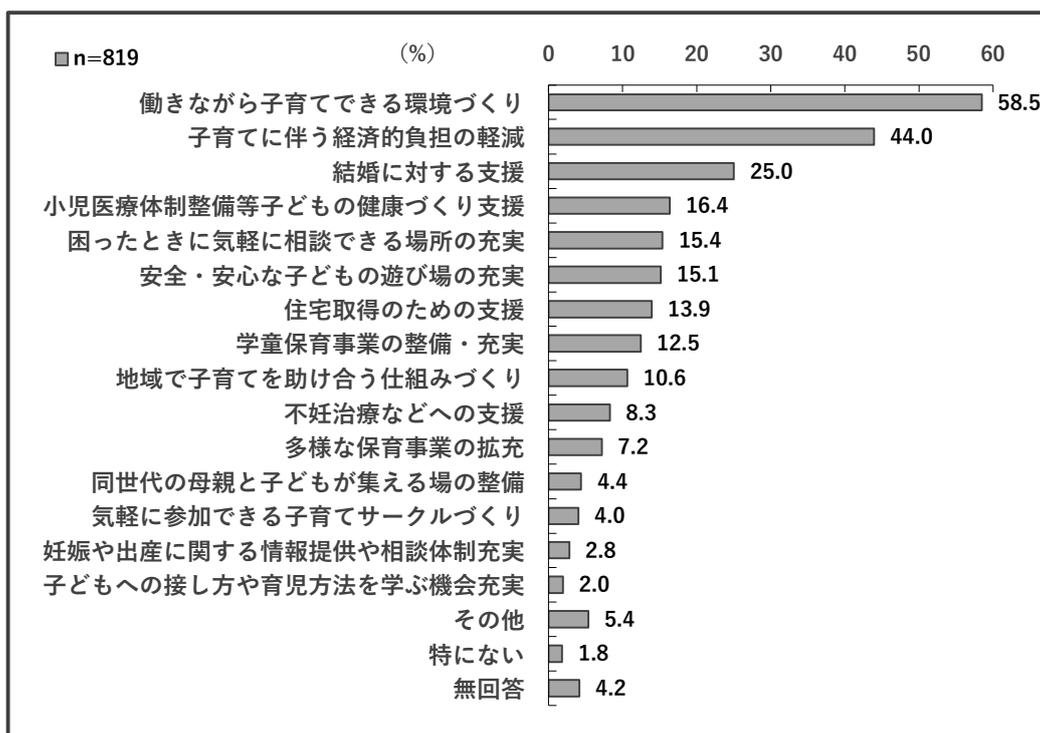
問 16 あなたは、どのような支援や対策を行えば、子どもの数が増えると思いますか。(○は3つまで)

#### ▼結果要点

- “働きながら子育てできる環境づくり”が約6割を占めている。

子どもの数を増やすための支援や対策については、「働きながら子育てできる環境づくり」(58.5%)が最も多く、次いで「子育てに伴う経済的負担の軽減」(44.0%)の順となっています。

図表 26 子どもの数を増やすための支援や対策



図表 27 子どもの数を増やすための支援や対策（性別・年齢・居住地区、一位の数値に網掛け）

		合計	問16 子どもの数を増やすための支援や対策								
			働きながら子育てできる環境づくり	結婚に対する支援	妊娠や出産に関する情報提供や相談体制充実	不妊治療などへの支援	子どもへの接し方や育児方法を学ぶ機会充実	困ったときに気軽に相談できる場所の充実	小児医療体制整備等子どもの健康づくり支援	安全・安心な子どもの遊び場の充実	多様な保育事業の拡充
全体		819 100.0%	479 58.5%	205 25.0%	23 2.8%	68 8.3%	16 2.0%	126 15.4%	134 16.4%	124 15.1%	59 7.2%
問2 性別	男性	350 100.0%	187 53.4%	105 30.0%	11 3.1%	29 8.3%	10 2.9%	44 12.6%	63 18.0%	45 12.9%	28 8.0%
	女性	465 100.0%	290 62.4%	100 21.5%	12 2.6%	38 8.2%	6 1.3%	81 17.4%	71 15.3%	79 17.0%	31 6.7%
	その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
問3 年齢	19歳以下	17 100.0%	10 58.8%	5 29.4%	0 0.0%	1 5.9%	1 5.9%	0 0.0%	3 17.6%	2 11.8%	2 11.8%
	20～29歳	53 100.0%	30 56.6%	13 24.5%	6 11.3%	4 7.5%	2 3.8%	4 7.5%	7 13.2%	11 20.8%	5 9.4%
	30～39歳	89 100.0%	41 46.1%	14 15.7%	1 1.1%	17 19.1%	1 1.1%	7 7.9%	19 21.3%	21 23.6%	8 9.0%
	40～49歳	103 100.0%	63 61.2%	21 20.4%	4 3.9%	13 12.6%	1 1.0%	10 9.7%	24 23.3%	22 21.4%	7 6.8%
	50～59歳	135 100.0%	80 59.3%	36 26.7%	7 5.2%	11 8.1%	1 0.7%	23 17.0%	14 10.4%	15 11.1%	12 8.9%
	60～69歳	157 100.0%	95 60.5%	45 28.7%	4 2.5%	11 7.0%	1 0.6%	19 12.1%	25 15.9%	18 11.5%	11 7.0%
	70～79歳	192 100.0%	124 64.6%	48 25.0%	1 0.5%	10 5.2%	5 2.6%	46 24.0%	31 16.1%	25 13.0%	10 5.2%
	80歳以上	66 100.0%	33 50.0%	22 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	4 6.1%	15 22.7%	11 16.7%	9 13.6%	4 6.1%
問1 居住地区	川辺小学校区	234 100.0%	132 56.4%	62 26.5%	8 3.4%	24 10.3%	4 1.7%	31 13.2%	38 16.2%	37 15.8%	13 5.6%
	瀬加小学校区	173 100.0%	93 53.8%	52 30.1%	4 2.3%	11 6.4%	5 2.9%	26 15.0%	34 19.7%	28 16.2%	11 6.4%
	甘地小学校区	200 100.0%	107 53.5%	43 21.5%	7 3.5%	15 7.5%	1 0.5%	35 17.5%	30 15.0%	38 19.0%	17 8.5%
	鶴居小学校区	205 100.0%	143 69.8%	47 22.9%	4 2.0%	17 8.3%	6 2.9%	31 15.1%	31 15.1%	21 10.2%	17 8.3%
	合計	819	479	205	23	68	16	126	134	124	59

		合計	問16 子どもの数を増やすための支援や対策								
			学童保育事業の整備・充実	子育てに伴う経済的負担の軽減	住宅取得のための支援	同世代の母親と子どもが集える場の整備	地域で子育てを助け合う仕組みづくり	気軽に参加できる子育てサークルづくり	その他	特にない	無回答
全体		819 100.0%	102 12.5%	360 44.0%	114 13.9%	36 4.4%	87 10.6%	33 4.0%	44 5.4%	15 1.8%	34 4.2%
問2 性別	男性	350 100.0%	38 10.9%	166 47.4%	55 15.7%	17 4.9%	35 10.0%	9 2.6%	20 5.7%	7 2.0%	14 4.0%
	女性	465 100.0%	64 13.8%	193 41.5%	59 12.7%	19 4.1%	52 11.2%	24 5.2%	22 4.7%	7 1.5%	20 4.3%
	その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
問3 年齢	19歳以下	17 100.0%	1 5.9%	12 70.6%	4 23.5%	0 0.0%	2 11.8%	0 0.0%	1 5.9%	0 0.0%	0 0.0%
	20～29歳	53 100.0%	3 5.7%	30 56.6%	7 13.2%	1 1.9%	4 7.5%	2 3.8%	3 5.7%	0 0.0%	2 3.8%
	30～39歳	89 100.0%	14 15.7%	43 48.3%	18 20.2%	1 1.1%	4 4.5%	2 2.2%	8 9.0%	4 4.5%	4 4.5%
	40～49歳	103 100.0%	12 11.7%	49 47.6%	14 13.6%	1 1.0%	10 9.7%	3 2.9%	9 8.7%	0 0.0%	2 1.9%
	50～59歳	135 100.0%	13 9.6%	58 43.0%	23 17.0%	6 4.4%	13 9.6%	5 3.7%	8 5.9%	2 1.5%	8 5.9%
	60～69歳	157 100.0%	20 12.7%	72 45.9%	22 14.0%	10 6.4%	18 11.5%	3 1.9%	7 4.5%	3 1.9%	8 5.1%
	70～79歳	192 100.0%	32 16.7%	73 38.0%	19 9.9%	12 6.3%	26 13.5%	11 5.7%	4 2.1%	3 1.6%	8 4.2%
	80歳以上	66 100.0%	7 10.6%	20 30.3%	6 9.1%	5 7.6%	10 15.2%	7 10.6%	1 1.5%	2 3.0%	2 3.0%
問1 居住地区	川辺小学校区	234 100.0%	23 9.8%	99 42.3%	38 16.2%	9 3.8%	32 13.7%	11 4.7%	11 4.7%	4 1.7%	8 3.4%
	瀬加小学校区	173 100.0%	23 13.3%	73 42.2%	23 13.3%	10 5.8%	14 8.1%	8 4.6%	10 5.8%	2 1.2%	9 5.2%
	甘地小学校区	200 100.0%	24 12.0%	85 42.5%	23 11.5%	4 2.0%	29 14.5%	7 3.5%	13 6.5%	3 1.5%	11 5.5%
	鶴居小学校区	205 100.0%	32 15.6%	102 49.8%	29 14.1%	13 6.3%	12 5.9%	7 3.4%	6 2.9%	6 2.9%	6 2.9%
	合計	819	102	360	114	36	87	33	44	15	34

## 5 まちづくりの重要度について

### (1) まちづくりにおける施策や環境の現状の重要度説明

問 17 では市川町総合計画後期基本計画における施策の今後の重要度について尋ねています。  
以下の(2)では、加重平均法※によって、重要度の評価点を算出した結果を見ていきます。

※加重平均法の算出方法 5段階の評価にそれぞれ点数を与え評価点を算出する。

$$\text{評価点} = \left( \begin{array}{l} \text{「1、力を入れてほしい」} \times 10 \text{点} \\ + \\ \text{「2、できれば力を入れてほしい」} \times 5 \text{点} \\ + \\ \text{「3、現状でよい」} \times 0 \text{点} \\ + \\ \text{「4、あまり力を入れる必要はない」} \times -5 \text{点} \\ + \\ \text{「5、力を入れる必要はない」} \times -10 \text{点} \end{array} \right) \div \left( \begin{array}{l} \text{「1、力を入れてほしい」} \\ \text{「2、できれば力を入れてほしい」} \\ \text{「3、現状でよい」} \\ \text{「4、あまり力を入れる必要はない」} \\ \text{「5、力を入れる必要はない」} \\ \text{の回答者数} \end{array} \right)$$

## (2) まちづくりの重要度

問 17 次にあげる市川町総合計画後期基本計画の各施策について、あなたは、今後、どれくらい重要だと思いますか。(○はそれぞれ1つずつ)

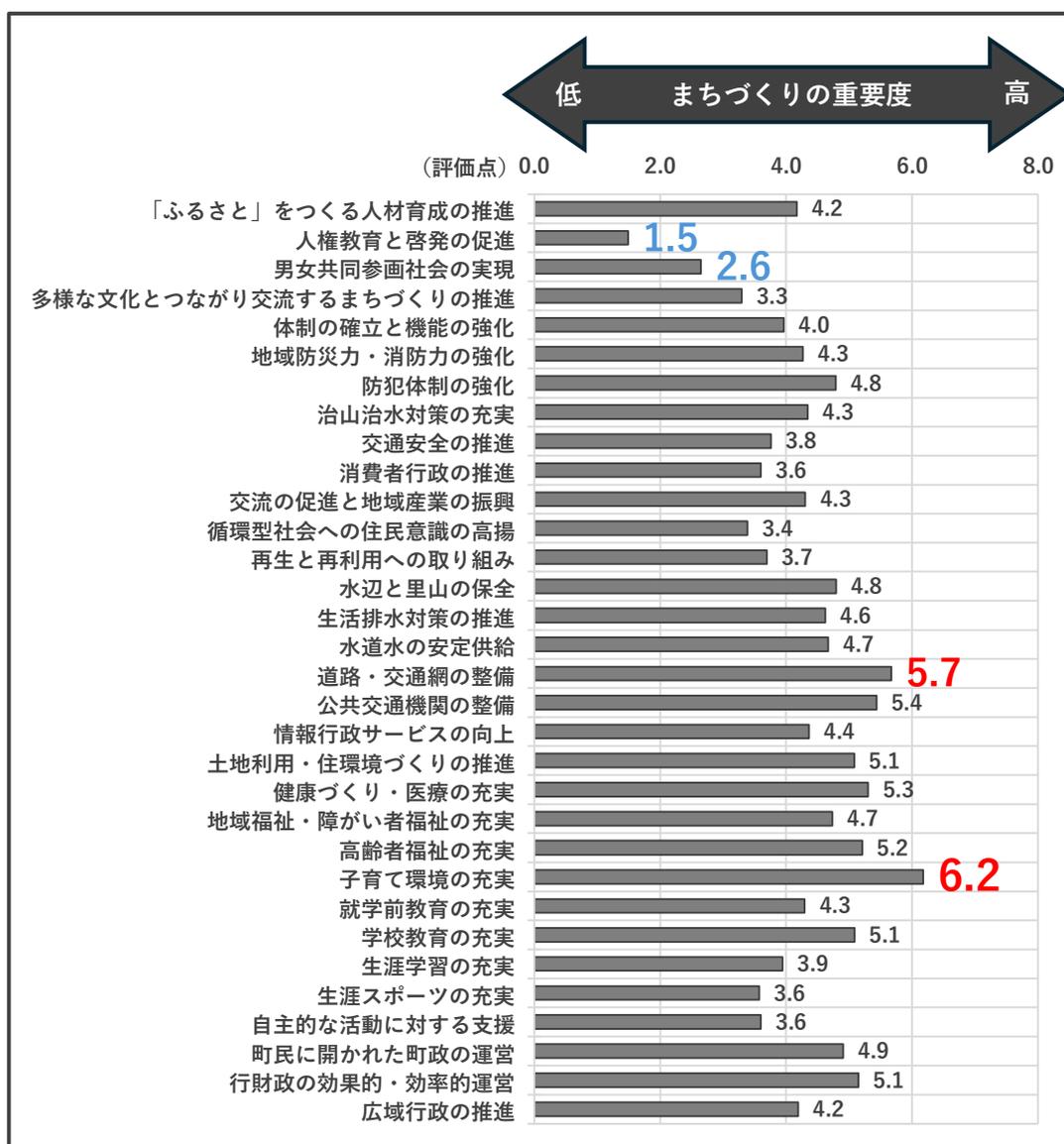
### ▼結果要点

- “子育て環境の充実”の評価点が最も高い。

まちづくりの重要度の評価点については、「子育て環境の充実」(6.2)が最も高くなっており、「道路・交通網の整備」(5.7)がそれに続きます。

一方で「人権教育と啓発の推進」(1.5)の重要度の評価点が最も低くなっており、「男女共同参画社会の実現」(2.6)がそれに続きます。

図表 28 まちづくりの重要度



## 6 今後のまちづくりについて

### (1) 町に関する情報の入手先

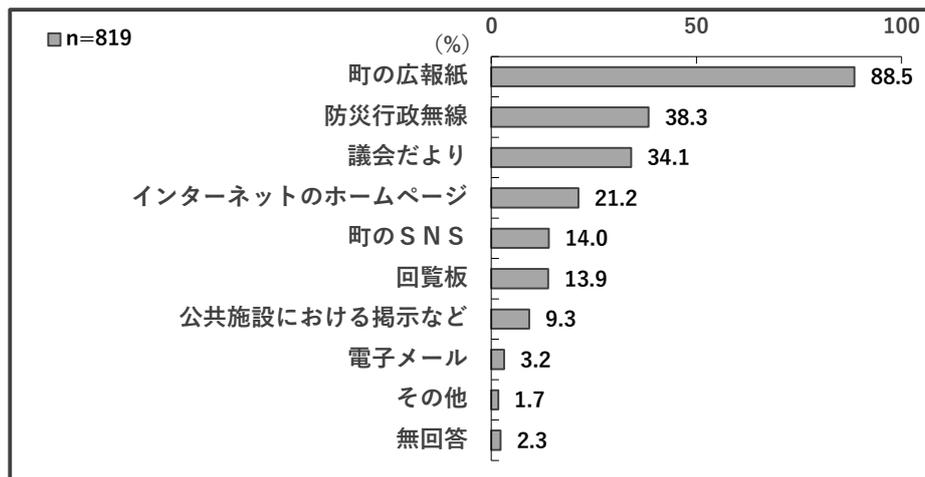
問 18 市川町では広報紙やホームページなどで、町の制度や行事などの情報をお伝えしています。あなたは、どのような方法で町に関する情報を得ていますか、または得たいと思いますか。(〇は3つまで)

#### ▼結果要点

- “町の広報誌”が約9割を占めている。

町に関する情報の入手先については、「町の広報紙」(88.5%)が最も多く、次いで「防災行政無線」(38.3%)の順となっています。

図表 29 町に関する情報の入手先



図表 30 町に関する情報の入手先（性別・年齢・居住地区、一位の数値に網掛け）

	合計	問18 町に関する情報の入手先										
		町の広報紙	議会だより	回覧板	公共施設における掲示など	インターネットのホームページ	電子メール	防災行政無線	町のSNS	その他	無回答	
全体	819 100.0%	725 88.5%	279 34.1%	114 13.9%	76 9.3%	174 21.2%	26 3.2%	314 38.3%	115 14.0%	14 1.7%	19 2.3%	
問2 性別	男性	350 100.0%	311 88.9%	123 35.1%	52 14.9%	33 9.4%	78 22.3%	15 4.3%	141 40.3%	44 12.6%	3 0.9%	6 1.7%
	女性	465 100.0%	412 88.6%	155 33.3%	61 13.1%	43 9.2%	96 20.6%	11 2.4%	172 37.0%	71 15.3%	9 1.9%	13 2.8%
	その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
問3 年齢	19歳以下	17 100.0%	12 70.6%	0 0.0%	2 11.8%	0 0.0%	5 29.4%	0 0.0%	6 35.3%	9 52.9%	1 5.9%	0 0.0%
	20～29歳	53 100.0%	43 81.1%	4 7.5%	3 5.7%	9 17.0%	11 20.8%	4 7.5%	8 15.1%	14 26.4%	0 0.0%	0 0.0%
	30～39歳	89 100.0%	81 91.0%	22 24.7%	10 11.2%	5 5.6%	26 29.2%	4 4.5%	25 28.1%	19 21.3%	2 2.2%	0 0.0%
	40～49歳	103 100.0%	90 87.4%	34 33.0%	9 8.7%	7 6.8%	33 32.0%	5 4.9%	25 24.3%	23 22.3%	2 1.9%	3 2.9%
	50～59歳	135 100.0%	122 90.4%	40 29.6%	19 14.1%	8 5.9%	31 23.0%	4 3.0%	44 32.6%	22 16.3%	1 0.7%	0 0.0%
	60～69歳	157 100.0%	142 90.4%	57 36.3%	22 14.0%	11 7.0%	35 22.3%	7 4.5%	71 45.2%	18 11.5%	2 1.3%	3 1.9%
	70～79歳	192 100.0%	174 90.6%	89 46.4%	33 17.2%	26 13.5%	28 14.6%	2 1.0%	103 53.6%	8 4.2%	3 1.6%	8 4.2%
	80歳以上	66 100.0%	57 86.4%	30 45.5%	15 22.7%	10 15.2%	5 7.6%	0 0.0%	28 42.4%	2 3.0%	1 1.5%	5 7.6%
問1 居住地区	川辺小学校区	234 100.0%	211 90.2%	69 29.5%	27 11.5%	27 11.5%	55 23.5%	11 4.7%	75 32.1%	40 17.1%	4 1.7%	4 1.7%
	瀬加小学校区	173 100.0%	146 84.4%	73 42.2%	14 8.1%	18 10.4%	31 17.9%	5 2.9%	80 46.2%	24 13.9%	2 1.2%	8 4.6%
	甘地小学校区	200 100.0%	179 89.5%	69 34.5%	23 11.5%	15 7.5%	40 20.0%	7 3.5%	70 35.0%	26 13.0%	7 3.5%	4 2.0%
	鶴居小学校区	205 100.0%	185 90.2%	67 32.7%	49 23.9%	16 7.8%	48 23.4%	3 1.5%	85 41.5%	25 12.2%	0 0.0%	3 1.5%

## (2) 町の行政運営について望むこと

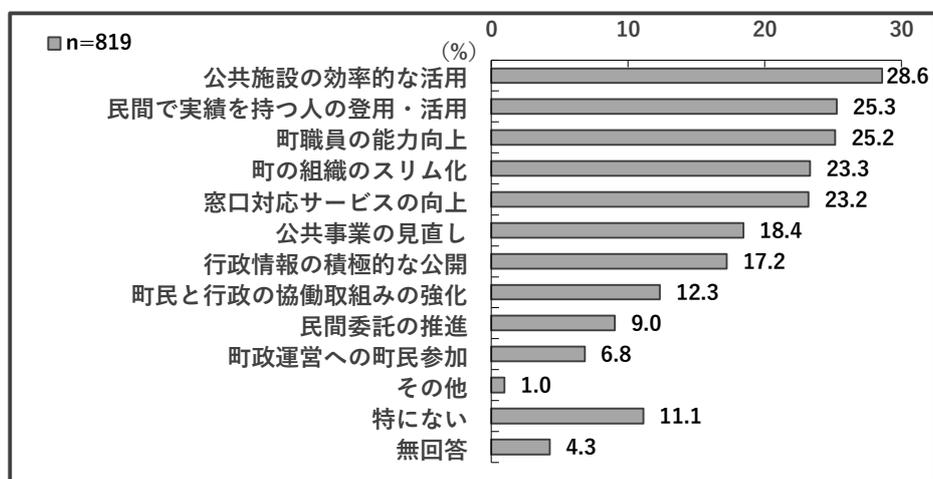
問 19 あなたは、市川町の行政運営について、今後どのようなことを望みますか。(○は3つまで)

### ▼結果要点

- “公共施設の効率的な活用”が3割を占めている。

町の行政運営について望むことについては、「公共施設の効率的な活用」(28.6%)が最も多く、次いで「民間で実績を持つ人の登用・活用」(25.3%)の順となっています。

図表 31 町の行政運営について望むこと



図表 32 町の行政運営について望むこと（性別・年齢・居住地区、一位の数値に網掛け）

		合計	問19 町の行政運営について望むこと								
			町の組織の スリム化	窓口対応 サービスの 向上	公共事業の 見直し	行政情報の 積極的な公 開	公共施設の 効率的な活 用	町職員の能 力向上	民間で実績 を持つ人の 登用・活用	民間委託の 推進	町政運営へ の町民参加
全体		819 100.0%	191 23.3%	190 23.2%	151 18.4%	141 17.2%	234 28.6%	206 25.2%	207 25.3%	74 9.0%	56 6.8%
問2 性別	男性	350 100.0%	85 24.3%	69 19.7%	85 24.3%	75 21.4%	100 28.6%	89 25.4%	86 24.6%	48 13.7%	28 8.0%
	女性	465 100.0%	105 22.6%	119 25.6%	65 14.0%	65 14.0%	132 28.4%	116 24.9%	120 25.8%	26 5.6%	28 6.0%
	その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
問3 年齢	19歳以下	17 100.0%	4 23.5%	4 23.5%	1 5.9%	2 11.8%	3 17.6%	3 17.6%	3 17.6%	0 0.0%	3 17.6%
	20～29歳	53 100.0%	8 15.1%	6 11.3%	14 26.4%	6 11.3%	13 24.5%	12 22.6%	12 22.6%	1 1.9%	5 9.4%
	30～39歳	89 100.0%	23 25.8%	17 19.1%	22 24.7%	15 16.9%	35 39.3%	23 25.8%	20 22.5%	8 9.0%	4 4.5%
	40～49歳	103 100.0%	22 21.4%	19 18.4%	23 22.3%	15 14.6%	36 35.0%	22 21.4%	29 28.2%	10 9.7%	6 5.8%
	50～59歳	135 100.0%	36 26.7%	34 25.2%	23 17.0%	21 15.6%	41 30.4%	32 23.7%	30 22.2%	12 8.9%	12 8.9%
	60～69歳	157 100.0%	44 28.0%	45 28.7%	28 17.8%	31 19.7%	36 22.9%	45 28.7%	43 27.4%	12 7.6%	8 5.1%
	70～79歳	192 100.0%	40 20.8%	49 25.5%	31 16.1%	31 16.1%	56 29.2%	54 28.1%	51 26.6%	21 10.9%	15 7.8%
	80歳以上	66 100.0%	12 18.2%	13 19.7%	8 12.1%	18 27.3%	11 16.7%	13 19.7%	17 25.8%	10 15.2%	3 4.5%
問1 居住地区	川辺小学校区	234 100.0%	53 22.6%	47 20.1%	40 17.1%	38 16.2%	64 27.4%	61 26.1%	60 25.6%	15 6.4%	19 8.1%
	瀬加小学校区	173 100.0%	39 22.5%	40 23.1%	34 19.7%	33 19.1%	54 31.2%	45 26.0%	39 22.5%	20 11.6%	8 4.6%
	甘地小学校区	200 100.0%	41 20.5%	52 26.0%	38 19.0%	32 16.0%	51 25.5%	49 24.5%	49 24.5%	13 6.5%	16 8.0%
	鶴居小学校区	205 100.0%	56 27.3%	46 22.4%	37 18.0%	37 18.0%	60 29.3%	50 24.4%	57 27.8%	25 12.2%	13 6.3%

		合計	問19 町の行政運営について望むこと			
			町民と行政 の協働取組 みの強化	その他	特にな い	無回答
全体		819 100.0%	101 12.3%	8 1.0%	91 11.1%	35 4.3%
問2 性別	男性	350 100.0%	52 14.9%	6 1.7%	31 8.9%	14 4.0%
	女性	465 100.0%	49 10.5%	2 0.4%	60 12.9%	20 4.3%
	その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
問3 年齢	19歳以下	17 100.0%	3 17.6%	0 0.0%	4 23.5%	0 0.0%
	20～29歳	53 100.0%	8 15.1%	1 1.9%	14 26.4%	0 0.0%
	30～39歳	89 100.0%	7 7.9%	0 0.0%	13 14.6%	1 1.1%
	40～49歳	103 100.0%	8 7.8%	3 2.9%	12 11.7%	6 5.8%
	50～59歳	135 100.0%	12 8.9%	1 0.7%	14 10.4%	3 2.2%
	60～69歳	157 100.0%	22 14.0%	1 0.6%	14 8.9%	5 3.2%
	70～79歳	192 100.0%	23 12.0%	2 1.0%	13 6.8%	13 6.8%
	80歳以上	66 100.0%	18 27.3%	0 0.0%	7 10.6%	6 9.1%
問1 居住地区	川辺小学校区	234 100.0%	29 12.4%	2 0.9%	32 13.7%	11 4.7%
	瀬加小学校区	173 100.0%	23 13.3%	0 0.0%	15 8.7%	10 5.8%
	甘地小学校区	200 100.0%	18 9.0%	3 1.5%	24 12.0%	8 4.0%
	鶴居小学校区	205 100.0%	31 15.1%	3 1.5%	20 9.8%	6 2.9%

### (3) 今後のまちづくりの特色

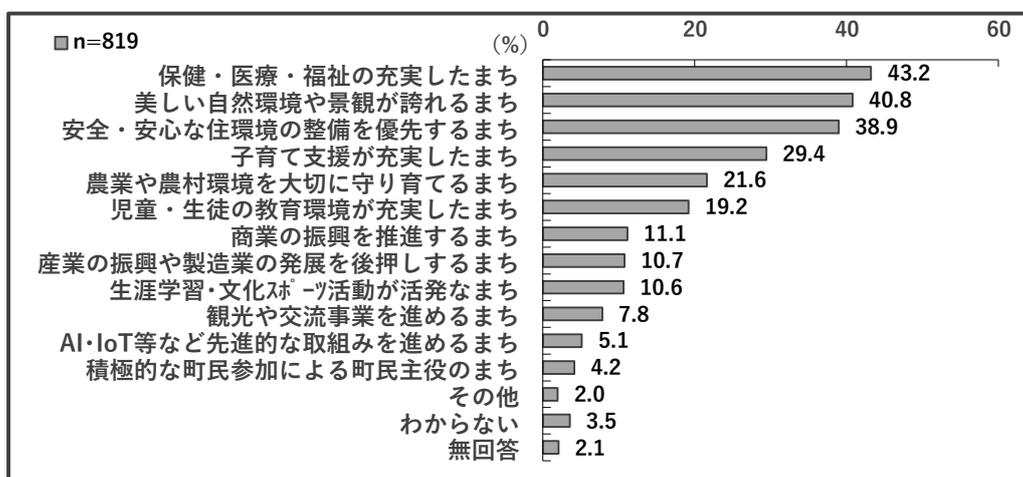
問 20 あなたは、今後、市川町をどのようなまちにしたいと思いますか。(○は3つまで)

#### ▼結果要点

- “保険・医療・福祉の充実したまち”が約4割を占めている。

今後のまちづくりの特色については、「保健・医療・福祉の充実したまち」(43.2%)が最も多く、次いで「美しい自然環境や景観が誇れるまち」(40.8%)の順となっています。

図表 33 今後のまちづくりの特色



図表 34 今後のまちづくりの特色（性別・年齢・居住地区、一位の数値に網掛け）

		合計	問20 今後のまちづくりの特色								
			美しい自然環境や景観が誇れるまち	安全・安心な住環境の整備を優先するまち	農業や農村環境を大切に守り育てるまち	商業の振興を推進するまち	産業の振興や製造業の発展を後押しするまち	観光や交流事業を進めるまち	保健・医療・福祉の充実したまち	子育て支援が充実したまち	児童・生徒の教育環境が充実したまち
全体		819	334	319	177	91	88	64	354	241	157
		100.0%	40.8%	38.9%	21.6%	11.1%	10.7%	7.8%	43.2%	29.4%	19.2%
問2 性別	男性	350	143	134	81	56	54	36	134	97	57
		100.0%	40.9%	38.3%	23.1%	16.0%	15.4%	10.3%	38.3%	27.7%	16.3%
	女性	465	190	184	93	34	33	28	219	143	100
	100.0%	40.9%	39.6%	20.0%	7.3%	7.1%	6.0%	47.1%	30.8%	21.5%	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
問3 年齢	19歳以下	17	9	2	6	0	2	1	4	7	3
		100.0%	52.9%	11.8%	35.3%	0.0%	11.8%	5.9%	23.5%	41.2%	17.6%
	20～29歳	53	20	11	4	14	5	8	12	28	16
		100.0%	37.7%	20.8%	7.5%	26.4%	9.4%	15.1%	22.6%	52.8%	30.2%
	30～39歳	89	38	28	19	11	9	5	28	55	32
		100.0%	42.7%	31.5%	21.3%	12.4%	10.1%	5.6%	31.5%	61.8%	36.0%
	40～49歳	103	38	36	17	15	8	10	42	36	29
		100.0%	36.9%	35.0%	16.5%	14.6%	7.8%	9.7%	40.8%	35.0%	28.2%
	50～59歳	135	63	67	24	18	17	15	60	35	12
	100.0%	46.7%	49.6%	17.8%	13.3%	12.6%	11.1%	44.4%	25.9%	8.9%	
60～69歳	157	64	67	35	16	14	12	72	43	24	
	100.0%	40.8%	42.7%	22.3%	10.2%	8.9%	7.6%	45.9%	27.4%	15.3%	
70～79歳	192	78	84	49	12	23	12	96	27	32	
	100.0%	40.6%	43.8%	25.5%	6.3%	12.0%	6.3%	50.0%	14.1%	16.7%	
80歳以上	66	23	23	20	4	9	1	37	7	8	
	100.0%	34.8%	34.8%	30.3%	6.1%	13.6%	1.5%	56.1%	10.6%	12.1%	
問1 居住地区	川辺小学校区	234	99	93	41	27	27	22	103	65	45
		100.0%	42.3%	39.7%	17.5%	11.5%	11.5%	9.4%	44.0%	27.8%	19.2%
	瀬加小学校区	173	79	64	47	16	16	13	76	57	36
		100.0%	45.7%	37.0%	27.2%	9.2%	9.2%	7.5%	43.9%	32.9%	20.8%
	甘地小学校区	200	75	73	39	24	21	12	86	60	40
	100.0%	37.5%	36.5%	19.5%	12.0%	10.5%	6.0%	43.0%	30.0%	20.0%	
鶴居小学校区	205	77	88	46	23	23	17	87	56	35	
	100.0%	37.6%	42.9%	22.4%	11.2%	11.2%	8.3%	42.4%	27.3%	17.1%	

		合計	問20 今後のまちづくりの特色					
			生涯学習・文化スポーツ活動が活発なまち	積極的な町民参加による町民主役のまち	AI・IoTなど先進的な取り組みを進めるまち	その他	わからない	無回答
全体		819	87	34	42	16	29	17
		100.0%	10.6%	4.2%	5.1%	2.0%	3.5%	2.1%
問2 性別	男性	350	38	19	22	5	9	7
		100.0%	10.9%	5.4%	6.3%	1.4%	2.6%	2.0%
	女性	465	49	15	20	11	19	10
	100.0%	10.5%	3.2%	4.3%	2.4%	4.1%	2.2%	
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
問3 年齢	19歳以下	17	0	2	2	1	1	0
		100.0%	0.0%	11.8%	11.8%	5.9%	5.9%	0.0%
	20～29歳	53	4	2	4	0	3	0
		100.0%	7.5%	3.8%	7.5%	0.0%	5.7%	0.0%
	30～39歳	89	1	2	6	2	3	0
		100.0%	1.1%	2.2%	6.7%	2.2%	3.4%	0.0%
	40～49歳	103	12	4	10	2	3	1
		100.0%	11.7%	3.9%	9.7%	1.9%	2.9%	1.0%
	50～59歳	135	22	2	5	1	2	0
	100.0%	16.3%	1.5%	3.7%	0.7%	1.5%	0.0%	
60～69歳	157	17	5	11	4	6	3	
	100.0%	10.8%	3.2%	7.0%	2.5%	3.8%	1.9%	
70～79歳	192	25	11	4	4	8	7	
	100.0%	13.0%	5.7%	2.1%	2.1%	4.2%	3.6%	
80歳以上	66	6	6	0	1	2	6	
	100.0%	9.1%	9.1%	0.0%	1.5%	3.0%	9.1%	
問1 居住地区	川辺小学校区	234	30	14	10	1	8	5
		100.0%	12.8%	6.0%	4.3%	0.4%	3.4%	2.1%
	瀬加小学校区	173	18	6	8	3	4	5
		100.0%	10.4%	3.5%	4.6%	1.7%	2.3%	2.9%
	甘地小学校区	200	18	5	12	4	10	3
	100.0%	9.0%	2.5%	6.0%	2.0%	5.0%	1.5%	
鶴居小学校区	205	21	9	12	7	7	4	
	100.0%	10.2%	4.4%	5.9%	3.4%	3.4%	2.0%	

## 7 地域幸福度（Well-being）指標について

### （1）地域幸福度（Well-being）指標の概要

問 21～問 27 では、国が推奨する全国統一の設問を取り入れています。

国が進めている「デジタル田園都市国家構想」では、地域で暮らす人々の心豊かな暮らし（Well-Being）の向上を目指しています。この調査は、市川町に暮らす人々の心豊かな暮らしの度合いを測る指標（Well-Being 指標）の基になるものであり、結果を数値化することで、市川町の強み・弱みの分析や特に力を入れるべき取組を考える際に役立ちます

出所：一般社団法人スマートシティ・インスティテュート「地域幸福度（Well-Being）指標」

以下の（2）～（4）では、加重平均法※によって、幸福度の評価点を算出し、その結果を見ていきます。

※加重平均法の算出方法 5段階の評価にそれぞれ点数を与え評価点を算出する。

$$\text{評価点} = \left( \begin{array}{l} \text{「1、全く当てはまらない」} \times -10 \text{ 点} \\ + \\ \text{「2、あまり当てはまらない」} \times -5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「3、どちらともいえない」} \times 0 \text{ 点} \\ + \\ \text{「4、ある程度当てはまる」} \times 5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「5、非常に当てはまる」} \times 10 \text{ 点} \end{array} \right) \div \left( \begin{array}{l} \text{「1、全く当てはまらない」} \\ \text{「2、あまり当てはまらない」} \\ \text{「3、どちらともいえない」} \\ \text{「4、ある程度当てはまる」} \\ \text{「5、非常に当てはまる」} \\ \text{の回答者数} \end{array} \right)$$

## (2) 地域幸福度（生活環境）

問 21 現在、あなたが住んでいる地域の生活環境に関する次の項目について、あなたのお考えに当てはまるものをそれぞれ1つだけ○をつけてください。

※選択肢は「1、全く当てはまらない」、「2、あまり当てはまらない」、「3、どちらともいえない」、「4、ある程度当てはまる」、「5、非常に当てはまる」

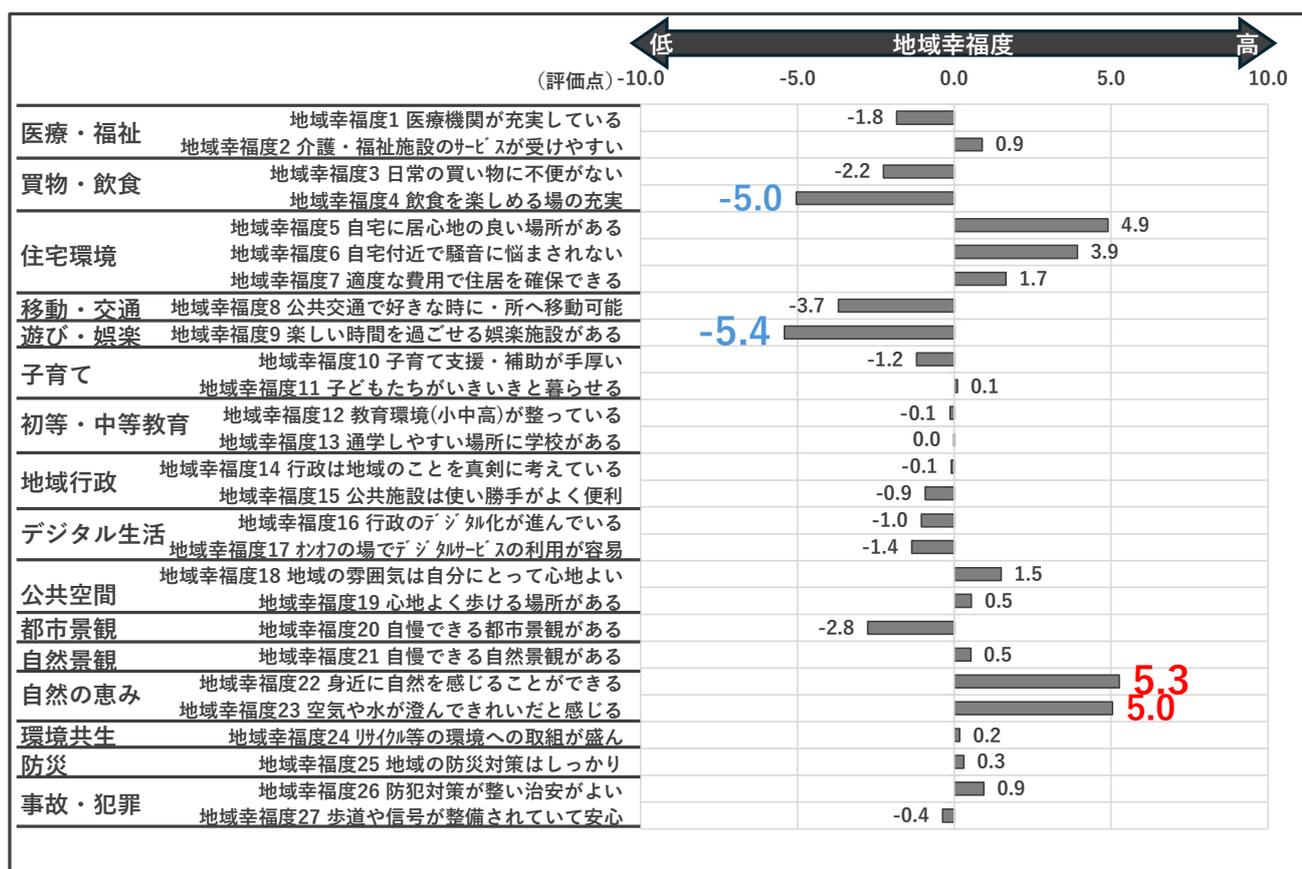
### ▼結果要点

- “身近に自然を感じることができる”の評価点が最も高い。

地域幸福度（生活環境）については、「身近に自然を感じることができる」（5.3）の評価点が最も高くなっており、「空気や水が澄んできれいだと感じる」（5.0）がそれに続きます。

一方で「楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある」（-5.4）の評価点が最も低くなっており、「飲食を楽しめる場の充実」（-5.0）の評価点がそれに続きます。

図表 35 地域幸福度（生活環境）



### (3) 地域幸福度（地域の人間関係）

問 22 地域の人間関係に関する次の項目について、あなたのお考えに当てはまるものをそれぞれ1つだけ○をつけてください。

※選択肢は「1、全く当てはまらない」、「2、あまり当てはまらない」、「3、どちらともいえない」、「4、ある程度当てはまる」、「5、非常に当てはまる」

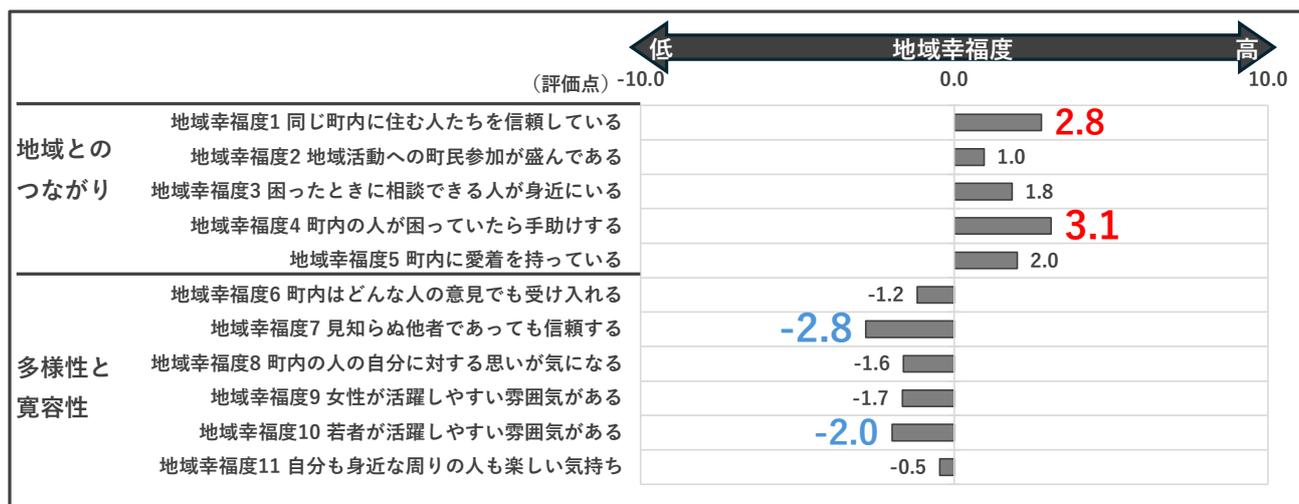
#### ▼結果要点

- “町内の人困っていたら手助けする”の評価点が最も高い。

地域幸福度（地域の人間関係）については、「町内の人困っていたら手助けする」（3.1）の評価点が最も高くなっており、「同じ町内に住む人たちを信頼している」（2.8）がそれに続きます。

一方で「見知らぬ他者であっても信頼する」（-2.8）の評価点が最も低くなっており、「若者が活躍しやすい雰囲気がある」（-2.0）がそれに続きます。

図表 36 地域幸福度（地域の人間関係）



#### (4) 地域幸福度（自分らしい生き方）

問 23 自分らしい生き方に関する次の項目について、あなたのお考えに当てはまるものをそれぞれ1つだけ○をつけてください。

※選択肢は「1、全く当てはまらない」、「2、あまり当てはまらない」、「3、どちらともいえない」、「4、ある程度当てはまる」、「5、非常に当てはまる」

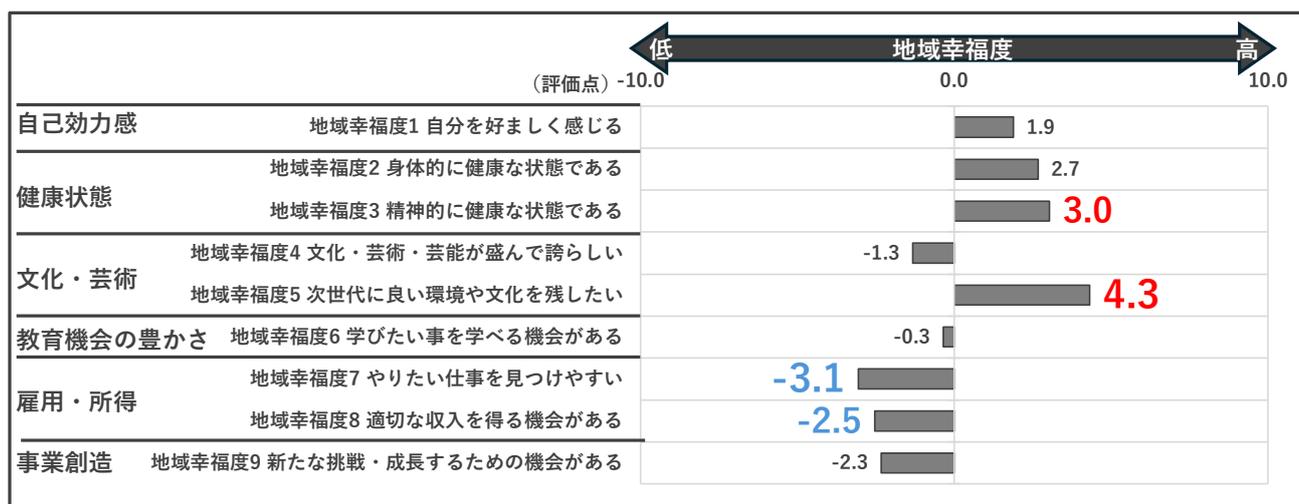
##### ▼結果要点

- “次世代に良い環境や文化を残したい”の評価点が最も高い。

地域幸福度（自分らしい生き方）については、「次世代に良い環境や文化を残したい」（4.3）の評価点が最も高くなっており、「精神的に健康な状態である」（3.0）がそれに続きます。

一方で「やりたい仕事を見つけやすい」（-3.1）の評価点が最も低くなっており、「適切な収入を得る機会がある」（-2.5）がそれに続きます。

図表 37 地域幸福度（自分らしい生き方）



## (5) 地域幸福度（幸福度・満足度）

問 24 あなたは、市川町での暮らしをどの程度「幸せ」だと感じていますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点になるとお考えですか（○は1つ）。

問 25 あなたは、現在住んでいる地域での暮らしにどの程度「満足」していますか。「とても満足」を10点、「とても不満足」を0点とすると、何点くらいになるとお考えですか（○は1つ）。

問 26 あなたの町内（集落）の人々は、大体において、どれくらい「幸せ」だと思いますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになるとお考えですか。ここでは、自分の同居家族は除いてお考えください（○は1つ）。

問 27 今から5年後、あなたはどの程度幸せだと思いますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになるとお考えですか（○は1つ）。



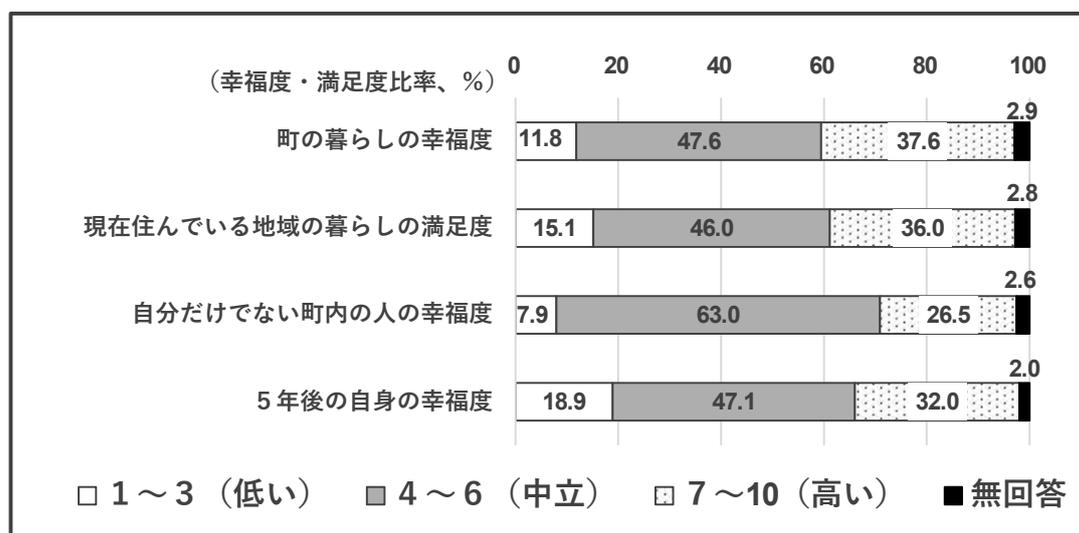
### ▼結果要点

- “自分だけでない町内の人の幸福度”を「中立」とする割合が最も多かった。

地域幸福度の設問項目で設けられた幸福度・満足度の度合いについては、0～3点を「低い」、4～6点を「中立」、7～10点を「高い」とし、それぞれの比率を割り出しました。

4項目の中では、「自分だけでない町内の人の幸福度」を「中立」（63.0%）とする人の割合が最も多くなっている一方で、「自分だけでない町内の人の幸福度」を「高い」（7.9%）とする人の割合は最も低くなっています。

図表 38 地域幸福度（幸福度・満足度）



## 8 自由意見

### (1) 自由意見の概要

以下では、アンケートの自由意見について設問ごとに内容別に分類し、掲載します。

- ① 内容ごとに分類して掲載していますが、複数の内容にまたがる記述は、最初に記載されている内容を優先して分類します。
- ② 書かれた内容をなるべくそのまま生かして掲載していますが、明らかな誤字脱字は修正しています。なお、何らかの問題（下記③参照）を含むご意見については、文意を損ねない程度に表現を修正して掲載させていただくことがあります。
- ③ 全ての意見を掲載していますが、「わからない」等の実質的な無回答、個人のプライバシーに関わるもの、個別的な陳情、事実関係の確認を要する事柄、個人や団体の名誉を傷つける誹謗中傷、設問に対して無関係な回答等は掲載していません。
- ④ 個人、地名、施設名（公共施設以外）、団体名等を特定するものについては、利益に関わるものの場合、固有名詞を一般名詞に修正する等の処理を施したうえで掲載しています。

(2) 問8付問1 住みやすいと思うところ 「18 その他」

・住居（実家）または家族等の存在、またはそれらへの愛着

→家や家族等の存在が多く挙げられています。

割振番号	性別	年齢	回答
1	男性	20～29 歳	実家があるから。
2	女性	20～29 歳	家を建てたから。
3	女性	20～29 歳	住みなれた土地だから。
4	男性	30～39 歳	家があるから。
5	男性	30～39 歳	家を建てたので。
6	男性	30～39 歳	実家があるから。
7	男性	30～39 歳	良い人が多い。
8	女性	30～39 歳	家を購入したから。
9	女性	30～39 歳	家族がいるから。
10	女性	30～39 歳	住める家があるから。
11	女性	30～39 歳	親や祖父母がいるから。
12	男性	40～49 歳	ずっと住んでいる。
13	女性	40～49 歳	家族がいるから。
14	女性	40～49 歳	慣れた所だから。
15	女性	40～49 歳	市川町で家を購入したから。
16	女性	40～49 歳	夫の実家であり土地があったので家を建てて住むことになったから。
17	男性	50～59 歳	愛着がある。
18	男性	50～59 歳	持ち家、実家がある。
19	男性	50～59 歳	持ち家がある。
20	男性	50～59 歳	持ち家があるため。
21	男性	50～59 歳	生まれた場所。
22	女性	50～59 歳	家があるので。
23	女性	50～59 歳	家が持家の為。
24	女性	50～59 歳	家族が同居しているので。
25	女性	50～59 歳	生まれ育った地だから。
26	男性	60～69 歳	長年住んでいる町だから。
27	男性	60～69 歳	持家があるから。
28	男性	60～69 歳	住みなれた所のため。
29	男性	60～69 歳	生まれた場所だから。
30	男性	60～69 歳	生まれ育った処だから
31	男性	60～69 歳	生まれ育った場所だから。
32	男性	60～69 歳	先祖代々住んでいるから。

割振番号	性別	年齢	回答
33	男性	60～69 歳	土地・家があるから。
34	男性	60～69 歳	土地や家があるから。
35	女性	60～69 歳	災害が少ない。
36	女性	60～69 歳	自宅、お墓があるため。管理が必要。
37	女性	60～69 歳	自宅があるから。
38	女性	60～69 歳	住み慣れた土地から離れたくない。
39	女性	60～69 歳	親が住んでいるから。
40	男性	70～79 歳	ずっと住んでいる町だから。
41	男性	70～79 歳	自身が生まれ育った地であり、この地に愛着をもっているため。
42	男性	70～79 歳	生まれた所である。
43	男性	70～79 歳	先祖伝来の地。
44	女性	70～79 歳	30 年以上住み続けているから、持家だから。
45	女性	70～79 歳	ついの住み家。
46	女性	70～79 歳	生まれ育った町だから。
47	女性	70～79 歳	持家のため引越の選択肢は無。
48	女性	70～79 歳	住み慣れた所だから。
49	女性	70～79 歳	昔から家がある。
50	女性	70～79 歳	長年住みなれた家にいたい。
51	女性	70～79 歳	長年住み慣れた場所。近所住民もわかる。
52	女性	70～79 歳	長年住んでいる（生まれてからの）愛着があります。
53	女性	80 歳以上	長年住み続けているから。

## ・その他

→自然環境の良さ等が挙げられています。

割振番号	性別	年齢	回答
1	男性	40～49 歳	静かな環境。
2	女性	40～49 歳	いい意味で特徴がない。
3	女性	50～59 歳	姫路（職場）朝来（実家）どちらにも近い場所。
4	女性	50～59 歳	川にホテルが住み、星がきれいだから。
5	女性	60～69 歳	静かで住みやすい。
6	女性	60～69 歳	畑ができるから。
7	男性	70～79 歳	空気がよい。
8	男性	70～79 歳	災害が少ない。
9	男性	70～79 歳	自然災害が少ない。
10	女性	70～79 歳	山に囲まれ空気がいい。
11	女性	70～79 歳	自然災害が無いこと。
12	女性	80 歳以上	山などの自然。

(3) 問8付問2 住みにくいと思うところ 「18 その他」

→施設の不足等が挙げられています。

割振番号	性別	年齢	回答
1	男性	20～29 歳	秋祭りは不要と思う。
2	男性	30～39 歳	子どもが少ない。
3	男性	30～39 歳	夜が暗いのと、野生動物が出る。
4	女性	30～39 歳	(問8の選択肢) 1～17 どれもあてはまる。
5	女性	30～39 歳	税金がよその市町村より高い。
6	女性	40～49 歳	人口が少なく将来不安。なんとかしてほしい。空き家ばかり増える。
7	女性	40～49 歳	地域に古い考えの人が多。
8	女性	50～59 歳	ゴミなど燃やす人が多い。田畑の雑草をほったらかし。
9	女性	50～59 歳	在宅医療が整っていない。
10	女性	50～59 歳	立地的に商業施設が増えにくい。
11	男性	60～69 歳	食事に行く店がない。
12	男性	60～69 歳	村の会合がめんど。
13	女性	60～69 歳	草刈り等、肉体労働が多い。
14	無回答	無回答	他の自治体と比べると助成(補助)金が全くない。

(4) 問 13 市川町の農林業の振興のための力点「12 その他」

→金銭的な補助等が挙げられています。

割振番号	性別	年齢	回答
1	女性	19歳以下	ふるさと納税での収益拡大のための作業。
2	女性	20～29歳	給料 up。
3	男性	30～39歳	スマート農業の導入。
4	女性	40～49歳	収入保障。
5	男性	50～59歳	6次産業化。
6	男性	50～59歳	金銭的な補助。
7	女性	70～79歳	(問 13 選択肢) 11 までの全てに力を入れたら良い。
8	女性	70～79歳	他町にない特産農産物を。
9	女性	80歳以上	法人化。
10	無回答	無回答	広く農家を経済的に支援してほしい。他の自治体は、補助金を毎月出している。

(5) 問 14 市川町の商工業の振興のための力点。 「8 その他」

→更なる広報活動の推進等が挙げられています。

割振番号	性別	年齢	回答
1	女性	19歳以下	既存の資源に新たな付加価値を見出す作業。
2	男性	20～29歳	障害者の働ける場所提供。
3	女性	20～29歳	SNSの活用
4	男性	30～39歳	新事業(若者の法人化・起業など)立ち上げ時に必要な資金を援助するためのサポートシステムの構築
5	女性	30～39歳	広告、情報発信。
6	女性	30～39歳	商品の質さらに向上&広報で、多くの人に良い商品の魅力が伝わること。
7	男性	40～49歳	市川南 IC 周辺の開発。
8	男性	40～49歳	創業支援の為の補助金等。
9	女性	40～49歳	町外への広報活動。
10	男性	50～59歳	6次産業化。
11	女性	50～59歳	使われていない田畑の有効利用。
12	男性	60～69歳	PR活動。
13	男性	60～69歳	移動販売の強化。
14	男性	70～79歳	公営事業の創立。
15	女性	70～79歳	1ヶ所の店で色々買いたい。
16	女性	70～79歳	道の駅を作る。
17	女性	70～79歳	買物を他町へ行かなくても良く町内に販売店が欲しい。

(6) 問 15 市川町の観光の振興のための力点。 「9 その他」

→新たな観光資源の開発等が挙げられています。

割振番号	性別	年齢	回答
1	男性	30～39 歳	甘地駅周辺の活性化。
2	男性	30～39 歳	魅力のある観光施設を造る。
3	女性	30～39 歳	子供向けの観光施設を造る。
4	女性	30～39 歳	市川という名前が付いている町なので、本当は川を美しくし、川を活用した観光が望ましいと思うか？水量も減っている上、川周辺もごみだらけで問題点は多い！！
5	男性	40～49 歳	行政主導ではなく、新規の開業を支援する等のサポートに徹した方が良いように思います。基本的に観光産業の力はあまりない様に感じますので、個々の企業の発信力に期待したい。例：古民家再生によるサービス産業への補助金。広報紙に新規開業の取材レポートを積極的に行う。
6	女性	40～49 歳	ゴルフ。
7	女性	40～49 歳	外国人観光客の体験型日帰りツアーなど？日本料理をつくる。農業体験。日本民家に宿泊する。お寺で写経や座禅体験。川で魚釣り。外国の電車おたくが好むような日帰りツアー。
8	女性	40～49 歳	広報紙の活用広報紙は基本的に町民のための冊子ではあると思いますが、せっかく毎月発行するのなら、もっと“よみもの”的な町外の人でも楽しめるような作りにはどうかな～と思います。
9	女性	40～49 歳	都市部の住民にアピール。農業収穫体験、農地貸し出しなど。一回の体験で終わりではない、住民同志の交流がずっと続くような観光のあり方にする。
10	女性	40～49 歳	農産物を絡める。
11	男性	50～59 歳	インターネット等を使って宣伝。
12	男性	50～59 歳	観光開発。
13	女性	50～59 歳	PR にインフルエンサーを使う。
14	女性	50～59 歳	既存の学校の活用。
15	女性	50～59 歳	古いものの見直し。汚いと古いはちがう。
16	女性	50～59 歳	道の駅を甘地地区に。
17	男性	60～69 歳	観光リーダー育成（人材育成）。
18	男性	60～69 歳	市川さん（『女と男』の）の協力。
19	男性	60～69 歳	自転車道の整備。
20	男性	60～69 歳	特産物の開発。
21	女性	60～69 歳	きれいな水・川で遊べる。
22	女性	60～69 歳	映えスポットをつくるとか。

割振番号	性別	年齢	回答
23	男性	70～79歳	姫路まで、観光客が増えているので、そこから北へ（市川町へ）来てもらえるアピールするべきだと思います。3町（福崎、市川、神河町）力合わせて、宿泊できる町作りしてほしいです。
24	女性	無回答	市川町は自然豊かな町なので、自然を生かした景色を整備し宿泊施設や自然体験をもっと増やせばいいと思います。（古民家一棟借りの宿泊施設や、グランピングなど…）

(7) 問 16 子どもの数が増える支援や対策 「16 その他」

・職場の充実、労働環境関連

→労働環境の改善等が挙げられています。

割振番号	性別	年齢	回答
1	女性	40～49 歳	労働環境の改善、未婚者を減らす。
2	男性	50～59 歳	非正規を減らす。
3	男性	50～59 歳	働く場所の確保。
4	女性	50～59 歳	子育て世代が働ける場所をつくる。
5	女性	60～69 歳	働く場所、町の魅力。
6	男性	70～79 歳	問 14（商工業）、15（観光）で回答した施策の実施充実。
7	男性	70～79 歳	町内で働ける企業が少ない。
8	無回答	無回答	魅力ある企業の誘致による人口流入。

・婚活、出産、子育て支援関連

→婚活の充実等が挙げられています。

割振番号	性別	年齢	回答
1	女性	30～39 歳	病児保育の充実。
2	女性	30～39 歳	子どもの遊ぶ場所の確保、空地、川原、手つかずの所が多くもったいない。村づきあいの廃止。
3	女性	30～39 歳	もっと近くに産院があれば。
4	男性	40～49 歳	生活への余裕、あえて一人親への支援等。
5	男性	50～59 歳	出会い、デートの援助。
6	男性	50～59 歳	子どもを産めば得をする環境。
7	女性	50～59 歳	結婚して育てていきたいと思える職場（働く場）。
8	男性	60～69 歳	婚活の企画推進。
9	女性	60～69 歳	出産時に祝金の増額。
10	無回答	無回答	養子も周知し、その家庭も支援する必要あり。

・移住・定住支援関連

→住宅の充実等が挙げられています。

割振番号	性別	年齢	回答
1	男性	30～39 歳	若い世代が出て行かないよう、商業施設、交通の便に力を入れる。
2	男性	30～39 歳	子供より若者（10 代～30 代を増やす）。
3	女性	30～39 歳	町営等の住まいを健てる。
4	男性	40～49 歳	住宅分譲地を誘致。
5	女性	40～49 歳	若者の支援。

割振番号	性別	年齢	回答
6	男性	60～69 歳	出産適齢年齢夫婦の市川町内への定住。
7	女性	70～79 歳	若い世帯が増える政策を。
8	男性	80 歳以上	若者が地域に住む環境をつくる。
9	女性	無回答	他の町から来ていただくことが1番子供の数を増やすのに最適だと思います。その為には、市川町が子育て世帯が移ってきやすい環境づくりをしていくのがいいのではないのでしょうか。

## ・教育、学校教育関連

→給食費無償化等が挙げられています。

割振番号	性別	年齢	回答
1	女性	20～29 歳	給食費無料。
2	女性	20～29 歳	給食費無償化。
3	女性	30～39 歳	高校、大学にもお金がかかるので
4	女性	30～39 歳	学校教育の改善。
5	男性	40～49 歳	小中学校を一つにし、小中一貫校（義務教育学校）にし、町民で学校を支えていく。
6	女性	40～49 歳	地域の活動や学校(PTA)活動を極限まで減らすか、無くす。
7	女性	40～49 歳	モンテッソーリ等の取り入れと発信。
8	男性	70～79 歳	大学無償化。
9	男性	60～69 歳	学費・医療費無償化。

## ・その他

→金銭的支援等が挙げられています。

割振番号	性別	年齢	回答
1	女性	19 歳以下	外国人移住者のための包括的サポート／自然と学べる環境設定。
2	男性	20～29 歳	交通の便、病院など車でしか行けない。
3	男性	40～49 歳	男性の積極的な育児参加。
4	男性	40～49 歳	消費税廃止。
5	女性	50～59 歳	名古屋市のように減税！
6	女性	60～69 歳	金銭的な支援。
7	男性	70～79 歳	先の生活。

(8) 問 18 市川町の情報の入手手段 「9 その他」

→家族や近所との会話が挙げられています。

割振番号	性別	年齢	回答
1	男性	19歳以下	家族から。
2	女性	80歳以上	近所との会話。

(9) 問 19 市川町の行政運営について望むこと 「11 その他」

→企業誘致等が挙げられています。

割振番号	性別	年齢	回答
1	男性	20～29 歳	町の特色作り。
2	男性	40～49 歳	企業誘致！
3	男性	40～49 歳	職員の給料～50 代迄日本一で。
4	男性	40～49 歳	新規事業への積極的な取り組みの実行。
5	男性	50～59 歳	産官学の連携推進や民間企業との包括連携協定による取り組みの推進。
6	男性	60～69 歳	ムダな補助金の廃止例：ひまわりプロジェクト（いちかわ夢ふうせんプロジェクト）等。
7	女性	70～79 歳	守秘義務。
8	女性	70～79 歳	町会議員削減。

(10) 問 28 町の行政に望むことやまちづくりに関するご意見

・防災関連

→河川整備等が挙げられています。

割振番号	性別	年齢	回答
1	女性	20～29 歳	安心安全なくらし。
2	男性	30～39 歳	災害時のインフラ、復旧などを念頭に対策を考えてほしい。
3	男性	30～39 歳	市川町消防団の透明化。団員数が定員よりも少ないから募集をして増やそうというのは分かるが、勧誘をしても断られるのは何故かを検討してほしいと思います。消防団の入団とそれに対するメリットとデメリットが釣り合っていないと思っている人は一定数存在すると思います。トラブルが起きても役場と消防団本部が「消防団と個人のトラブルには干渉できない」といわれるような町にはどれだけ活動を熱心にしてきた人も冷めてしまうと思います。消防団は地域の防災にはとても必要なものだと思います。だからこそ、活動しやすい消防団トラブルが起きたらきちんと対応してくれる市川町役場であって欲しいと切に願います。市川町役場や消防団本部はもっと問題に関わっていくべきだと思います。
4	女性	30～39 歳	地震や災害が多くなっている最近、大地震等がきたら確実に倒壊すると思っています。防災等の質問がありましたが、築年数が古く耐震がととのっていない家には耐震補強ができるように補助金等があれば活用したいと思います。寝ている時に地震がきたら確実に死にます。家の中が1番危険な場所で、安心できないです。
5	男性	50～59 歳	防災を基本とした行政に期待します。
6	男性	60～69 歳	河川の整備（氾濫防止、川の中の雑草除去）、流れが悪く、増水の一因。
7	女性	60～69 歳	防災に力を入れてほしい。高齢者2人と同居しており、近所にも1人暮らしの高齢者が何人もいるのに、何かあれば、避難経路、誰が補助として行けるかとか、きちんと村ごとに作成して各家庭に書面で見せてほしい。備蓄について何をどれだけどこに置いているかも、見せてほしい。
8	男性	70～79 歳	川の水の増水・氾濫（堤防）が、常に心配で、心が休まる時がない。良い対策をお願いします。仕事の関係も有りますが、若い人が、全部家から離れてしまって、空き家状態ばかりです。市川町から、出て行ってしまいます。私等は常に空き家の草引き、木の剪定（少々）に追われています。自分の生活のためが第一ですが、空き家ばかりだと防犯が、少し心配で、生活している様に外見だけでも見苦しくない様に常に気を付けています。性格的な事も有りますがね！

割振番号	性別	年齢	回答
9	男性	70～79 歳	<p>近年の異常気象による大雨の洪水災害は、全国各地で起きており、大変酷いものがある。我が町でも、いつ、どこで同じような災害が起こる可能性が十分にある。よって、洪水対策（堤防の補強、かさ上げ、川の中の木立の除去等）を早急に強化して欲しい。</p> <p>各地区によって道路の整備、補修状況がかなり違うように思われる。不公平感があり、要望があれば、早急に出来る限り、改善して欲しい。</p> <p>小学校の統合の話が出ているが、断固反対である。なぜなら、地域に小学校が無くなることは文化の灯が消えるばかりでなく、ひいては、地域は、子どもの姿、声が聞こえてこなくなり、ますますさびれてしまうからである。</p>

### ・企業誘致、産業育成、就労の場の確保、労働環境の整備関連

→企業誘致等が挙げられています。

割振番号	性別	年齢	回答
1	女性	20～29 歳	市川町で働くことが難しいと思う。企業が増えれば良いと思う。
2	女性	30～39 歳	住民の税金だけでは何をするにも足りないと思うので、企業を誘致すべきだと思います。使われていない土地や家屋が多く見られるように思います。
3	男性	40～49 歳	市川南 IC 付近の開発。ひのストア跡地を町で買取り、集合型テナントを町で運営し、スモールビジネスの企業を促進してほしい。
4	男性	40～49 歳	市川町の会社で働いているがブラック企業で体をこわしています。企業の労働環境についても指導を検討してほしい。
5	男性	40～49 歳	播但道や播但線など交通の便がいいことを活かして企業誘致や商業施設の誘致を検討してほしい。人や物の動きが活性化されれば税収も増えると思う。このままだと、市川町が消滅してしまうと思うので真剣に考えてほしい。
6	女性	50～59 歳	働く場所を確保するための企業誘致。子育て支援。旧鶴居中校舎の活用。図書館の充実。市川中の学力アップ。
7	男性	60～69 歳	市川町に住み続けるための仕事の間を市川町内だけでなく周辺地域とも協力しつつ作っていく。役場の人の未来についての考え方が、町民に伝わらない。長期短期のビジョンをしっかりともち、行政を行ってほしい。市川町を盛り上げたいと常々考えている。消滅してほしくないの、真剣に将来どうあるべきか、今どうするかを考え、実行していく、そして検証することも大切であると考えている。市川町を元気にしてほしい。そのための協力は惜しまない。

割振番号	性別	年齢	回答
8	女性	60～69 歳	若者にとって、魅力ある企業。地元に残りたくなる様な企業。農業の後継者がいなく、管理できない。放棄された家、畑、田が多く、5年、10年後増えると思う。住んでいても先が不安です。
9	男性	70～79 歳	土地を利用して、特産品（フルーツ等）を開発、船津町では、バナナを生産しているそうである。
10	男性	70～79 歳	優良企業の誘致。道路の整備。
11	男性	70～79 歳	市川町内で、働く場所が少ない為、若者は他町へ流れていきます。私の子供も遠くに在る為、今は2人共元気ですが、将来不安です。村の中も高齢者が多く、気楽に入所できるホームなど、建築してほしいです。空き家が多いので、その空き家を利用したホーム作りなど、どうでしょうか！
12	男性	70～79 歳	公共下水道完備による、企業誘致。人口増に繋げる。
13	女性	70～79 歳	生活に不安を感じなくてすむ収入や仕事があること。人口減少。
14	女性	70～79 歳	農林業を振興するため、今後どのように力を入れるべきだと思いますか。の意見ですが、生きて行く為には生活に必要な（食、農、産）さまざまな物を作り出す仕事重要。近代化をはかる国内の重要産業でもあり、「国産」ブランド強化してほしい。森林を利用して（スポーツは総合的に）遊びを取り入れ、一日を楽しく過ごし、おなががすくと手軽に飲食して、帰りにはおみやげを買って。新鮮なお米、野菜など、みんなが集って来られる場所作りをお願いしたい。
15	無回答	無回答	農業を守るのか、商工業を進めるのかわからない。農業は続けにくい。

## ・道路、公共交通等関連

→道路の整備や高齢者向け交通手段の整備等が挙げられています。

割振番号	性別	年齢	回答
1	男性	19 歳以下	道路の整備をもっと行って欲しい。家の前の道路がガタガタでアスファルトから草が生え放題。家の山際の木を切って欲しい。家に木がおおいかぶさる。
2	女性	19 歳以下	加古川のように市川の川ぞいに散歩をしたりサイクリングが出来たりするような場所・道が整備されたら嬉しいです。
3	男性	20～29 歳	電車、バスなどのアクセスをもう少し良くしてほしい。未就学の子どもが遊べる場所を。土日に入れる施設があったら、嬉しいです。

割振番号	性別	年齢	回答
4	男性	20～29 歳	県道 34 号線、西脇八千代市川線の道路工事が長期間になっており、路面も改良途中なのだとは思いますが、ちょうど瀬加小学校の下、車屋がある辺りの路面がひどい。仮の状況なのだとは思いますがあまりにもガタガタするので、どうにかしてほしい。また、同線の道幅が狭い箇所の改良もなるべくはやくしてもらえると助かります。市川中学校のスクールバスに乗るのであろう中学生が、朝に交通量の多い歩道のない道を歩かざるを得ないのはとても危険だと思います。
5	女性	30～39 歳	市川町の道路交通整備をしっかりとしてほしいです。
6	女性	30～39 歳	高齢者の多い町で、バス停にベンチ等が設置されていないのが気になりますが、置けない理由があるのでしょうか？雨が降ったりした時に雨やどりできるくらいのスペースなんかも必要じゃないのかなど。 こちらへ越してきた頃に、ソーラーの業者が地域をまわっていました。この 2 年程で、田畑に太陽光パネルが目立つようになりました。今後増えるのでしょうか。耕作中の田畑の周辺がそのようなことになるのは良いように思えません。許可とまではいわないが、何の知らせもなく、地区に太陽光パネルが今後も増え続けるような現状に、声を上げた所で、と思いますが、長い将来の事を思うと理解できません。その土地が個人所有であっても、太陽光パネルでの有害物質による危険な事がゼロではない以上、地区住民へ何かしら対応がいるのではないのでしょうか。土壌汚染、水質汚染等、市川ユースが市川を！と言っているのにその市川に水質汚染の危険性は十分に考えられませんか？農村には、農村の良さがあってそれを大切にしないでどうしましょう？街のように華やかになりたくてもなれないのだから、維持していくのは、担い手不足で大変ですが、維持する以外に方法はないと思います。子供の未来がよりよくなるよう願っています。大人の行動がそれを左右すると思っています。
7	女性	30～39 歳	落合橋～瀬加の道が狭く、車の運転もですが、自転車の走行が危ないと感じることがあります。また特に上田中～瀬加の交通量が増えていて通勤時間に大型トラックなどが通ると詰まってしまい、道幅に対して交通量が合っていないと思います。スピードを出して多可町へ抜ける車もあります。道の整備を望みます。ネット環境（電波）や交通システムを整備し、移住者支援などを強化し、外から市川町へ入ってくる人が増えれば良いなと思います。隣の福崎町と比べ、あまりにも若者が外へ出て行き、帰ってくることで、人が少ないように思います。大学進学を機会に外へ出て行くことがきっかけになっているのかもしれないです。

割振番号	性別	年齢	回答
8	女性	30～39 歳	高齢の方が多く地域、車が無いと不便なので、しかたがなく運転を続けている人も多いのでは？病院や買い物など。もっと気軽に外出できる交通手段が必要。また、高校生の電車通学も、駅まで親が送迎している所が多く、共働き夫婦が多い中の送迎は、負担が大きい。学生の登校時のバスなど（小さな）下校時バスが出てくれると選択肢も増えるのと思う。
9	男性	30～39 歳	町内に住んでいる方で、自動車が運転できない方々が買い物や病院に行ける様、交通機関をどうにかして頂きたいです。交通機関の充実。
10	男性	30～39 歳	播但線（鶴居駅）は子供世代も利用するので、存続してほしい。
11	女性	30～39 歳	30年前になら、してもいい公共事業を、今やる必要性を感じない。子どもも減って、車が増えて危険だと思ったところでもない道路の拡張工事に意味を感じられない。（美佐東南）。
12	男性	40～49 歳	来客の際、車をとめるパーキングがない。駅まわりにもない。買い物をする際、場所が限られている。学生が自転車通学する際、安全なスペースがない場所が多い。
13	女性	40～49 歳	高齢者が多く、若年層が減少しているので、日々の買い物や通院、日常の暮らしが少しでも便利になるように公共交通機関を充実していただくと助かります。自然が豊かでとても良い所だと思うが、やはり不便さが勝ち住み続けるのは難しいと考えてしまうので、自然は守りつつ先進的な取り組みをしていただき、便利で住みやすい町にさせていただくと若い世代の方にも定住してくれるのではないかと思います。
14	女性	40～49 歳	街灯を増やしてほしい。
15	男性	50～59 歳	釜坂峠のトンネル化を実現させて欲しい。
16	男性	50～59 歳	人口減少は仕方ない。まずは美しい町、道路整備、道端の草刈り、雑木伐採。危険空き家の解体。空いている工業団地への工場誘致と、そのための環境整備。
17	男性	50～59 歳	旧鶴居中学の校門前の側溝の蓋の騒音対策をしてもらいたいです。特にある団体の練習後に十数台の車が一齐に出る為に、通過時に起こる金属音でかなりの不快を被っています。緩衝材等の対策を取ってもらえると有難いです。また、毎夜体育館での練習における音楽の爆音の響きを不快に思う、近隣住民も居ます。また、旧鶴居中学の使用管理責任はどうなっているのでしょうか？特に毎週日曜日の夜に、体育館を使用する連中が、その後、深夜0時近くまで駐車場の車のエンジンを掛けたまま大声を出して屯しています。近隣住人の不安、防犯、安全対策の面から、管理責任をもう一度見直してもらいたいです。

割振番号	性別	年齢	回答
18	女性	50～59 歳	歩道がガタガタだったり、草で通れない所があり高校生がこまっているのを見るので、どうかしてあげてほしい。店が少なくて、車で通ってもさみしい町という感じがする。もう少し元気のある町であってほしい。
19	女性	50～59 歳	自分もそのうち年老いてゆき、自分で車も運転できなくなって、買物へも行けない、という不安が頭をよぎります。町内に歩いて行けるスーパーもしくは移動スーパーを早めに導入してもらいたいです。あと、町内バスの充実。有益企業の誘致は若い人達のために必要と思います。人口をこれ以上減らさないためには若い人達に町内で働いてもらうことと思います。空いている中学校・小学校なども建物も有意義に使ってもらいたい。町民に期待しています。いち市川町民。
20	女性	50～59 歳	移動が車のみかバスなので、コープの移動バスを利用することがあります。将来、スーパーマーケットへ移動バスを出せればと思います。ネットスーパーはむずかしいと思う人もあると思います。ひとり暮らしの見守りブザーなどの介護の利用の手続きがもっと利用しやすくしてほしい。小学校などの再活用アイデアを町民からアンケートを取ったらいいと思う。素人考えですが、自由に書いて下さいとのことなので、学校、レストラン、ドッグラン、プールの中でバーベキュー、運動場で星の観察キャンプ、運動場でキャンプ、ワークショップ（キッチンカーと地元野菜販売、巻ずし、玉子など）。地元の食材のアイデア料理のアンケート。ひまわりの種クッキーはおいしいのにあまり知られていない気がします。空き家解体の補助などがあったら知りたい、将来に向けて。分校の昔のくらしの展示のおしらせ、おひなさまの展示など。
21	女性	50～59 歳	歳がいくとバス停が近くに無いのでとても心配である。コミュニティバスがきているが、かなり坂の下で重たい荷物だと買い物が大変だ（バス降りてから）。市川町がさかえてほしいが、その為に税金が高くなるのであれば、あまりさかえてほしくないと思う。国や県からの補助をたくさんもらえる様にしてほしい。町民に負担は困る！
22	女性	50～59 歳	高齢の方が多いので、買い物や病院へ行けるバスの回数を増やしていただいたり、利用できるタクシーなどあれば助かるのではないかと思います。
23	女性	50～59 歳	昔より交通の便が悪くなり生活基盤が下がった。人を呼ぶとしてもすべて交通の便が基本だと思う（今は車がないと市川町は無理ですよ）。
24	女性	50～59 歳	買い物に不便なので、バスをもう少したくさん走らせてほしい（役場に行く時も不便）。

割振番号	性別	年齢	回答
25	男性	60～69 歳	道路整備をして欲しい。町内どこに行っても道が狭い。
26	女性	60～69 歳	<p>高齢化が進み免許証の返納をしないといけなくなる。スーパーも近くに なく交通の便もわるく、高齢者には住みにくい町である。公共交通機関 の整備をもっと充実してほしい（神姫バスが姫路まで通る様になれば良 いのに）。</p> <p>農業も出来なくなって休耕田が増えて来ている。業者を入れて町として 休耕田を依頼出来れば良いのに。また休耕田を町が買いとり住宅地とし て若者に安く提供すれば市川町の人口も増えるのではないのでしょうか？ 福崎ばかりに家が建って人口も増えて活力がある。</p> <p>大きな病院、大きなショッピングモールなど市川町にすれば土地は広く たくさんあるのに、そうすれば若者も町に住みつけ高齢者も暮らしやす くなると思う。</p>
27	女性	60～69 歳	病院、買物に自分達で行ける距離にあればいいと思います。
28	女性	60～69 歳	<p>コミュニティバスより、必要な人や場に対応できるタクシー（無料）が 良い。子供達が地元の歴史や市川町出身者で有名な人、活やくしている 人達の話を知る場をいっぱい作って載きたい。生の声を聞く事が一番 の教育になるのでは（学校の先生からの教育は、自主的な勉強につなが らない）。市川町をふるさととして、自慢出来るように工夫してほしい。 古い歴史、山城、馬車道、風土記、古い神社仏閣をもっとアピール してほしい。草刈りや川掃除を国の事業としてやってほしい。個人の負 担が今は多すぎます。</p>
29	女性	60～69 歳	<p>県道 34 号西脇八千代市川線、部分的には、道の幅広くなっている場所も あるのですが、大きなトラックが通っているので、対向車とすれ違う 時、道幅が狭いので、少し幅のある所で停まって、すれ違うまで待つて いる状態です（特に、上田中のたこ焼屋さんがある辺は、普通の車同士 でもすれ違う時は、たいへんです）。よろしくお願い致します。</p>
30	女性	60～69 歳	<p>買物や通院が不便なのでチャンスがあれば都市部へ出て行きたい。 人口減少、高齢化は避けられないので、特に農林業などには予算は使わ ず、他へ廻してほしい。</p>
31	女性	60～69 歳	公共交通機関の充実。
32	女性	60～69 歳	<p>道を整備する（歩道をつける）のは良いが車の行き来が活発になり、夜 中トラックなどがたくさん通ってびっくりして目がさめたりする。とて も音がうるさくて困っている。</p>
33	女性	60～69 歳	<p>運転免許を返納した後、交通の便がない。今のふれあいバスまでも歩い て 10 分位かかる。安心して返納できる様にしてほしい。</p>

割振番号	性別	年齢	回答
34	女性	60～69 歳	JA 市川店の歩道で、コミュニティバスを待っている老人をよく見かけるのですが、暑い中寒い中、雨の中風の中、バスを待っている姿を見ると、いつも胸が痛みます。屋根付きのバス停があれば少しは、暑さ寒さがしのげるのではと思う。せめて乗降の多い所にだけでも設置して頂けたらと思います。よろしく願います。
35	女性	60～69 歳	自分が将来、車が運転できなくなったら、買い物ができなくなるし、病院も思うように行けないのが心配である。店が遠い。
36	女性	60～69 歳	道路の整備、拡張が必須。 居住者の受け入れ促進。 静かなベッドタウンを望みます。
37	女性	60～69 歳	沢の延寿寺横の町道の拡張工事が進まないのがよろしくないです。町政に満足できません！！どこに行くのも車が必要な市川町で、救急車も通ってくれない道があるのがおかしいと思う。いろいろとあるとは聞いていますが、行政がもっとしっかりしてほしいです。町長さんや議員さんのいない地域なので余計に力を入れてもらえないのでしょうか？
38	男性	70～79 歳	高齢化が進んでおり、買物等など不便な思いをしていると思います。買物バスを走らせて下さい。
39	男性	70～79 歳	甘地駅前の「5 差路」、危険な交差点は早期に何とかしてほしい。
40	男性	70～79 歳	甘地駅近辺の整備。
41	男性	70～79 歳	釜坂峠に是非ともトンネルが必要と考えられ早期の実現に向け努力して欲しい。
42	男性	70～79 歳	工事後の道の整備を早くしてほしい。
43	男性	70～79 歳	今は車に乗っていますが、乗れなくなれば病院などへのアクセスが悪い。年金だけでの生活ができるのか村などのつきあいで年間の維持費が大変です。今アルバイトなどでどうにかなっていますが。
44	男性	70～79 歳	今は自動車の運転できるが、将来、福祉タクシー、バスの利用がしやすい町づくりにして欲しい。
45	女性	70～79 歳	JR も電化され、姫路、神戸、大阪までも通勤、通学が出来る。買物も行けるので、甘地・鶴居の駅前に無料もしくは低額料金の駐車場を整えて、JR の利用促進を計り、市川町を住む場所、子育てする場所にして、移住者を呼び込み、空き家を利用し、楽しい老後生活が出来る。「人が住む町」にしてほしい。市川町内に無理に職場を作る必要もレジャー施設をつくる必要もない。安心して人が住み、子育て出来る町にすれば人は集まり、外へ逃げて行く人もへると思う。税金で立派な建物をつくらなくてもそれがあつる所に行つて、遊べば良い。今あるものをとことん利用すべきである。

割振番号	性別	年齢	回答
46	女性	70～79 歳	車に乗ると住みやすいけれど車に乗れなくなると歩いて行けるか心配である。
47	女性	70～79 歳	河川市川を境に西側にある甘地地区、鶴居地区は全ての面で不自由な面が多いです。コミュニティバスを、毎日運行して下さる様ですが、お年寄りがどこからでも乗り降りができるようになれば良いなと思います。甘地駅前の周辺は、もう少しきれいになって欲しいですね。市川町の玄関口なのですから。
48	女性	70～79 歳	現時点では、車を利用して買物、遊びが自由に行えているが、将来車の運転が出来なくなった時に行動の範囲がかなり限られてくることが予想される為、少々不安に思われる。10月からのコミュニティバスの毎日の運行に期待しているが、今後、継続して長期間（利用者の減少等の理由で止めてしまう）の運行が行われるよう望んでいます。
49	女性	70～79 歳	県道から町道に入った所は、夜になると暗く感じます。防犯灯をもう少し設置してほしいです。信号も一つもありません。設置希望。
50	女性	70～79 歳	今は車で買物等には行けますが、車に乗らなくなった時の移動方法が不安。コミバスはありますか？
51	女性	70～79 歳	農協市川支店の横の町内バスの停留所の所に椅子と屋根があったらいいのと思います。何もない所で暑い時寒い時、車でその前を通るたびに思います。 以前、リフレッシュパーク市川に友人と食事に行った時、急に大雨が降り出し、食事を終えて帰る時、入り口の自動ドアの上や辺りが雨もりでひどいなあと思いました。従業員の人も大変だと思いました。修理していただけたらと思います。すでに修理されていたら幸いです。
52	女性	70～79 歳	もっと年をとり、車の運転も出来なくなった時、病院や買物に行くのに週2回のバスではどうだろう。何より行きはよくても帰りのバス待ちの時間が空きすぎて困る事が目に見えている。とても不安だ。

割振番号	性別	年齢	回答
53	男性	70～79 歳	<p>JR 甘地駅の駅前をもう少し整備出来ないか。福崎駅ほどの整備は必要ないと思いますが。せめて長谷駅東側ぐらいの整備を、いろいろな道路の交通体系（5 差路）を少し整えて。</p> <p>県道福崎・甘地線の播但線沿いの約 500m をせめて幅員 W=10m 位に拡幅出来ないか（歩道が当然必要であります）。20 年前から切に要望がありました。</p> <p>前町長（政権与党でない共産党）の 8 年間で、兵庫県は新規補助事業には非協力的であり一向に進まない。補助金は変わらないと町民に説明していたが義務的補助（地方交付税等）は住民割であります。</p> <p>8 年前に駅前の整備構想らしきことをいっておられたが、一向に日の目をみない。新たに就任の津田町長が精力的に県に働きかけて頂き、実現可能な整備をお願いしたい。定時制の素晴らしい甘地駅のポテンシャルを生かしてほしい、私どもの命が尽きるまでに？役場は町民の為の組織であり、職員の互助会ではない。大いに真摯に取り組んでいただきたい。</p>
54	女性	70～79 歳	<p>現在は、まだ自分で車の運転をしていますが、もう少しすれば車の運転もできなくなると思い、病院の通院がとても不便になると心配しています。バスでの移動にも少し不安になっています。</p>
55	男性	80～89 歳	<p>コミュニティバスの増便有難いです。が、いつも不便に思っているのが終バスの時間が早すぎなのです。是非とも検討をおねがいします。</p>
56	男性	80～89 歳	<p>市川町内には JR の駅がありますが、駅周辺を中心とした発展が遅れている、もっと周辺の活性化を計るべきである。</p>
57	女性	80～89 歳	<p>鶴居の 2 番ホーム階段を通らずに南に出ることは出来ないですか？JR を利用して福崎に買物に行けたらいいと思います。福崎駅には、エレベーターがあります。JR を利用すると老人には割引券を発行していただければ幸いです。</p>
58	女性	80～89 歳	<p>車に乗れなくなったら、買物等に困ると思うので、乗り合いバス等があると嬉しい。病院等も同じだと思います。</p>
59	女性	80～89 歳	<p>コミバスを利用して、一人で移動したい。</p>
60	女性	80～89 歳	<p>年を取ると病院へ行く事が多く成り交通が不便で困る。</p>
61	女性	80～89 歳	<p>村の一番奥までバス（買物、コミュニティバス）を入れてほしい。</p>
62	女性	80～89 歳	<p>どの町にも高齢者が多く、買物をもっと行きやすいように、もう少し回数を増やしてほしい。</p>

・ 少子高齢化対策（教育等含む）、人口減少対策関連

→子育て支援の等が挙げられています。

割振番号	性別	年齢	回答
1	男性	20～29 歳	子育て支援サービスの充実を望みます。
2	男性	20～29 歳	若者の活躍できる場を整えて欲しい。
3	男性	20～29 歳	家賃を安くする。子育て支援を頑張る。おむつ支給・手当など。
4	女性	20～29 歳	子育てへの支援をもっと充実させてほしい。明石市のような支援をうらやましく思う。生活費も高いしぜいたくしなくてもお金が残らない。子供3人ほしいと思うがお金の面で現実的でない。上瀬加の道がせまい。中のほうの道もひろくしてほしい。トラックの出入りがしづらいし大型トラックが入れず不便。
5	女性	20～29 歳	子どもが遊べる施設と飲食店が増えてほしいです。イベントももっと増やしてほしいです。
6	女性	20～29 歳	子ども達のために体を動かしたり、楽しむ場所を沢山作ってほしい！
7	女性	20～29 歳	出生数を増加させるために、子育て支援に加えて出産前後の支援も充実させてほしい。
8	男性	30～39 歳	子どもを増やすことや、観光資源への取り組みはナンセンスに感じました。急速に進行している少子高齢化での社会へのダメージをいかに軽減するか尽力すべきだと考えます。
9	男性	30～39 歳	若者が離れる一方で、新たな居住者が現れないため過疎の一方である。働く場所、交通手段、コンビニ等がなく、若者が住みたい地域とは言えない。年配の昔からの住民の意見が重視され、新しい意見が生まれにくい。どんどん誘致等を行い、活力のある町にしたい。市川町の中でも地域により偏りがあるが、各々で強みを作り、町全体で魅力のある町にしたい。
10	男性	30～39 歳	小学生の人数がかなり減少しているので、一刻も早く小学校を統合してもらいたいです。
11	男性	30～39 歳	今後小学校が一つになると聞いたが、廃校になったところの活用（子どもたちの遊び場や町民や団体の交流の場として使用するなど）や、無駄がでないように計画をしっかりとたてて実行してほしい。

割振番号	性別	年齢	回答
12	男性	30～39 歳	<p>少子高齢化が進み、このままだと市川町として将来残っている事すら出来なくなるのでは、と思います。人口を増やすためにも、子育てをするメリットがもっとないと、他の市町村には勝てないと思う。そもそも、若者が出て行くので、残ってもらえるよう、たくさんの企業を誘致して就職先を増やしたり、買い物が出来る場所を増やしたり、公園を増やしたりと、広大な土地を有効活用しないと、誰も市川町に残ろうと思わない。緑豊かな事は良い事だとは思いますが、今の時代それだけでは無理。福崎町や加西市へ移り住むのも仕方ないと思う。高齢者を大切にする事も必要だが、その高齢者を支える為にも、市川町の将来の為にも、若者や子育て世帯が増えるよう支援し、税収を増やしていけば良いのではと思います。</p>
13	女性	30～39 歳	<p>人口を増やし、過疎化を防いでいく必要があると思います。そのためには仕事ができる場を増やし移住を検討してもらえるようにした方が良いのではないのでしょうか。大型のショッピング施設を誘致できれば、物流の必要性が高まり、仕事も増え、さらには市川町に訪れる人も増えないかなと時々考えることがあります。市川町と言って伝わるように知名度をあげるべきです。友人にどこに住んでいるの？ときかれ、姫路らへんと言わないといけないので、市川町と言うだけで分かってもらえるような町になってほしいです。今後も市川町の発展を願っております。</p>
14	女性	30～39 歳	<p>市川町へ引っ越しをしてきて良かったと、思えるような、まちづくりをお願いします。</p>
15	女性	30～39 歳	<p>瀬加小学校の統合をできるだけ早くしてほしい。人数が少ないことにより切磋琢磨の機会が減ってしまうことに不安しかない。</p>
16	女性	30～39 歳	<p>いつもお世話になっています。子育てサービス（支援センター）をよく利用させていただいて、感謝しています。市川町に対しては、良くも悪くも、何に力を入れているのかわからないなど、アンケートを答えていて感じました。毎日暮らしていく上で不自由なく、幸せにすごしているので、文句はありませんが。予算の少ない中、力を入れどころを絞らねばならないと思いますが、町として、これに力を入れている！！ということが伝わってくるとうれしいなと思います。これからもどうぞよろしくお願い致します。</p>
17	女性	30～39 歳	<p>県住が住めなくなったことにより転校した人がいます。町内に安く住める所があれば、転校せずに済んだのにな、と思いました。広い土地はいっぱいあると思うので、活用してたくさんの子供たちが市川町に来てくれたら良いなと思います。</p>

割振番号	性別	年齢	回答
18	女性	30～39 歳	どの市町村にも共通していますが少子化が進んでいます。他の町と比べて、観光地や商業が少ないと感じますが、立地は悪くないと思っています（各方面へのアクセスがしやすい）。この利点を生かして、子育て世帯やUターンが増えるような施策の強化やアピールができればと思います。Youtuber ヒカルが出身者なので、市川町出身の知名度のある方に協力いただいて発信に力を入れてみるのはいかがでしょうか。
19	女性	30～39 歳	いわゆる”小1の壁”というものに対する不安がなくなるように、町独自の対策をお願いしたいです。朝7時からでも小学校に預けられる環境、それが無理であれば、せめてファミリーサポートなど、子供を1人にしないように行政の力をお借りしたいです（朝7時ごろに家を出ないと仕事に間に合いません。こども園は7時から預けられますが、小学校になると、子供だけ家に残して親が先に会社してしまうことになってしまいます。）。 子供向けの施設を作れば、親は興味がなくても、子供のために観光施設に立ち寄りと思います（雨の日でも楽しめる施設が特にほしい）。 神河町は紙オムツを子育て世帯に提供してくれたり、その他にもいろいろ、市川町に転入してきた人はみんな、神河町の方が子育て支援が手厚かったけど、人間関係は市川町の方がいいとよく言っています。教育委員会の、こども園の区分認定などが、市川町は厳しい、と有名なようなので緩和してほしい。学童も、小畑ではなく、多数派の川辺で実施してほしいです。わざわざ小畑まで迎えにいくとなると、ただでさえ親と子の時間が少ないのに、子供たちがかわいそうです。ガソリン代も無駄です。既存施設の有効活用よりも、利用者の目線になってほしいです。
20	女性	30～39 歳	高齢化が進んでいる。若い人が暮らしたいと思える町づくりをして欲しい。商業施設の誘致。高齢者にとって優しい町。コミュニティバスの充実。医療機関の充実。
21	女性	30～39 歳	町内に、子供が体調不良の時に両親が仕事を休めない際に見てもらえる病児保育制度があれば助かります。現在祖父母が近くにいる方が多いため何とかなっていることもあるかと思います。小さな公園でもいいので散歩コースがあればうれしいです。
22	女性	30～39 歳	中高生を含む若者がすみやすい町にして欲しいと思います。
23	女性	30～39 歳	少子化の進行が進んでいます。自然はゆたかですが遊ぶ所はサビていたり草まみれ、若者が定住してくれる環境を作してほしい。
24	女性	30～39 歳	高齢化がますます進むと思うので、若い人が損をしない環境づくり。介護医療の充実。

割振番号	性別	年齢	回答
25	女性	30～39 歳	もっと結婚、妊娠、子育て支援に頑張ってもらいたい。子供を産む人が少ないなら妊娠から出産まで全額負担をして欲しい。 高齢者の方ばかりで活気がない。
26	男性	40～49 歳	若い方が転出せずにとどまってもらえるような「まちづくり」をお願いします。農地の管理をしてもらえるような仕組みづくりをお願いします。
27	男性	40～49 歳	若者が住みやすい環境作り。自然をもっと活用して観光業に力を入れてほしい。農業をする人に対しての補助拡充。子育て世代へのサービス向上。
28	男性	40～49 歳	全国的な事ですが、人口減少がひどすぎます。町が何割か負担し、宅地をだして、もっと外部の新婚世帯、子育て世帯を誘致すべきです。そのためには、子供への投資はどんどんしていくべきです。20 年後には市川町は人口 5000 人を切ると思います。年寄りにお金を使うならもっと違う使い方があはずです。役場で働いている方々はもっと SNS を使い、町をアピール、町はそのために何にお金を使うかもっと考えるべきです。
29	男性	40～49 歳	少子化で学校統合や遊ぶ学べる場所が減りつつあるのはある程度仕方がないが、子供会の廃止や地域の祭り、地蔵盆等が無くなりつつある。子供達が大人になり、この町で子供をそだてたいと、このままでは思えないと思う。子供達が住み良い環境や学び遊べる所に力を入れてほしいと感じます。
30	男性	40～49 歳	子育てがしやすく、町内での生活を選ぶ家庭が今後増加することで、町内における活気が増し、これに伴い経済活動や税収が増加する事で、住み良い地域となる事を願っています。子供や若者の意見をしっかりと聞いて、住み続けたい市川町にしていって下さい。応援しております。
31	男性	40～49 歳	数年後には中学校の部活動がなくなると聞いて、子供達が打ちこめる何を経験する場が減ると思うと悲しくなる。市のクラブチームなどが力を入れて支援してもらえると嬉しい。
32	男性	40～49 歳	人口減少は仕方のないことなので、変化に対して積極的に対応していく必要があると思います。地区なども再編成したりコンパクトな町に出来ればメリハリができると思う。(中央部は住環境、郊外は自然など)
33	男性	40～49 歳	孤独死 0 の町、ネット環境を利用してトイレや水道水の利用状況を把握出来るシステムの構築、プライバシーは、あえて 2 の次、綺麗に死ぬが第一です。その他もろもろは、頭の良い人達に丸投げ。

割振番号	性別	年齢	回答
34	女性	40～49 歳	子供が少ないのに子育て支援とかするよりも、もっと若者に活力を与える事に力を入れたほうがいい。自分の生活も、ままならへんのに、誰が結婚し子供作ろうと思うのか。今一番がんばって働いてくれる若者に手厚い支援が必要だと思う。それでこそ少子化にもストップがかかる。一番は若者、子供、老人はその次、市川町は何もない。土地はあるのに活用できてない。道の駅的な物とか外から来てもらう事とか考えないとお金ないのに何にもしないと災害があんまりなくてそこはいい所やけど赤字のままやと思う。
35	女性	40～49 歳	子育て・教育に力を入れてほしいです。物価高騰など、子ども達に今からとてもお金がかかってくるので、安心して生活できる環境、援助をしてもらいたいです。とりあえずまず給食費を無償化して下さい！！
36	女性	40～49 歳	子と親を対象とした金融教育の充実。人口と子が増えないと仮定した町の運営と行政、福祉のあり方の検討。
37	女性	40～49 歳	私の家の周辺では、若者たちが就職のために都会などに出ていき、高齢化が止まりません。このままでは、集落が消滅するのではないかと危機感を覚えます。まずは若者の流出をふせぐために雇用の確保などが必要ではないかと思えます。
38	女性	40～49 歳	これから高齢化が進み、人口減少も加速し、不安しかないが、子供、高齢者に重きを置いたまちづくりを進めていってほしい。困ったときに手をさしのべてくれる行政であり続けてほしい。都市部には無い自然とか、田舎ならではの地域住民のつながりなど誇れるものが市川町にはたくさんあると思うので、是非町外の人にさらにその魅力をアピールして市川町に移住していただければ最高です。人口を1人でも増やし、活気があるまちになれば良いなと思う。市川町という町名がいつまでも残ってほしいです。
39	女性	40～49 歳	若者が暮らしやすい町にするため、働く場の確保が一番優先すべき事で、人口減少に歯止めをかけないといけないと思います。
40	女性	40～49 歳	共働きの時代に合った町づくり（子供会も、なくして欲しい）。
41	女性	40～49 歳	結婚新生活助成金など結婚や新生活で市川町に移住してきた人への支援が何もない事に驚きました。周辺の町でも始まっているのでどうか今後移住する人の為にも力を入れて頂きたいです。そういう制度が有るか無いかで町の為に何か頑張りたいとか恩返しをと何かしらの意欲になるのではないのでしょうか。 駅の駐輪所を設けて欲しいと思いましたが、諸事情から利用しようと思えず利用していません。

割振番号	性別	年齢	回答
42	女性	40～49 歳	安心して子育てできる環境を整えてほしい。学童保育の開所時間が短く、高校へ通学するための交通機関が充分ではない。子育てするために親が仕事を辞めたり、パートにならなければいけないので、若い世代が流出していく。なので税収も減っていくことになる。基礎学力を補うため、親が教科書の内容を指導したり、低学年から塾に通わせる等、学習のための負担が大きい。教員の確保が難しいのであれば、きちんとした説明と、他の学校との差ができないようしっかり補填することが必要だと思う。他にも、休んでばかりの教員のカバーも同様、子供が犠牲になることがないように改善してほしい。子供の勉強を学校に安心して任せられないと、保護者が力一杯働くことができない。
43	男性	50～59 歳	高齢者、障がいのある人が安心して暮らせる町であって欲しい。
44	男性	50～59 歳	状況は環境により変化します。これから先、現状から変えてゆくべき事、変えないまま引き継いでいくべきことなどを適正に判断し対応してゆく能力が必要ではないかと感じています。人口減・高齢化・若者の流出と言った変えられない現実をとらえての場あたりの事を考えるのではなく、それらを受け入れた形での将来ビジョンを掲げてゆく必要があるのではと考えるところです。
45	男性	50～59 歳	町営住宅やハイツを増やし、若者が市川町に住めるように。町民が結婚しても、町内に住所が無く、町外のハイツとかに住んでいる。空き家とか活用して住める所を。
46	男性	50～59 歳	少子、高齢化、人口減少がある中、町民が力を合わせて明るく生きていけるようにして行ってほしい。また、行政や町民一人ひとりが、指示に従うだけでなく、情報を自分で考え、話し合い、一番いい方法を考えられたらいいと思います。よろしくお願いします。
47	男性	50～59 歳	子供への教育意欲が他地域に比べて非常に低い、進学実績にも現れているのでは?これは学校教育だけでは解決出来ません。家庭への啓蒙等で教育熱を上げ、良い人材を育てる必要があります。また若年層を引き留め、人口減少を防ぐためには、職が必要です。質の良い仕事があつてこそ、良い人材が定住します。是非企業誘致を推進して下さい。
48	男性	50～59 歳	年齢別にはなると思うが年齢を重ねて行くとこの集落に住み続けられるかは不安です。 おそらく身近で全てが整った場所に移住すると思います。 今の市川町の体制では期待はできません。

割振番号	性別	年齢	回答
49	女性	50～59 歳	市川町に限らず、若者の東京一極集中が問題になっています。我が子も、学びたいことを追求し、大学進学し、就職しました。おそらく帰って来ません。結局帰って来て、働く場所がないのが現実だと思います。今年のお盆はつい近くの方が墓じまいをしました。家を離れる生活が長くなると将来的にはこの地にもどることなく、墓じまいが増えるのだと思います。若者にとって魅力ある仕事ができる。勉強しただけの給料がもらえる環境でない限り、結婚し、子育てしようとは思えないと思います。勉強すればするほど、家から出て行くと昔、言われましたが、こういうことなんだと思いました。
50	女性	50～59 歳	近い将来、老若男女、保育園～小・中高等学校からデイサービスに通う人は全て、1つの場所に通り、枠を無くしてそれぞれが関わり持ち、助け、助けられる場所作りが町の発展を促すと思っています。年長者は知恵を教え、子供からは、自由な発想と枠の無い生き方を学ぶ事になると思います。今の社会は枠を作りすぎて、自分の居場所に不安を感じながら生きる方向に向いています。どのような状態になっても受け入れられる世の中であればどうでしょうか。そのために、多くの人で支え合う事ができれば、安心して暮す事が出来ませんか？お母さんが、保育園に子供を送り、そこで働く事が出来れば、互いに安心できます。石川県にある社会福祉法人佛子園（ぶっしえん）を参考に、小さな市川町だから、出来る町作りがある様に思います。
51	女性	50～59 歳	これから高齢化が進む中、思いやりを互いに大切にし、助けてほしいと言いやすい市川町でいてほしい。
52	女性	50～59 歳	できるだけ人口流出が減少する事を望みます。子供達が住み良い町にしていく。それだけが望みです。
53	女性	50～59 歳	子育て結婚にもっと力をそそいでほしい。川等に公園があり誰でも安心安全に散歩出来るような場所があれば良いと思う。
54	女性	50～59 歳	少子高齢化で町の活動ができなくなるのではと不安である。私自身としては、生まれ育った市川町で一生を終えたいが、介護の限界があるため、最終的には家を処分して施設に入る予定である。
55	女性	50～59 歳	今から市川町で生活していこうと思う若者が増え、活力ある町になっていくように、色々な面で、行政がサポートし、支援金を出すなどの施策を考えて欲しいと思います。

割振番号	性別	年齢	回答
56	女性	50～59 歳	市川町で保幼・小・中学校でお世話になり、大人になった子供達は、社会人となり、この市川町から出ました。帰ってきた時に、変わらない景色に安心すると共にもういなかでは暮らせないと云います。市川町に残った子もいます。「町」ほどの便利さは無いですが、車で移動できるので、子供には色々な経験をさせているようです。私達はだんだん高齢者となり移動できる間はいいのですが、運転できなくなると不安しかありません。でもここに来て良かったと思えるような市川町であってほしいと思います。
57	女性	50～59 歳	新規就農者問題・空き家対策・少子化問題は1セットに対策を講じるべきと思います。農に関心のある若い世代をターゲットにもっと積極的に空き家を提供する対策を町全体で進めるべきと考えます。
58	女性	50～59 歳	市川町の自然を生かしつつ 若い人たちが住んで子育てしたくなる町づくりが必要だと思います。
59	男性	60～69 歳	農業の後継者の育成が急務である。山もいいが、河の整備（土砂、あしの撤去）も必要。
60	男性	60～69 歳	いろいろな規制を取り払って土地を活用して住宅を建てて人口を増やすようにする。企業の誘致を増やして仕事を増やしていく、インバウンドに力をいれて観光客を増やす。
61	男性	60～69 歳	若者が住みたいと思える町作り。
62	男性	60～69 歳	高齢化が進むのは間違いのない事で、車が乗れなくなった時は、生活が不安です。住みよい町となるよう、高齢者・子供にとってやさしい町となるよう、行政で取り組んでほしい。
63	男性	60～69 歳	わが家を含めて多くの人が田んぼを手放したいと思っています。何か解決策に力を入れて欲しいです。田んぼの会社化など出来ないものでしょうか。
64	男性	60～69 歳	人口増への取りくみ。若い人の働く場増への取りくみ。妊活への取りくみ。子育て支援への取りくみを希望します。
65	男性	60～69 歳	田ができない。
66	男性	60～69 歳	市川町には、デモクラティック、まっくろくろすけというフリースクールがある。学校に行けない子供達の受け場所がある。町としてこのすばらしい学校があることを誇りにし、支援してほしい。又、となりの神河町では無農薬の野菜を使って学校給食を作っていると聞いている。市川町でも、無農薬野菜の学校給食の推進をはかってほしい。
67	男性	60～69 歳	人口減対策が必要。工場誘致等に力をもっと入れるべき。
68	男性	60～69 歳	将来的な人口減少を踏まえた上で、若者と高齢者のバランスを考えた行政政策をお願いします。

割振番号	性別	年齢	回答
69	女性	60～69 歳	福祉、医療の充実（子育てのしやすさ）、高齢者（独居）への支援充実。自然環境保全。参加しやすい健康維持の為の教室開催。
70	女性	60～69 歳	何事にもデジタル化していけば老人にはできずなおさら住みにくくなります。年老いても住める町であってほしい。老人の事も考えてほしい。みんな年老いて行くんだから！年寄りには機械に弱く、スマホ、パソコン持ってない者、あっても使われない者もいるのです（インターネット、町の SNS できません）。
71	女性	60～69 歳	空き屋対策、放置された農地の整備。年々、荒れた農地が増えており、残念な気持ちになる。農地を整備し、農業公園などにして、観光客を呼びこむなどしてはどうでしょう（馬や羊などを飼ったり）。
72	女性	60～69 歳	若い人達が出て行かない様な町づくりをお願いします。以前みたいに市川高校に温水プールがあり、子供達が集まる場所があればいいのですが（たとえばの話です）。
73	男性	70～79 歳	周りに若い人がいない。新しい方が入って（住んで）来ない。高齢者ばかりで限界集落も時間の問題。町内の（集落）の復活を望みます。子そだて支援など魅力のある町づくり、活気のある町づくりを望みます。
74	男性	70～79 歳	時代の流れに逆らうが、学校給食、医療費の無料福祉関連等に税金を使い過ぎと思う。我子に飯を食わせる、体調不良には医者にかかるのは親の責務である。他人の税金での子育ては許せない。又社会復帰の見込みの無い病人、老人にたいしてもある程度制限すべきである。このままだと日本国家が社会福祉関連予算で倒産すると思う。
75	男性	70～79 歳	問 27 に 5 年後とありますが、20 年、30 年後には多くの地域で限界集落化が進み、仕事、子育て、教育、観光などと言う以前に、市川町、総年金生活者となっている可能性があるように思います。私の住む隣保はすでにほぼ年金生活者のみとなっています。市川町の出生率も極めて低いと聞いています。市川町が孤立した「市川村」になってしまう未来が見て、多くが施設入居者となり地域の活動のままにならない未来が見えてなりません。これに歯止めをかける具体的手立てがあるようには私は思えない。
76	男性	70～79 歳	農業の後継者が減少する現状、放棄地の増加が地域の環境に影響をおよぼす状況にかんがみ、農地の税金等が取り組みやすくなる為、そうした土地へのアプローチ可能とする道路整備などを積極的に地域とともに取組を希望。
77	男性	70～79 歳	子育て支援等で若者の流入を図る施策を計られたい。

割振番号	性別	年齢	回答
78	男性	70～79 歳	子育てでいうと大学や塾などお金がかかる事があり産み控えにつながっている。不景気であり未来が不安。また、結婚をしないとゆう選択が増えている。市川町でみても居酒屋や食事の場所(出会いの場)はどこになるでしょう？町外の方が若い世代に対しての政策が充実しているため市川町にこだわるメリットがない。町営住宅がないのもヤバイ。農業に力を入れて若い世代にかつやくしてもらおう。特産品を作りブランド化する。町民からアイデアを募集する。アンテナショップ等でもり上げる。映えが大事！
79	男性	70～79 歳	明石市のように、人口増加の要因を分析するほか、他の市町村の成功事例等を市川町として企画立案し、町民にも発信して欲しい。 町長のメッセージの通り、大企業誘致のため、工場用地の取得等前向きに検討して頂きたい。
80	女性	70～79 歳	人口減が問題となっていますが他町では何かと、施策を打って活性化をされていると思います。本町も住民を巻き込んででも活性化を行う様にしてはどうですか？又他町では、1か月に1回町全体のクリーンデーを設けておられますが、本町ではない、各区長様に指導する様にしてほしい！
81	女性	70～79 歳	少子高齢化となり、農業従事者は減り、後継者不足が言われて久しい昨今です。放置田が増え雑草が伸び荒廃がすすむ一方です。安心、安全の町とは決して言えないと思います。私有地に官が関与できる、施策や条例など設置できないもののでしょうか。
82	女性	70～79 歳	市川町は若者が少なくなり老人町になっている。若者が住みにくいからだ！他町に比して介護保険料は高い。道路は悪路。食事処は少ない。働く場が無い。交通の便が悪い。そして福祉制度は悪 etc. 他町の住民がうらやましいと日々思いながら生活をしている日々です。若い人達が他に出て行かなくて良い市川町にしてほしい。多くなっている老人が残り少なくなっている余生を安心して心穏やかに過ごせる様にしてほしい。空き家が増えているのでうまく利用し、今住んでいる(今からの)老人の為になる施設、制度を充実させてほしいと願いつつ暮らしています。近い将来消滅するだろうと言われる様な事は無き様、皆様の良き知恵、実行力を期待しています。宜しくお願い致します。
83	女性	70～79 歳	人口減が進んでいます。若者が定住できる、魅力のある仕事を誘致してほしい。

割振番号	性別	年齢	回答
84	無回答	無回答	<p>学校給食はオーガニック野菜のみ使用などの声があるが、コスト面や安定供給（気候変動とか）は担保されているのか。オーガニック、オーガニックと言っている割には、他のSDGsには力が入っていない。例えば太陽熱温水器 etc の設置の促進、補助（助成）金などが町に全くない。窓の二重サッシ、耐震補強に対する支援がない。</p> <p>今後10年も立てば町内の空き家が増える懸念があるため、こうした地域にも公共下水を張り巡らすか否かについて、より慎重に検討していただきたい。</p> <p>旧鴨居中学校の活用が全くなされていない。閉校する前に、閉校後の活用方法を決めていなかったのか、広く活用されるべきだ。農業をして経営を広げたいが収かくした野菜の保管場所として利用したい。また、神河町では閉校した校舎を老人ホームとして活用している。町内にも老人が多く、その方たちが住みなれた市川町で安心して暮していけるためにも老人ホームなどとして使うのもいいと思う。</p> <p>町内に目安箱みたいなものを設置し、もっと町民の声を届けやすくしてほしい。←マックスバリュの入口に置いてあるようなお客さまの声を紙に書いて投函できるもの。昔、小野市でもやっていた。</p>

・医療、福祉関連

→介護福祉サービスの充実等が挙げられています。

割振番号	性別	年齢	回答
1	女性	50～59 歳	知的障害の子がおり、幼少期の頃から（保育所や学童の利用など）福祉課の方には大変お世話になっております。手厚い支援に、助けて頂き生活ができています。今後共、障害者やその家族が生活しやすいよう、よろしく願います。
2	女性	50～59 歳	病院特に皮膚科を開いてほしい。
3	男性	60～69 歳	病院、店もない、仕事も若い人が住みたくないから外へ出て行くのでだんだん便利悪くなっている（同じ町内でも差がある）。
4	女性	60～69 歳	医療機関が少なすぎる。病院の誘致が難しいならば、他の地域の病院に行く足の確保を考えてもらいたい。
5	男性	70～79 歳	福祉関係の充実を希望！！（他市町村より悪い様な気がする）。□町民税が高すぎる（財政改革）。
6	男性	70～79 歳	団塊の世代が後期高齢者となり、健康維持方法がむずかしくなることが予想されます。行政においても、大変な状況が生じてくるでしょうが、頑張って業務をこなして下さい。
7	男性	70～79 歳	医療機関・福祉施設の整備、拡充。□商業施設の充実。□産業振興（働ける企業の誘致）・（大学生が地元で働ける）・（若い人の U ターン）。集落単位での農地の集約、維持管理施策。
8	女性	70～79 歳	ワクチンの定期接種について副反応やその他の危険性について検討しながら慎重に導入されたい。 また、ソーラーについては、環境負荷等も考慮しながら慎重に導入されたい。ローカル・フード法というのがあり、各自治体で、たねや、農政を守っていく方法があると聞きました。有事になれば、ならなくとも、このあいだ、米がない！と大変でした。飢えは、やってきます。このままだと。農地に恵まれたこの町で、種や土地、農業を守っていくとり組みを、ぜひ独自でやっていてもらいたいと、切に願っています。 平和ボケしている我々ですが、様々な面で、大きな危機が、せまっているように思います。我々の命を守る行政をして、がんばっていただきたいと願っています。よろしく願い致します。乱筆乱文ですみません。
9	女性	70～79 歳	一人暮らしの為、ひとりで市川町で認知機能を維持しながら暮らしているか？皆様に少し助けてもらい、市川町で死ねたら幸せです。

割振番号	性別	年齢	回答
10	女性	70～79 歳	高齢者が1人で生活出来る行政、看とり、介護、医療の充実。人口減に伴い、使わなくなった公共施設の活用、働く場所、高齢になっても技術などを生かした余り移動を必要としない、個人でもGでも可。地域を生かした資源、草、木など燃料、肥料（堆肥）に活用する。それを住民が利用して町の活性化につなげる。他町との協力、支援も踏まえながら、中高層を元気にする。企業の力も含めると大きな成果が期待出来るかも？
11	男性	80～89 歳	旧鶴居中学校跡地に介護福祉施設サービス、飲食が出来る場所が出来たらいいな。
12	女性	80～89 歳	福祉センターに毎週火曜日送迎して頂き「ここからアップ教室」へお世話になっておりますので私自身は「幸せいっぱい」。日々、感謝！！です。ありがとうございました。
13	女性	80～89 歳	老夫婦だけの生活で別に何も望むものはありませんが、ただ医療、散髪、食料等、一番不安です。
14	無回答	無回答	私は、障害あるのでこの先がとても不安です。親がいなかったら困ります。精神障害と知的障害があります。

## ・観光関連

→観光施設の整備等が挙げられています。

割振番号	性別	年齢	回答
1	男性	20～29 歳	福崎町（妖怪）や神河町（映画のロケ地やスキー場）には特色があるが、市川町にはなく、観光には不向きである。また交通の便が悪く、他所から観光に来にくく、生活も車がないと生活しにくい。
2	女性	20～29 歳	観光できる場所をふやしてもっと人が出入りしやすい所がいい。イベントに来るのに電車しかないのが友達を呼びづらいので臨時ダイヤ増やしてもいいと思う。小中高の部活動がもっと強くなれそうな環境があるのに、指導者不足な気がする。私自身色んな中学でソフトテニスを教えているので外部コーチやスポーツクラブなどイントラで働ける環境があればいいなと思う。
3	女性	40～49 歳	休日等でも、町外、県外の人達が来てもらえるような施設、レジャーが増えれば良いと思います。飲食店もまだまだ少ないので、町外に行く事が多いので町内だけでも、日々の生活が充実出来るようになれば良いなあとと思います。どうぞ、これからも頑張ってください。応援しています。

割振番号	性別	年齢	回答
4	女性	40～49 歳	人口増加につながる観光やレジャースポット、商業や農業の発展に力を入れてほしいです。市川町といえば「これ！！」という何かがあれば足をはこんでくれる人もいるのでは？と考えます。また、デジタルで発信するだけではなく、町内に看板など、町が明るく華やかになる事もいいのではないかなと思っています。市川町にはいい自然や施設があるのに、少し老朽化したイメージがあり、“もったいない！！”とってしまいます。市川町に来た町に、ワクワクするような見た目を作ってほしいです！
5	女性	40～49 歳	市川町の特産品や町並みをもっと向上して、市川町民以外の人達が、立ち寄る町づくりになり、活気づいてほしい
6	男性	50～59 歳	姫路から福崎、市川と海外の方が来たいと思うイベントや施設をもっと作りアピールし、仕事や場所を増やした方がいいと思う。日本の方を呼ぶためにも必要。もっと活気ある町にしてほしい。
7	女性	50～59 歳	観光交流センターが、とても入りづらい。外からの見た目がごちゃついていて、中に何かあるのか不安に思える。ゆかり作業所のいち福神が好きで、何度か買いに行ったことがあるが、その時の対応が不愛想で気分が悪かった。市川町の顔とも言える人たちの態度かと思うとはずかしい。イベントなどはいろいろ考えてされているようですが、常設場所をもっとすっきり見やすく入りやすくできないかと行くたびに思います（しばらく行ってないので改善されていたらすみません）。
8	男性	60～69 歳	廃校の再利用（鶴居中学校）（民泊）にする。プールに養殖業者の誘致。
9	男性	60～69 歳	ゴルフクラブ発祥の地である PR 館を建て、ゴルフボールを打つ体験やクラブの販売をする。そこでタスマの卵と市川町のブルーベリーで作ったスイーツや、本田商店が作り始めた市川町のブルーベリーを使ったジンの販売もする。笠形山登山やリフレッシュパークに行った人を立ち寄らせたい箱物を作り、観光振興による雇用拡大を図る。先日行った鳥取県の倉吉観光の後に立ち寄った「なしっこ館」がそれに近いイメージ。
10	男性	70～79 歳	今春の町観光協会総会で津田町長が会長に選出され、今後本町観光全般に各部署が協力し合い前進されます事、希望致します。

・行政関連

→税金等について挙げられています。

割振番号	性別	年齢	回答
1	男性	30～39 歳	行政職員、地域住民の人格的成長を促してほしい
2	男性	40～49 歳	町職員が親切に対応して欲しい。 野焼きで室内も煙臭いので困る。 県道 34 号線は、大型車が多い為運転しづらいし、道がガタガタどうにかして欲しい！
3	男性	40～49 歳	・ネット化の推進 ・図書館の充実 ・スポーツ施設の充実
4	女性	40～49 歳	外部に委託できるものは、どんどん採用すべきだと思います。昔なら人数が足りていたことも、今では難しいかなと。また、市川町内は、土地や空き地がたくさんあるのに、そこでお店を開こうとか、住もうとする人が少ない。そういったところにもっと目を向け、外部に発信したり、補助金を出すべきではないでしょうか。店舗が増えると市川町へ来る人が増え、経済効果へつながると思います。市川町を知ってもらうためにも、まずは一度足を運んでもらうのが大切だと思います。市川町といえばコレ！というものを作っていくのも良いかと。今でもいくつかありますが、もっと増えてほしいなど。とにかく、来てもらうことを考えていくと、だんだんとそれが繋がっていくのかなと考えます。自然豊かな市川町、ぜひ色々な人に訪れてもらい、それが移住や店舗開設へとつながり、人口増加へ少しでも結び付いていけばいいなと思っています。
5	男性	50～59 歳	個人情報（プライバシーetc）の取り扱い等については特に注意してほしい。
6	男性	50～59 歳	経済面に於いて収入の増加があるか分からないが、減税等により安定した生活ができるようになって欲しいと考える。
7	男性	50～59 歳	町会議員の削減。各地区の区長さんや協議員さん等である程度対応できる。害獣対策。空き家・各家庭の庭木の伐採補助金支給（害獣対策にも関連する）。市川河川の治水対策を少しずつでも前進する。
8	男性	50～59 歳	人員削減。能力の向上。
9	男性	50～59 歳	安定した予算で行政が継続できるよう、将来を見据えたお金の使い方を考えてほしい。

割振番号	性別	年齢	回答
10	女性	50～59 歳	役場の窓口対応が親しみがありていねいでありがたいです。今後ともよろしく願います。町立図書館ができたことは大変うれしいことでした。小さいですが「有る」と「無」では大きなちがいです。図書館の存在は決して派手ではなく目に見える劇的な効果はありません。だからこそ存在することで町の意識を高めることにつながると考えます。「見えないものもあるんだよ」です。どうかこの先もいちかわ図書館が続きますように。予算、人員の充実があってもけず、へらす、などということがないことを切に切に願います。図書館は資本と市場論理から切り離された、市川町の民主と健康のために必要な場であることを、行政はもちろん、町民ひとりひとりが自覚することも重要です。是非、内田樹著「図書館には人がいないほうがいい」をご一読いただきたいです。ちゃんといちかわ図書館の蔵書にあります。
11	女性	50～59 歳	町内の人口が減っているのに、町会議員の人数は減らさないのでしょうか？町の財政が厳しいのなら見直すべきです。 ”清流市川”も予算の関係なのか、情けない、福崎、神河は河川をきれいにしているのに。国道 312 号は、多くの人を通るのに恥ずかしいです。家族がいる老人に何か提示すれば安くなる、タクシー利用出来るように考えてはどうでしょうか。一人暮らしの人は、安くて利用できるものがあると聞きましたが、若い人は仕事があります。町でタクシーのようなものを雇っては？
12	男性	60～69 歳	町税金が高い（サービスを他町（市）に比べて）。
13	男性	60～69 歳	アンケートだけでなく、もっと地域の意見等を吸い上げる機会が必要と思われる（生の声）。 将来を担う世代の台頭が見られ、行政として支援体制をもっと強化し、参加者の拡充を図るべきではないか（継続が大切）。 今ある自然や財産の活かし方を工夫すべきだ（ひきつける象徴的なものがほしい）。 道路行政をもっと充実、見直すべきだ（災害、経済活性等加味）。 甘地駅周辺（西側）の開発計画を考えるべきだ（市川町の顔）。
14	女性	60～69 歳	市町村の合併→このままでは将来、市川町が消滅してしまう。 自然災害への対策強化。
15	男性	70～79 歳	町職員は町民に対し挨拶が余りないように思います。
16	男性	70～79 歳	町単独で取り組めないものは共同で取り組める機構を築けるようになればいいと思う。

割振番号	性別	年齢	回答
17	男性	70～79 歳	都市から豊かな田園風景にあこがれ、住民になり、長年が過ぎ子ども2人も難なく成長し、住めば「都」の思いで行政や地域に協力してきました。財政難、箱物行政をやめ、老人福祉のムダをはぶき、少ない税収で小さな行政・赤字団体にならないよう質素儉約のこと。私も高齢者です。健康でお世話にならないよう頑張ります。
18	男性	70～79 歳	将来的には確実に少子高齢化が進むので、より効率的に予算を組む事が要求される。無駄はそぎ落とさなければならない。市川町民も現状の認識が甘いと思われるので、町政について、もっと広報活動等で知らせるべき（町民を活性化させる施策が不足している）。
19	男性	70～79 歳	人口減、少子化が拡大し「限界集落」が急速に進んで行く事が目に見えている中での難しい舵取りが求められているが、残って行くには、先端技術である AI、IoT 技術で情報、通信網を整備活用した元気の有る町作りを進めていただきたいと熱望項目を挙げました（順不同で列挙）。 子育て支援の充実、魅力ある町づくり、住みたい町づくり。 町内交通手段の充実。 高齢者の孤立化対策。 町組織の一層のスリム化。 民間委託の推進。 産業の誘致、育成、観光、農林の連携、外部への発信。 有休田の開発、転用による有効活用。
20	男性	70～79 歳	行政に望むこと ①団塊の世代が定年になり老後を迎えている。民間の会社で実績を持った人を登用、活用して役場の職員の増加を無くす。 ②市川町役場の職場を見ると紙の書類が多すぎる。デジタル化、DX化を推進する必要がある。 ・まちづくりに関する意見 ①北田中について、市川町の玄関口にありながら下水道はない、土地の基盤整備はされてない。昭和初期からの米農家が続けている状態になっている。農機を入れる道はない。水路は荒れ放題。人口減少は始まって放置農地が増える状態になっている。 この失われた土地を生産のある土地にして欲しい。なんとかして欲しい。
21	女性	70～79 歳	今後、人口減少が進んで行く中、将来の町行政を円滑に進める為にも再度3町合併に取り組む必要があるのではないのでしょうか。

割振番号	性別	年齢	回答
22	女性	70～79 歳	町会議員の定数の削減 (-2 減) (市川町の人口減少により)。 役場前交差点の道路標示。左折のみを左折と直進に。現在左折のみで直進者は右折車待ちになっている為。文化センターでの展示販売目的の業者、女性客を相手に販売員は若い男性で高価な品物を買わないと帰れないような口調で買わされてしまいます。文化センター場所提供やめてほしい。
23	女性	70～79 歳	このアンケートがどれほど役にたつかわからないが市川町が近隣エリアと共に発展していくことを切に願っています。
24	男性	80～89 歳	他市町との広域行政の進捗状況においても住民として、ある程度知りたいです。
25	女性	80～89 歳	役場で働く人が元気で充実して働いているでしょうか。コミュニケーション充実してこそ働きがいがあります。町長さん職員の皆さん会話を大切に。頑張ってください。皆さんだけが頼りの一町民です。

## ・広報、SNS 関連

→広報の充実等が挙げられています。

割振番号	性別	年齢	回答
1	女性	20～29 歳	市川町の魅力は中古物件が安いことと、人間関係が良く優しい町民が多いことです。そこをもう少し魅力の1つとして町外にも広めてくれたら嬉しいです。仕事を探すのは田舎なので大変ですし、商業施設が少ないのがこの町の最大のデメリットですが、平凡な暮らしを求める人にはピッタリの町です。私は日々穏やかに暮らしたいのでこの町が大好きです。
2	女性	30～39 歳	市川町の instagram のフォローしているがどこか分からない写真が多い。 →施設やグルメをもっと PR しては? と思ってしまう。ハッシュタグ活用してほしい。 昨今、犬連れで行ける外出先が人気だが町内にない。→たくさん土地があるなら、ドッグランの作成や川遊びができるよう川原の整備をしてほしい。ドッグランは、加西・夢前・多可にはあるのに、ここにはないのがもったいない! 村のつきあい・且つイベントや行事を断れる環境が当たり前になってほしい。→伝統や文化を残すのは大切だと思うが、現状毎月の村の行事はしんどい! 特に、共働きで、土日しか休みがないと、休みなのに行事に出ないといけなくなるのがしんどい!!! シルバーさん(お金もらってる方)や毎日お時間のある方(高齢者の方)にしていきたいと思います。住んで1年で世話役にもならされて、行事も休めず本当にストレス。村つきあい辞めたい。

割振番号	性別	年齢	回答
3	女性	40～49 歳	例えば、住宅リフォーム等の補助金申請方法、手続きの流れ等、何もわからない事が多い。又、どんな補助金が町にあるのかも不明な点も見られる。町の広報をもっと活用し、町民が誰が見てもわかる記載内容にして欲しい。 市川町には、多くの山林がある。先代から受け継いだ山もある。処分方法がわからない。一度、町役場へ相談しに行った事もあるが、誰も相談にのってくれなかった。結局、野放しになってしまう。
4	女性	50～59 歳	町内の方とのお付き合いは無いので、町の広報紙等の情報が分かりにくい事があります。必要な情報をもっと身近になればと思います。スーパーマーケットや、郵便局、銀行等に議会だよりや町広報紙を置いて頂ければもっと町内の事を知る事が出来ると思うのですが。村付き合いをしていないと分からない事だらけです。
5	女性	60～69 歳	毎月の広報は必要ですが、文化センターの催事案内や商工会報まで配布させられる必要はないと思います。住民は新聞広告配りの人員ではありません。また、配布も高齢者が仕分けています。当地区では女性が担当の為、男性一人暮らしは手伝わなくてもポストに当たり前に投かんされる現状です。又小学校だよりも全戸に配布に変更されるようになりました。学校の先生も忙しいなら子供にそのエネルギーを向けてほしいです。便り作成で自己満足するのは理解しかねます。 子育て世代の手厚い医療補助は是非とも実現して下さい。高齢者の余暇の予算よりも若い人達に御利用下さい。
6	女性	60～69 歳	市川町は自然が豊かだし、各地区に素晴らしい歴史があるので身近に感じられるように町外にも PR して頂きたいです。
7	女性	60～69 歳	市川町には他町、他県にアピールできるこれといった物がないように思う。あるのかもしれないが、アピールがヘタではないだろうか。
8	女性	80～89 歳	町ホームページの情報が少ない。

## ・地域コミュニティ関連

→地域のイベントのスリム化等が挙げられています。

割振番号	性別	年齢	回答
1	女性	30～39 歳	子供会など今の時代に合っているのかな？と思います。 強制っていうのも一種のハラスメントではないか。祭りもそうです。 選ぶ権利が欲しいです。

割振番号	性別	年齢	回答
2	女性	40～49 歳	秋祭りやお花見、夏の盆踊りなど小さな村単位の催しがコロナで一旦なくなりましたが、去年今年あたりから復活してきましたが、高齢化が進み難しい地域もあるようです。地域の催しに使える補助金などがあるともっと地域が元気になると思います。また、健康への意識を高め医療費を削減し、予算を子供の自然体験や農業体験を味わわせてあげられるような市川町ならではの教育の推進をお願いします。
3	男性	50～59 歳	海外の方が増えました。海外の方がどうのこうのはないですが、産まれた時からの文化、風習により市川町という田舎社会に馴染めない方もいます。また、生活困窮が理由で法を犯す方もいるでしょう。 その方々が悪い事をせず、地域社会に染まり、住み良いと思って頂くことができれば、次の世代の街創りは容易にできると思います。少子化、都市一極化は人口減少の大きな要因ですが、工場近くの僻地は海外からの出稼ぎ労働者を受け入れる事で人口減少スピードを抑制していかないといけません。 防犯だけでなく、その方々が住みやすい街を創ってください。必然的に犯罪は減りますし、かわりに税収も増えます。
4	女性	50～59 歳	人口が減って来ている中、お祭りは必要なのかと思います。おみこしを担ぐ人も減ってきている中で無理そうに思います。他の地域から来ないのは、仕事もない、買物もできない、町内の行事が多い。若い人はそれが一番嫌な理由だと思います。住みやすくいい所だとは思いますが、働くところもないのに横の繋がりばかりで大変そうと思われるのだと思います。車がなければ生活できない、電車があっても本数がないとなると利用できない。お祭りもやりたい人もいると思うので規模を小さくしてやりたい人が参加できるようなものにしたら良いのでは。
5	男性	60～69 歳	地域の役員など男でないといけない雰囲気。女性であることを理由に役員を逃れようとする気持ちを解消できないものか。繋雑な手続きをスリムにできないか。町の担当区分、県の担当区分、国の担当区分などに分かれているが、住んでいるひとにとってはどうでもよいことである。住民がどうすれば楽に手続きできるかを考えて欲しい。
6	女性	60～69 歳	隣近所がこの頃若い人少ないし、年寄が多くなって希薄になっている感じ。全然昔と違う。こんな時代は若い人がかわいそう。何でも話が出る、挨拶も出来る様に。今の若い母親はそういう事がむつかしくなっている。残念です。何でも話が出る時代が心をいやします。

割振番号	性別	年齢	回答
7	男性	70～79 歳	権利を主張し、義務をおろそかにするなど、ものの考え方や価値観が大きく変化してきています。隣保内でも協力・協同して助け合い生活する意識も希薄になっている状況に憂えています。このような現状でまちづくりに関する有効な意見はありませんが「いきいき百歳体操」や「ふれあいの会」等が相互に知りあえ支えあう場として醸成されている様に思えます。これらの会の世話をしたり、運営している人々は殆どボランティアの人達ですが、それぞれの会に出席した高齢者が参加して楽しかった、効果が実感できたのと回答も少ないことから頑張っておられます。運営にはやはり経済的な資金も必要です。町として人的な支援は難しいと思われませんが、少し程度の経済的支援をしてほしいと考えます。
8	女性	70～79 歳	グラウンドゴルフの仲間が出来た、楽しみがある。
9	男性	80～89 歳	地域内の住民ほとんどが高齢化しており、現在、老人会の活動を通じて年に数回会員全員が集まる行事を行い、コミュニティを図っている。今後、60～70 才代の次期リーダーとなる人を育てるための研修事業を町が率先して計画、実行されることを希望する。
10	男性	80～89 歳	どの団体でもリーダーの成り手が少なくなりつつあります。老人クラブ活動では特にあり、1期2年が1年になりつつあり、1年過ぎれば終りで消極的な姿が見え始めております。活動の中身を検討する必要がある、補助金を出しているから社会奉仕活動（草刈等）は当たり前でなくなりつつあり、危険作業からの撤退の意向になりつつあります。「労を多くして報われない」どころか、身体の足・手の骨折者も、出てきている現状で損害保険に入っていればでは済まされない現状です。今後、どうあるべきか検討する次第です。
11	女性	80～89 歳	町民の連帯感が薄れている現状です。例えば子供会、消防団、老人クラブ等に加入する人が年々減少している事も大きな問題だと思います。町行政においてある程度夫々に加入する事を義務化していただけたらと思います。

・空き家、空き地関連

→空き家の整備等が挙げられています。

割振番号	性別	年齢	回答
1	女性	19歳以下	高齢者が多くて不安。空き家がどんどん増える。
2	男性	40～49歳	空き家対策。 若者が地域から流出しない為の魅力の発信。
3	女性	50～59歳	高齢化が進む中で、後継者がいない空き家問題。 車が乗れなくても、バス等の交通機関で便利に過ごせる町にしてほしい。
4	女性	40～49歳	空き家が増えてきて雑草が生え、手入れがされていないので大きな道路から小道に入ると寂しく感じる。クリーン作戦の回数を増やすなどして、地域でもっと地元をきれいにしていくよう、きれいなまちづくりをしていく必要がある。
5	女性	50～59歳	こわれそうな家。放置された草だらけの田畑。太陽光発電ににげることなく、遠くからでも足を運びたくなるような商業施設や、活性化を計ってほしい。老後、ここに住んでいて、毎日が充実できるような明るい街にしてほしい。
6	女性	60～69歳	空き地・空き家の活用、町をアピールする為の情報発信が大切です。行政から自治会への押しつけが多い。
7	女性	70～79歳	古い家、空き家が多くなり、草ひきなどに困る、近所にいらぬ土地があるかないか、調べてほしい。年齢をとるとなにも作れないし、道路が広がってほしい。若者が住みにくいのは、用事が村の行事など、多すぎる。草かり、溝そうじ、寺、公民館、町みたいに年に一度ぐらいならいいけど。

・環境の整備関連

→自然環境の保護等が挙げられています。

割振番号	性別	年齢	回答
1	女性	50～59 歳	「市川町」と名前に市川が入っているのに、川を大切にしていないと感じる。例えば淀川にしろ芦屋川にしろ夙川にしろ、鴨川にしろ夢前川にしろ、河原を整え、川沿いを歩けるようにして市民が川を楽しみ川を大切にしている。税収が減ってきて行政運営が苦しいのは予測がつくが、他から移住してきた者としては今ある市川町の魅力を伸ばし、都会とはひとあじ違ったきめ細やかな町政を期待している。市川町役場の方々や町会議員の方々は本当によくやっぴらっしゃると思う。市川町出身のYouTuber ヒカルさんの力添えをお願いすることはできないものか？なかなか難しいとは思いますが、年を経ると故郷への思いが募ることもあるかもしれないし諦めずにチャレンジして欲しい。市川町はすごくいい所だと思っています。行政にも頑張ってもらいたい。協力します（できることがあれば）！！今日も市川町役場に行く用事があった。駐車場から細い階段を上る際、下水の臭いがした。前回行った時も前々回行った時もそう思った。どぶみみたいな汚水の臭い。恥ずかしいのでお金をかけても改善した方がよいと思いました。
2	男性	60～69 歳	自然が豊かにもかかわらず、（人間）に重点を置きすぎて、（全国的な傾向であるが）、自然（山、川、草木）を軽視していると思う。もっと自然への配慮（行政的に）、整備が将来的に必要なことかなと思います。山の整備、川の整備、神社仏閣の整備等。道路整備が第一だと思います。将来に向けて今は何に「力」を入れるか？自然か人か、観光か。
3	女性	60～69 歳	自然豊かな町をそのままに若者が住み続けたくなるような町にしてほしい。そのためにも働く場所の確保、中小企業に支援、近隣の町との協力も必要だと思う。もう三町合併も視野に入れてもいいのでは。
4	女性	60～69 歳	仕事を辞めて時間が出来、地域環境を考えた時に、少しでも、自分に来る事はないかと、少人数（議員さん）ではありますが協力を得て、ゴミ拾いをしていますがポイ捨てが無くなる方法。もし何処かで時間が取れる様でしたら、地域活動を計画して頂けたらありがたいです。

割振番号	性別	年齢	回答
5	女性	60～69 歳	野焼きについて。地域の活動で草かりをした草をもやすこともなくなっているが、個人宅で草だけでなくビニル系のものも、もやして、窓などをしめていても家の中にまでにおいが入ってくる。日中だけでなく、夜にも、もやしている、何とかならないか。市川町観光協会の活動について。近隣の町では、活動が活発なように見受けられるが、市川町では活動が少ないように思う。他の団体等と協力して更なる地域おこしの中心となって活動を広めてほしい。毎月、ひまりん朝市が行われており、ひまりんちゃんも活動に協力されているようだが、TV 撮影等を観ても、ひまりんが一度も出演していないのが逆におかしい。市川町のアピール＝アイアンだけでなく、ひまりんの登場機会を増やしてほしい。未だにゆるキャラがちまたでは人気があり、県レベルのゆるキャラでは毎日インスタ等をアップして、宣伝を行っている。相乗効果で、ふるさと納税等、他の事にも良い影響を与えるのではと思います。今後の活躍に期待します。
6	女性	60～69 歳	水・空気がきれいであることが市川町の素晴らしいところ、それが皆で大切に守っていける町であってほしい。人が生きる上で大切なものの価値を知る。 その自然の中でお米をしっかり生産して、販売できるよう支援がある。都市部との連携。 山や庭の木々・葉などを肥料にできる農法を取り入れ、ブランド化する（炭素、還農法等）。 前項のような肥料を生産する（木々のチップ化）。
7	男性	70～79 歳	農地・山林の保護整備が必要ではないか。
8	男性	70～79 歳	公園・医療・福祉の整備。交通の便が悪い、災害時の避難場所の充実。
9	男性	70～79 歳	河川環境整備。水の流れを見て心が癒される様な環境を作って頂きたい。
10	男性	70～79 歳	住民自らの手で地域の環境整備をする場合の補助制度の拡充を。
11	女性	70～79 歳	下水道を考えてほしい。町内、あらゆる所で工事されています。それなら、下水道も工事の中のひとつに考えて頂いてもいいのではないのでしょうか。道理的にどうしても無理があるのでしょうか。
12	男性	80～89 歳	老人になると粗大ゴミを捨てようにも、車が無いので年に一度だけでも、村内で集めてもらえる日があれば良いと思う自分で捨てにいけないので。困っている。

・その他

→様々な内容が挙げられています。

割振番号	性別	年齢	回答
1	女性	19歳以下	問23に関して、論点が「市川町にすることでこの自分らしい生き方が実現されるか」ということなのか、少し質問が分かりにくかったです。新たな総合戦略を打ち出していくにあたって、2つ希望があります。1つは、戦略会議と戦術会議を切り離して行うことです。まずは、大きい枠（戦略）を議論した後に、具体的にどうするのか、（戦術）を話していく必要があります。会議ではそこが少し混同しているような印象を受けました。2つ目は、「そもそも論で考える」ということです。例えば、議論をする際に、“少子化対策＝空き家をどうにかする”といったような1つだけの解決策があるだけではありません。もっと別の切り口がないか、議論をする際にブレインストーミングなど色んな意見を促すものを用いるのも効果的だと思います。
2	男性	20～29歳	もう少しまわりの市町を見てほしいです。福崎町も、神河町、姫路市も活気があります。市川町も、カップとは言いませんがあたまをやわらかくして、何かだれか考えられませんか。むずかしいとは思いますが。べつにお肉は、ほしくないです。もうちょっと町のために活気がほしいです。住むならすごいねと言われる町に、例えば福崎町みたいにしてほしい。
3	女性	20～29歳	アンケートの内容が難しいため何が言いたいかわからない。何を問いているのか分かるが選択肢の言葉が難しすぎる。(問13～問20)アンケートへ使うお金があれば他の所へ使って欲しい。PTA会費を職員が払う理由が分からない。
4	女性	30～39歳	自宅から小学校まで距離があり、子どもの登下校が心配です。何か安全対策あれば安心です。
5	男性	30～39歳	①東京都知事選で有名になった石丸伸二さん(広島県安芸高田市の元市長)を市川町の町長として起用、もしくは1日限りの町長として起用し、積極的にその情報をマスメディアおよびSNSのプラットフォームで発信し、市川町の魅力を外部に伝えることに専念する。②現在の市川町の公式ウェブサイト抜本的に作り直す。外部のウェブデザイナーと共同制作を行い、なおかつ最低限英語版のウェブサイトも充実させて多言語での市川町を発信できる体制を整えること。③将来、他の市町村と合併しても市川町の「市」という漢字は残してほしい。④吉本芸人の市川くん以外にも芸人の観光大使等を積極的採用。東出昌大さんとかいかがですか？めちゃくちゃ推します。⑤Youtubeのリハック(ReHacQ)というチャンネルに出演できるようにする！！これホントにオススメです！！

割振番号	性別	年齢	回答
6	女性	30～39 歳	職員・行政だけで改善できる町ではありません。外部（専門）に委託することはしてほしい。町の中心は外に向いていると感じる（ゴルフなど）。そもそも住んでいる人たちのことをまず考えて施策してほしいと考える。企業誘致は避けてほしい。海外労働者であふれることになり、自分のふるさとと思えなくなる。
7	男性	50～59 歳	このようなアンケートで市川町を良くしようとしている姿勢は良いと思う。これも、単なるアピールで終わらない事を願います。
8	女性	50～59 歳	粗大ゴミを車で持ち込むのが大変なので、有料でもいいので家まで取りに来てもらえるサービスがあれば助かります。タンスも重くて運べないので、片付けられなくて困っています。
9	女性	50～59 歳	子どももいない、結婚もしていない”おひとりさま”には何のメリットもない。住み続けたくないが、住み続けなければ仕方ない。
10	男性	60～69 歳	自然環境の整備。特産品の開発。河川の整備。町花、町木の栽培と宣伝及情報発信。
11	男性	60～69 歳	単純比較で、3 町（神河・市川・福崎）を見てみると、市川町がトップであるとはなかなか言えないと思う。活気～という点から見ても、むしろかしい。一気に改革はできないので、コツコツと長い目でやっていく事も大事な事かと思えます。全国的にみても、人口が減少しており、若い人が少なく、新しい発想・アイデアなどが、とぼしい！人間一人の力には限界があるので、みんな仲間の力を合わせて盛り上げられればいいのですが～、一回限りでなく、継続する、ということもむしろかしいけど大事な事だと思えます。
12	女性	60～69 歳	「市川ユース」はとても良い事だと思えます。多くの中高生が参加して町の未来を考えるのはたのしいです。
13	男性	70～79 歳	□町の活性化の促進を行う為の具体的な対策。→町が豊かになることにより色々な対策が出来る。□町職員は危機感をもって業務を行ってほしい。→民間企業はきびしいよ！！
14	男性	70～79 歳	人と人が人権を尊重しながら楽しく暮らしていくことのできるまちづくりが理想ですね。
15	女性	70～79 歳	人口減少に伴い仕方がない事だと思うけど、買物しても、スマホやカードでポイント利用とか、ポイントがもらえとか、いろいろお得な方法とかあるけど私は高齢で又機械に弱くて分からない。使えない機械化について行けないのが悲しい。いろんな説明でも、横文字やらアルファベットでそれもついて行くのがシンドイ、つらい、横文字は高齢者には、優しくない様に思います。
16	女性	70～79 歳	ストレスをためないまちづくりになればよいと思えます。

割振番号	性別	年齢	回答
17	女性	70～79 歳	市川町は近隣の町に比べると、いろんな面で遅れている様に思います。行政だけでなく町民一人一人が自覚をもって取り組んで行かないと、取り残されてしまう様な気がします。
18	女性	70～79 歳	現在、高齢ではあるが健康であり、何かお手伝いをしたい思いはあるが、何をどうすればいいか分からない。
19	女性	70～79 歳	それぞれが負担なく、それぞれに合った毎日を生きていけるようにしてほしいと思います。
20	男性	80～89 歳	楽しくくらすところ。下水のかんり。場所を選ぶ。道などの整理。
21	男性	80～89 歳	平等な政策が不平等にならないように。
22	男性	80～89 歳	アンケートの結果を報告して下さい。
23	女性	80～89 歳	今さらと笑われそうですがマイナンバーカードのメリット、わかりやすく書いた（マンガ風にでも）ものがあれば見たいです。
24	女性	無回答	このアンケートが市川町に活かされますように。 ですが、このようなアンケートは町を出て行かれた町民の方からとる方が、より市川町のどこが住みにくいのがわかるかと思います。 私の友達は皆出て行ってしまったので…。 町民が町内で働きやすく、町内だけでも生活しやすい環境であれば居続けられるのではないかと思います。 一時出て行ってしまったとしても、帰ってきたいと思える町作りを、市川町の職員の方々には頑張ってくださいたいです。